平 成 29 年 度

新居浜市の教育

平成29年度の計　画

平成28年度のあゆみ

新居浜市教育委員会

望ましき市民像

○　文化を尊重し、そのために貢献する創造的で教養ある市民

○　すべての人々を敬愛するとともに、真理と正義にたって行動する市民

○　科学精神を身につけ、生活の合理化を図り、勤労にいそしむ市民

○　健康明朗で強い精神力を持ち、情操豊かな市民

○　社会の改良、公共の福祉に参加して、郷土の発展に努める市民

（市の教育方針として昭和29年４月教育委員会が策定）

めざす都市像

第五次新居浜市長期総合計画では、将来都市像を「── あかがねのまち、笑顔輝く ──　産業・環境共生都市」と定め、次の４つの理念を基本にまちづくりを推進しています。

１　市民が安全・安心を実感できるまちづくり

２　市民、団体、事業者と行政が一体となったまちづくり

３　市民が郷土に誇りと愛着を持てるまちづくり

４　子どもたちの未来に責任が持てるまちづくり

目　　次

平成29年度の計画 …… 1

新居浜市教育大綱 …… 3
教育委員会の沿革 …… 4
教育長、教育委員、歴代教育委員 …… 8
教育委員会事務局組織図、職員数 …… 10
事務局事務分掌 …… 11
教育費歳出予算（目別、平成28・29年度当初予算） …… 13
年度別教育費歳出決算（目別、平成23～28年度） …… 14

社会教育課
1　最重要課題、重点事項 （取組方針）、主な事業、別子ハイツ自然学習館 …… 15
2　社会教育委員名簿 …… 17
3　公民館等一覧表 …… 18
4　公民館事業計画 …… 19

青少年センター
1　重点目標、重点事項 …… 37
2　施設状況、地区別少年補導委員の状況 …… 38

生涯学習センター
1　重点目標、重点事項、施設状況 …… 39

高齢者生きがい創造学園
1　重点目標、重点事項、施設状況 …… 40

学校教育課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業 …… 41
2　新居浜市教育研究所の概要 …… 44
3　学校教育計画資料 …… 46
4　平成29年度児童・生徒・園児・教職員数 …… 48
5　学校等一覧 …… 52
6　放課後児童クラブ一覧表 …… 55
7　通学区域 …… 56
8　園児・児童・生徒数の推移 （平成24～33年度） …… 58
9　中学校卒業者の進路状況 …… 59

発達支援課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業 …… 60
2　発達支援システムイメージ図 …… 62

学校給食課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、施設状況 …… 63
2　学校給食運営組織図 …… 65
3　新居浜市学校給食の推移 …… 66

スポーツ振興課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業 …… 67
2　体育施設一覧表 、教育施設一覧表 …… 69

文化振興課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業 …… 70
2　文化施設一覧表 …… 72
3　国指定文化財、県指定文化財、市指定文化財、登録有形文化財 …… 73
4　広瀬歴史記念館 …… 76
5　総合文化施設（あかがねミュージアム） …… 77

図書館
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業、施設状況 …… 78
2　蔵書冊数 …… 79

平成28年度のあゆみ …… 81

教育委員会の主な施策と実績 …… 83
1　平成28年度決算額 …… 83
2　主な施設の建設及び環境整備事業 …… 87

社会教育課の主な施策と実績 …… 88
1　地域教育力向上プロジェクト事業 …… 88
2　学校支援本部事業 …… 88
3　放課後子ども教室 …… 88
4　放課後児童クラブ …… 88
5　こころのことばコンクール …… 88
6　別子ハイツ自然学習館の利用状況 …… 88
7　学校体育施設開放の利用状況 …… 89
8　公民館事業報告 …… 90
新居浜公民館 …… 90
口屋跡記念公民館 …… 92
地域交流センター …… 94
金栄公民館 …… 96
高津公民館 …… 98
浮島公民館 …… 100
惣開公民館 …… 102
若宮公民館 …… 104
垣生公民館 …… 106
神郷公民館 …… 108
多喜浜公民館 …… 110
大島交流センター …… 112
泉川公民館 …… 114
中萩公民館 …… 116
船木公民館 …… 118
大生院公民館 …… 120
角野公民館 …… 122
別子山公民館 …… 124

青少年センターの主な施策と実績 …… 126
1　運営協議会 …… 126
2　街頭補導 …… 126
3　相談活動 …… 126
4　関係機関・団体との連絡連携 …… 127
5　青少年善行表彰 …… 127
6　青少年健全育成の活動状況 …… 127

生涯学習センターの主な施策と実績 …… 128
1　生涯学習センター事業報告 …… 128
2　生涯学習大学の開設 …… 128

高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績 …… 129
1　高齢者生きがい創造学園事業報告 …… 129

学校教育課の主な施策と実績 …… 130
1　教職員研修の推進 …… 132
2　教育研究所の歩み …… 133
3　適応指導教室（あすなろ教室）の歩み …… 133
4　教育における国際化への対応 …… 134
5　中学生による国際交流事業 …… 135
6　奨学金等 …… 136
7　新居浜市寺尾音楽教育振興基金 …… 139
8　新居浜市工藤交通災害遺児修学基金 …… 139
9　就学援助費 …… 140
10　特別支援教育就学援助費 …… 140
11　幼稚園就園奨励事業 …… 141
12　私学助成 …… 142
13　学校保健 …… 142
14　学校体育活動の推進 …… 144
15　人権・同和教育実践の状況 …… 145

発達支援課の主な施策と実績 …… 146
1　特別支援教育支援員の配置状況 …… 146
2　教育支援委員会の開催状況 …… 146
3　新居浜市地域発達支援協議会の開催状況 …… 147
4　総合相談の実施状況 …… 147
5　巡回相談の実施状況 …… 148
6　聴覚障がい児相談事業の実施状況 …… 148
7　発達検査の実施状況 …… 148
8　早期療育通園事業（親子通園事業）の実施状況 …… 149
9　５歳児発音検査の実施状況 …… 149
10　ペアレントトレーニングの実施状況 …… 149
11　研修会などの開催状況 …… 149
12　自閉症・情緒障がい学級通学費補助の状況 …… 151
13　私立幼稚園等特別支援教育事業費補助の状況 …… 151
14　ソーシャルスキル支援事業の実施状況 …… 151

学校給食課の主な施策と実績 …… 152
1　学校給食の意義 …… 152
2　学校給食の運営等 …… 152
3　学校給食の充実等 …… 152
4　主な行事等 …… 152
5　給食の状況 …… 152

スポーツ振興課の主な施策と実績 …… 153
1　市民体育・スポーツの振興 …… 153
2　市民体育振興事業 …… 153
3　競技力向上事業 …… 153
4　講習会・研修会事業 …… 153
5　野外活動施設整備と運営 …… 153
6　体育施設の充実 …… 154
7　体育施設建設基金 …… 154
8　総合型地域スポーツクラブ設立 …… 154
9　銅山の里自然の家利用状況 …… 154
10　体育施設年度別利用状況 …… 155
11　平成28年度体育施設月別利用状況 …… 156

文化振興課の主な施策と実績 …… 158
1　芸術文化活動 …… 158
2　文化財の保存活用 …… 158
3　文化施設の活用 …… 158
4　文化振興基金 …… 158
5　（公財）新居浜市文化体育振興事業団 …… 158
6　文化施設年度別利用状況 …… 159
7　平成28年度月別利用状況（市民文化センター・ふるさと館） …… 160

広瀬歴史記念館の主な施策と実績 …… 162
1　展示内容等 …… 162
2　資料の収集状況 …… 162
3　平成28年度事業実績 …… 162
4　平成28年度月別観覧者内訳 …… 162

図書館の主な施策と実績 …… 163
1　図書館の利用状況 …… 163
2　主な事業 …… 164

総合文化施設（あかがねミュージアム）の主な施策と実績 …… 168
1　月別入館者数 …… 168
2　平成28年度美術館展覧会開催実績 …… 168
3　平成28年度の主なイベント …… 169
4　教育普及事業、ワークショップ …… 169
5　新居浜市美術品購入基金 …… 169

平成２９年度の計画

新　居　浜　市　教　育　大　綱

～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

施策	望ましい姿	基本計画
１学習活動の充実	誰もが学べる環境をつくります	１．生涯学習機会の内容充実 ２．生涯学習関連施設・機能の充実 ３．高等教育機関との連携充実 ４．図書館機能の充実
２地域づくりの推進	住民主体の地域づくりを推進します	１．地域課題を解決する住民活動の推進 ２．地域を担う人材の育成 ３．郷土愛を育むための活動の推進
３家庭、地域の教育力の向上	社会全体で子どもを育てる体制をつくります	１．子育て世代に対する家庭教育の充実 ２．学社融合の推進 ３．青少年健全育成の推進
４学校教育の充実	生きる力を育みます	１．地域に開かれた特色ある学校づくり ２．社会変化に対応した多様な教育の推進 ３．児童・生徒の健全育成 ４．教育施設・教育環境の整備充実 ５．幼児教育の推進
５特別支援教育の充実	個々に適した支援を行います	１．早期からの教育相談・支援の充実 ２．特別支援教育の充実・体制の整備 ３．地域生活における自立に向けた支援体制の整備
６芸術文化の振興	芸術文化の香りを未来に伝えます	１．芸術文化活動の推進 ２．芸術文化施設の整備・充実 ３．文化財の保護と活用
７スポーツの振興と競技力の向上	いつでもどこでも誰でもスポーツを楽しむことができます	１．社会体育の推進 ２．競技スポーツの振興 ３．施設環境の整備
８近代化産業遺産の保存・活用の充実	生きた博物館都市を目指します	１．別子銅山の近代化に携わった人々に学び、伝承・発信を促進 ２．別子銅山近代化産業遺産のネットワークの促進 ３．別子銅山近代化産業遺産の保存・整備の推進 ４．あかがね基金の育成 ５．多喜浜塩田文化の保存・継承
９人権の尊重	人権尊重のまちづくりを推進します	１　社会における人権・同和教育及び啓発の推進 ２　学校における人権・同和教育の推進 ３　人権擁護体制の充実

教　育　委　員　会　の　沿　革

27年 4月　市庁舎落成
8月　「義務教育費国庫負担法」 公布
11月　新居浜市教育委員会設置　新居浜市教育委員会事務局設置
28年 5月　神郷村・垣生村・多喜浜村・大島村合併
7月　「青少年問題協議会設置法」 公布
12月　市営野球場設置
29年 6月　「へき地教育振興法」 「学校給食法」 公布
30年 3月　泉川町・中萩町・船木村・大生院村合併
泉川公民館・船木公民館設置
4月　社会教育委員会設置
6月　青年学級開校
31年 2月　大島公民館・惣開公民館設置
3月　「就学奨励援助法」 公布
6月　「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」 公布
7月　「文化財保護条例」 制定
12月　「幼稚園設置基準」 告示　多喜浜公民館設置
32年 6月　川東支所開所
33年 4月　神郷公民館・高津公民館設置　教育研究所設置
「義務教育学校施設費国庫負担法」 「学校保健法」 公布
5月　「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」 公布
34年 4月　郷土館設置　角野町合併　王子幼稚園・神郷幼稚園設置
12月　「日本学校安全会法」 公布
35年 4月　市立商業高等学校設置
10月　上部支所開所
36年 6月　「スポーツ振興法」 公布
9月　大島地域・離島振興法適用
10月　中学校全国一斉学力テスト実施
37年 3月　「教科書無償法」 公布
11月　市民文化センター設置　中央公民館設置
39年 1月　東予新産業都市指定
4月　記念会館設置　重量挙練習場設置　弓道場設置　武徳殿設置
「奨学資金貸付基金条例」 制定
7月　青少年問題協議会設置　少年補導センター設置
40年 5月　勤労青少年ホーム設置
42年 3月　市樹クスノキ　市花ツツジ 制定
44年 7月　「同和対策事業特別措置法」 公布
45年 4月　「入学準備金貸付基金条例」 制定
10月　第１回市民体育祭開催 （以後毎年開催）　口屋跡記念公民館設置
12月　山根市民グラウンド設置
46年 5月　「義務教育教員給与特別措置法」 公布
7月　第１回憲法を暮らしに生かす市民の集い開催
10月　テニスコート設置
12月　「特別奨学基金条例」 制定　スポーツ振興審議会設置
47年 4月　川東中学校開校 （神郷中・垣生中・多喜浜中・大島中統合）
市民プール開設　体育施設建設基金設置　第一次長期総合計画策定
6月　社会教育指導員設置
11月　市民憲章 制定
48年 4月　桃山学院短期大学開校　別子銅山休山
49年 2月　「教員人材確保法」 公布

5月　市立学校体育施設開放
8月　市民福祉会館設置
50年 4月　金子公民館設置　心身障害児就学指導委員会設置
7月　「私立学校振興助成法」 公布
8月　市立商業高校夏の高校野球で準優勝
51年 3月　泉川公民館新築
9月　身体障害者福祉センター設置
12月　「青野記念奨学基金条例」 制定
52年 7月　市民体育館設置
54年 2月　中央児童センター設置
6月　滝の宮トリム公園設置　角野公民館新築
55年 3月　新庁舎落成　惣開公民館・船木公民館新築
4月　第二次長期総合計画策定　生徒指導推進事務局設置　新設校推進臨時事務局設置
10月　郷土美術館設置
56年 3月　大島公民館新築
4月　金栄公民館設置
57年 4月　豊かな心を育てる施策推進モデル指定　若宮公民館・浮島公民館設置
58年 4月　新居浜公民館設置
59年 4月　青少年健全育成推進事務局設置
12月　美術館建設推進臨時事務局設置
60年 3月　新居浜市文化振興基金条例制定
東中・中萩小・船木小校舎増改築
中萩中プール増改築
6月　市営野球場改築
61年 2月　重量挙練習場改築　中萩小プール増改築
3月　神郷公民館新築　生徒指導推進事務局廃止
8月　財団法人新居浜市文化体育振興事業団設立
62年 1月　中学校柔剣道場新築 （～元年度）
2月　新居浜小学校改築　東中体育館増改築
3月　山根総合体育館設置　多喜浜公民館増改築
63年 3月　船木中・泉川中・北中校舎改築　宮西小プール増改築
10月　山根屋内プール完成
11月　銅山の里自然の家新築
元年 1月　角野中校舎増築
3月　若宮小校舎改築　南中体育館増改築
10月　「寺尾音楽教育振興基金条例」 制定
２年 2月　部室整備 （中萩中・大生院中）　大生院中体育館増改築
3月　プール増改築 （新居浜小・惣開小）　垣生公民館新築
桃山学院短期大学閉校　市立商業高校県立移管
4月　第三次長期総合計画策定
３年 3月　船木中体育館増改築　泉川中体育館、屋上プール増新築
部室整備 （船木中・泉川中）　中萩公民館増改築　大島教育集会所新築
4月　生涯学習センター設置
12月　パソコン教室設置（西・南・北中）
４年 2月　川東中部室整備
3月　金栄小体育館増改築　金子小プール増改築　口屋跡記念公民館改修
銅山の里自然の家集会所棟新築　別子銅山記念図書館住友より寄贈
4月　広瀬記念邸設置
５年 3月　大生院公民館増改築　文化振興会館改築
北中プール増改築　北中部室整備
パソコン教室設置（川東・東・船木・泉川・角野・中萩・大生院中）

	4月	高齢者生きがい創造学園設置
6年	3月	部室整備（東中・西中・南中・角野中）
		高津小プール増改築
7年	3月	高津公民館増改築
		多喜浜小屋内運動場改築
		泉川小プール増改築
		船木小運動場造成
	9月	小学校パソコン教室設置
8年	3月	若宮小プール改築
		川東中屋内運動場大規模改造
9年	3月	広瀬歴史記念館完成
		神郷小屋内運動場大規模改造
		大島小プール新築
	9月	生涯学習都市宣言制定
10年	2月	高津小北校舎大規模改造
	10月	東中完全給食開始
11年	1月	心の教室整備（東中）
	7月	市営サッカー場（グリーンフィールド新居浜）　完成
	8月	心の教室整備（中萩中、川東中）
	10月	泉幸吉文庫開設（別子銅山記念図書館）
12年	3月	西中北校舎棟改築
		男女共同参画都市宣言制定
	4月	地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律　（地方分権一括法）　施行
	9月	心の教室整備（北中、泉川中）
13年	3月	学校給食センター完成
	4月	西・南・北・船木・泉川・角野・中萩・川東中学校完全給食実施
		船木小学校わかば分教室開設
		船木中学校ひびき分校開校
	6月	第四次長期総合計画策定
	10月	心の教室整備（南中・角野中）
	11月	西中南校舎棟外改築
14年	4月	学校週５日制の完全実施
15年	1月	心の教室整備（船木中・大生院中）
	3月	垣生小学校プール改築
	4月	別子山村との合併により別子小学校、別子中学校、教職員住宅、別子山公民館、別子山ふるさと館、別子山市民プール、別子山市民グラウンドが加わる
		総務課を廃止、同課の業務を社会教育課と学校教育課に移管
		同和教育課を廃止、同課の業務と大島教育集会所を人権擁護課に移管
		生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園を市民活動推進課に移管
		多喜浜体育館（旧勤労者体育センター）を商工観光課から体育文化課に移管
		新設校推進臨時事務局廃止
		視聴覚ライブラリー廃止
		教職員住宅保土野寮Ｂ棟焼失
	6月	旧広瀬家住宅が国の重要文化財に指定
	7月	泉川公民館新築
16年		台風の被害、避難所の設置
	3月	武徳殿　国の登録有形文化財登録
17年	1月	子ども見守り隊結成
	3月	角野小学校プール改築
18年		耐震補強工事
		（角野小・宮西小・高津小・若宮小・泉川小・惣開小・中萩小・浮島小）　体育館

	3月	新居浜市伝える力を育てる教育特区（英語で話そう科・表現科）認定
	9月	新居浜市こども夢未来基金創設
19年		耐震補強工事の実施（金子小・大生院小・西中・川東中） 体育館
		（船木小・金子小・泉川小・中萩中） 校舎
20年		耐震補強工事の実施（金栄小・中萩小・高津小・垣生小・東中） 校舎
	4月	発達支援準備室設置
		新居浜・西条地区広域市町村圏事務組合の解散により、同組合の施設 「別子ハイツ自然学習館」 が新居浜市に帰属
		地域主導型公民館へ移行（金子・惣開・若宮・泉川公民館）
21年		耐震補強工事の実施（角野小・神郷小・大生院小・惣開小・角野中・船木中・泉川中）校舎
	4月	発達支援課設置
		地域主導型公民館へ移行（新居浜・金栄公民館）
22年		大規模改造工事の実施 （神郷小・中萩小・角野小・別子小中・川東中） 校舎
		太陽光発電設備設置工事 （新居浜小外26校）
	4月	新居浜市地域交流センター設置 （金子公民館廃止）
		地域主導型公民館へ移行 （口屋跡記念・高津・浮島・垣生・神郷・多喜浜・船木・大生院公民館）
	10月	こども発達支援センター開所
23年	3月	北中学校体育館改築
	4月	生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園が市民活動推進課から移管
		放課後児童健全育成事業が児童福祉課から移管
		地域主導型公民館へ移行 （中萩・角野公民館）
		第五次長期総合計画策定
		体育文化課を廃止、スポーツ文化課設置
		耐震補強工事 （多喜浜小・北中・角野中） 校舎
24年	3月	新居浜市神郷学習館及び垣生学習館を廃止
		大規模改造工事の実施 （角野小） 校舎
		耐震補強工事の実施 （宮西小・浮島小・南中） 校舎
25年		アセットマネジメントにより、公民館施設環境整備事業で、公民館の外壁塗装 （惣開・若宮・大生院公民館）、公民館の屋上防水（神郷・大生院公民館体育館）等を実施
		金栄小学校プール建設
		多喜浜体育館防水外壁改修
	3月	神郷公民館駐車場を拡張
27年	4月	大島小学校（廃校）を利用して大島交流センターを新設 （大島公民館は廃止）
		学校図書館支援センターを学校教育課内に設置
	5月	多喜浜公民館耐震補強及び大規模改修
	7月	新居浜市総合文化施設・美術館開館
		口屋跡記念公民館耐震補強及び大規模改修
	11月	多目的ホール天井落下対策工事（新居浜小・西中）
28年	3月	新居浜市立郷土美術館閉館
		体育館天井落下対策工事（金栄小・泉川中）
	5月	市民体育館耐震補強工事
	8月	武道場屋根改修工事（北中・西中・川東中・南中・泉川中・角野中・中萩中）
	9月	市営サッカー場アップ場増設
		小中学校体育館照明落下対策工事（新居浜小 外15校）
29年	3月	東雲市民プール幼児用プール増設
		長寿命化改修工事（泉川小）南校舎

教　育　長

職　名	氏　名	就任年月日	備　考
教育長	関　福生	平成28年 4月 1日	

教　育　委　員

職　名	氏　名	就任年月日	備　考
教育委員	伊藤嘉秀	平成22年12月24日	
教育委員	宮内文久	平成23年12月24日	
教育委員	長野美和子	平成23年12月24日	
教育委員	近藤智佳	平成29年 6月27日	

歴代教育委員

公選された教育委員

氏　名	就任年月日	離任年月日	備　考
小野基道	昭和 27年11月 1日	昭和 31年 9月30日	初代教育委員長
大場英雄	〃 27年11月 1日	〃 31年 9月30日	二、三代教育委員長
村上精逸	〃 27年11月 1日	〃 31年 9月30日	四代教育委員長
加藤長次	〃 27年11月 1日	〃 30年 4月22日	
青野重馬	〃 27年11月 1日	〃 30年 4月22日	議会選出
黒川　晋	〃 30年 5月 2日	〃 31年 9月30日	
高須賀佐太郎	〃 30年 5月 2日	〃 31年 9月30日	議会選出

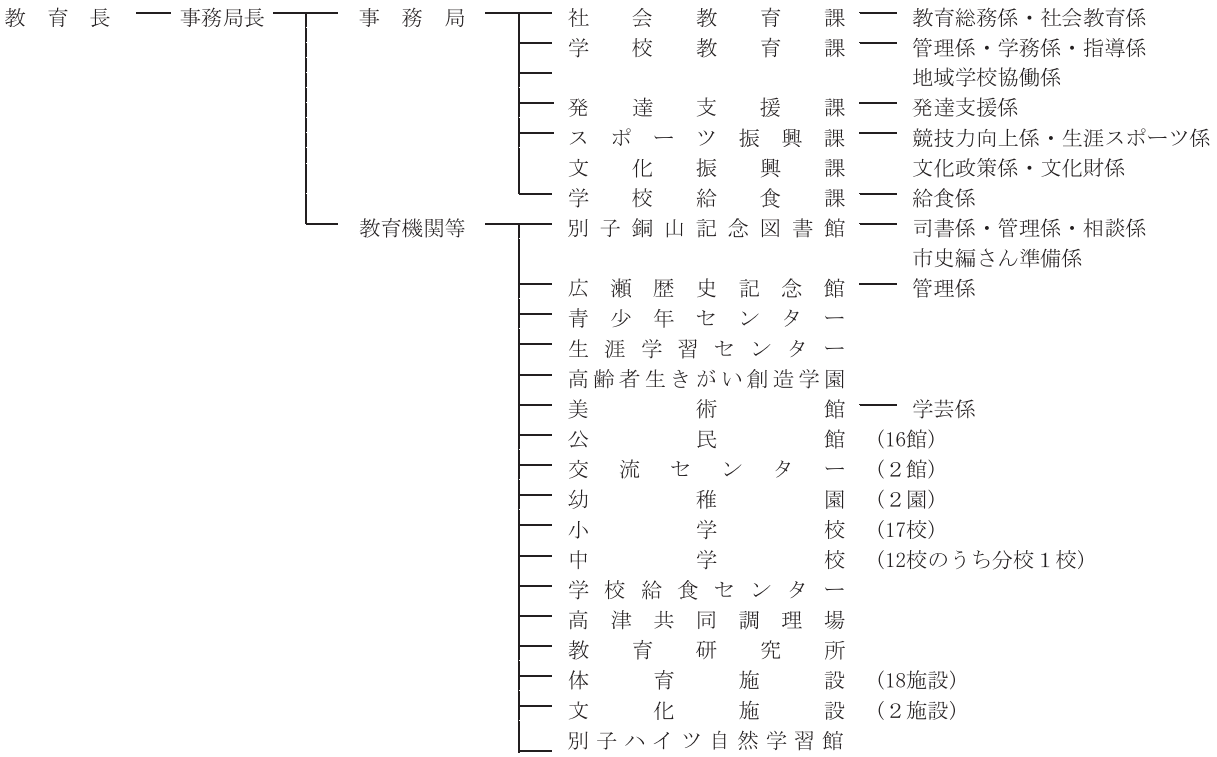
任命された教育委員

氏　名	就任年月日	離任年月日	備　考
大場英雄	昭和 31年10月 1日	昭和 32年 9月30日	五代教育委員長
久門英雄	〃 31年10月 1日	〃 33年 9月30日	六代教育委員長
黒川　晋	〃 31年10月 1日	〃 34年 9月30日	七代教育委員長
三浦義一	〃 31年10月 1日	〃 35年 9月30日	八代教育委員長
加藤　実	〃 31年10月 1日	〃 35年 9月30日	教育長を兼ねる
三野　担	〃 32年10月 1日	〃 34年 4月 3日	
高橋玉置	〃 33年10月 1日	〃 37年 9月30日	九代教育委員長
永井伊三郎	〃 34年 5月30日	〃 36年 9月30日	
山下桂太郎	〃 34年10月 8日	〃 38年10月 7日	十代教育委員長
久米　申	〃 35年10月 1日	〃 38年12月13日	十一代教育委員長
加藤　実	〃 35年10月 1日	〃 39年 9月30日	教育長を兼ねる
亀井清太郎	〃 36年10月30日	〃 40年10月29日	十二代教育委員長
神野一郎	〃 37年10月12日	〃 41年10月11日	十三、四代教育委員
山下桂太郎	〃 38年10月 8日	〃 42年10月 7日	十六代教育委員長
岡本悦良	〃 39年 3月25日	〃 39年 9月30日	
岡本悦良	〃 39年10月 1日	〃 43年 9月30日	十五、七代教育委員
岡　虎義	〃 40年12月 4日	〃 44年12月 3日	
神野一郎	〃 41年10月12日	〃 45年 6月13日	十八代教育委員長
栗原利得喜	〃 42年 4月 1日	〃 46年 3月31日	教育長を兼ねる
藤田秀朋	〃 42年12月22日	〃 46年12月21日	十九代教育委員長
近藤続行	〃 43年12月22日	〃 47年 2月21日	
斉藤　一	〃 45年 7月 4日	〃 49年 7月 3日	二十、二十一代教育委員長
岡　虎義	〃 45年 7月 4日	〃 45年10月11日	
岡　虎義	〃 45年12月21日	〃 49年12月20日	二十二代教育委員長
村上哲亮	〃 46年 8月 1日	〃 50年 7月31日	教育長を兼ねる
藤田秀朋	〃 46年12月24日	〃 50年12月23日	二十三代教育委員長
神野忠利	〃 48年 4月 2日	〃 52年 4月 1日	二十四代教育委員長
藤田図南夫	〃 49年12月24日	〃 53年12月23日	二十五代教育委員長
藤田秀朋	〃 50年12月24日	〃 54年12月23日	二十六代教育委員長
村上哲亮	〃 51年 3月18日	〃 55年 3月17日	教育長を兼ねる
神野忠利	〃 52年 4月 2日	〃 56年 4月 1日	二十七代教育委員長

氏　名	就任年月日	離任年月日	備　考
堀越和衛	昭和　53年12月24日	昭和　53年12月24日	二十八代教育委員長
印南忠一	〃　54年12月24日	〃　58年12月23日	二十九代教育委員長
坂口勲	〃　54年12月24日	〃　58年12月23日	三十代教育委員長
伊達孝	〃　55年 3月26日	〃　59年 3月25日	教育長を兼ねる
大西博臣	〃　56年 6月 6日	〃　60年 6月 5日	三十一代教育委員長
堀越和衛	〃　57年12月24日	〃　61年12月23日	三十二代教育委員長
印南忠一	〃　58年12月24日	〃　62年12月23日	三十三代教育委員長
坂口勲	〃　58年12月24日	〃　62年12月23日	三十四代教育委員長
伊達孝	〃　59年 3月26日	〃　63年 3月25日	教育長を兼ねる
篠原利光	〃　60年 6月 6日	平成　元年 6月 5日	三十五代教育委員長
守谷照男	〃　61年12月24日	〃　2年12月23日	三十六代教育委員長
千葉文政	〃　62年12月24日	〃　3年12月23日	三十七代教育委員長
田坂冨美子	〃　62年12月24日	〃　3年12月23日	三十八代教育委員長
伊達孝	〃　63年 3月26日	〃　4年 3月25日	教育長を兼ねる
篠原利光	平成　元年 6月27日	〃　5年 6月26日	三十九代教育委員長
真鍋栄	〃　2年12月24日	〃　6年12月23日	四十代教育委員長
天野征郎	〃　3年12月24日	〃　7年12月23日	四十一代教育委員長
田坂冨美子	〃　3年12月24日	〃　7年12月23日	四十二代教育委員長
渡邉健	〃　4年 4月 1日	〃　8年 3月31日	教育長を兼ねる
近藤求	〃　5年 6月27日	〃　9年 6月26日	四十三代教育委員長
千葉昭夫	〃　6年12月24日	〃　10年12月23日	四十四代教育委員長
千葉陽三	〃　7年12月24日	〃　11年12月23日	四十五代教育委員長
小野トヨミ	〃　7年12月24日	〃　11年12月23日	四十六代教育委員長
西原洋昴	〃　8年 4月 1日	〃　12年 3月31日	教育長を兼ねる
一色康範	〃　9年 6月27日	〃　13年 6月26日	四十七代教育委員長
加藤信一	〃　10年12月24日	〃　14年12月23日	四十八代教育委員長
千葉陽三	〃　11年12月24日	〃　15年12月23日	四十九代教育委員長
小野トヨミ	〃　11年12月24日	〃　15年12月23日	五十代教育委員長
西原洋昴	〃　12年 4月 1日	〃　14年 3月31日	教育長を兼ねる
栗田敬子	〃　13年 6月27日	〃　17年 6月26日	五十一代教育委員長
阿部義澄	〃　14年 4月 1日	〃　16年 3月31日	教育長を兼ねる
小野正師	〃　14年12月24日	〃　18年12月23日	五十二代教育委員長
宇野征一	〃　15年12月24日	〃　19年12月23日	五十三代教育委員長
太田恵理子	〃　15年12月24日	〃　19年12月23日	五十四代教育委員長
阿部義澄	〃　16年 4月 1日	〃　20年 3月31日	教育長を兼ねる
栗田敬子	〃　17年 6月27日	〃　21年 6月26日	五十五代教育委員長
小野正師	〃　18年12月24日	〃　22年12月23日	五十六代教育委員長
宇野征一	〃　19年12月24日	〃　23年12月23日	五十七代教育委員長
太田恵理子	〃　19年12月24日	〃　23年12月23日	五十八代教育委員長
阿部義澄	〃　20年 4月 1日	〃　24年 3月31日	教育長を兼ねる
三木由紀子	〃　21年 6月27日	〃　25年 6月26日	五十九代教育委員長
伊藤嘉秀	〃　22年12月24日	〃　26年12月23日	六十代教育委員長
宮内文久	〃　23年12月24日	〃　27年12月23日	六十一代教育委員長
長野美和子	〃　23年12月24日	〃　27年12月23日	六十二代教育委員長
阿部義澄	〃　24年 4月 1日	〃　28年 3月31日	教育長を兼ねる
三木由紀子	〃　25年 6月27日	〃　29年 6月26日	六十三代教育委員長
伊藤嘉秀	〃　26年12月24日		（～平成28年3月31日）
宮内文久	〃　27年12月24日		
長野美和子	〃　27年12月24日		
近藤智佳	〃　29年 6月27日		

組　　織　　図

（平成29年５月１日 現在）



職　　員　　数

（平成29年５月１日 現在）

	定数	現員
事務局	45	45
教育機関	64	47

	課所別	職員	臨時職員	非常勤職員	委託職員	短時間再任用職員	計
事務局	社会教育課	10	1		2		13
	学校教育課	17	1	84		1	103
	発達支援課	6	2	20			28
	スポーツ振興課	5	2				7
	文化振興課	4	1				5
	学校給食課	3	1				4
教育機関	別子銅山記念図書館	8	10	3			21
	広瀬歴史記念館	2		4			6
	青少年センター		2				2
	生涯学習センター・高齢者生きがい創造学園		2	10			12
	美術館	4	1	2			7
	公民館	1		62			63
	交流センター			8			8
	幼稚園	7	1	4			12
	小学校（県費教職員を除く。）	21	10	176			207
	中学校（県費教職員を除く。）			74			74
	学校給食センター		13	21			34
	高津共同調理場	4		11			15
	教育研究所			1			1
	計	92	47	480	2	1	622

事　務　局　事　務　分　掌

課	事　　務
社会教育課	教育委員会の会議及び庶務に関すること。 教育長及び教育委員会委員の報酬、費用弁償、請求、支払、儀式及び交際に関すること。 職員（県費負担教職員を除く）の任免、給与、分限、褒賞、懲戒、服務、福利及び厚生並びに定数配置に関すること。 公印の管守に関すること。 教育委員会の規則及び規程の制定及び改廃並びに規則の公布に関すること。 情報公開の調整に関すること。 個人情報保護の調整に関すること。 事務局の庶務に関すること。 予算経理の指導助言に関すること。 社会教育施設の設置及び廃止に関すること。 社会教育施設の管理、営繕及び保全に関すること。 社会教育委員会の庶務に関すること。 成人教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 社会教育指導者の育成及び社会教育関係団体の育成指導に関すること。 公民館、交流センター、生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園、図書館、別子ハイツ自然学習館及び青少年センターに関すること。 青少年健全育成の推進に関すること。 青少年団体指導者の育成に関すること。 家庭教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 学校体育施設開放の事務及び運営指導に関すること。 学校体育施設開放に伴う使用許可及び使用料収納に関すること。
学校教育課	学校及び幼稚園の設置及び廃止に関すること。 学校敷地及び建物の設置及び変更に関すること。 学校施設及び幼稚園施設の管理、営繕及び保安に関すること。 学校及び幼稚園の管理運営の指導に関すること。 学校休業日の決定に関すること。 学校行事等の調整、指導及び承認に関すること。 教育団体関係事務に関すること。 児童・生徒の就学事務に関すること。 通学区域の設定変更事務に関すること。 学級編成関係事務に関すること。 教科書関係事務に関すること。 県費負担教職員の人事、給与、福利及び厚生事務に関すること。 就学援助事務に関すること。 奨学資金事務に関すること。 教育課程及び教育内容の編成に関すること。 教科用図書の採択に関すること。 学校及び幼稚園の教育指導に関すること。 教員の現職教育研修に関すること。 児童・生徒活動の指導に関すること。 教育研究所事務に関すること。 就園奨励関係事務に関すること。 中学生等の国際交流に関すること。 児童・生徒の生活指導に関すること。 学校体育に関すること。 就学時の健康診断事務に関すること。 児童・生徒及び学校職員の健康診断事務に関すること。 学校保健に関すること。 学校安全に関すること。 放課後児童健全育成事業等の実施に関すること。 地域、学校及び家庭の協働及び連携に関すること。

課	事　　務
スポーツ振興課	体育施設の設置及び廃止に関すること。 体育施設の管理、営繕及び保安に関すること。 市民スポーツの振興に関すること。 スポーツ推進審議会の庶務に関すること。 スポーツ推進委員に関すること。 スポーツの指導者等の養成及び資質の向上並びにその活用に関すること。 体育及びスポーツの行事の企画、運営及び指導に関すること。 市民体育関係団体の育成に関すること。 体育施設の使用許可及び使用料収納に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。
文化振興課	文化施設の設置及び廃止に関すること。 文化施設の管理、営繕及び保安に関すること。 芸術文化の振興に関すること。 文化財保護委員会の庶務に関すること。 文化財の保存活用に関すること。 新居浜市美術館及び広瀬歴史記念館に関すること。 文化施設の使用許可及び使用料収納に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 公益財団法人新居浜市文化体育振興事業団に関すること。
学校給食課	学校給食に関すること。 共同調理場に関すること。
発達支援課	特別支援教育に関すること。 発達支援に関すること。

教育費歳出予算（目別、平成２８・２９年度当初予算）

※企画部分含む（単位：千円）

区分	平成２８年度 当初予算		平成２９年度 当初予算		前年度比較
費目	金額	構成比	金額	構成比	
教育総務費	947,174	21.6%	873,229	19.2%	92.2%
教育委員会費	6,445	0.1%	6,445	0.1%	100.0%
事務局費	441,194	10.1%	434,339	9.5%	98.4%
諸費	499,535	11.4%	432,445	9.5%	86.6%
小学校費	696,832	15.9%	648,894	14.2%	93.1%
学校管理費	463,853	10.6%	405,929	8.9%	87.5%
教育振興費	232,979	5.3%	242,965	5.3%	104.3%
学校建設費	－	－	－	－	－
中学校費	414,023	9.5%	664,011	14.6%	160.4%
学校管理費	244,429	5.6%	263,843	5.8%	107.9%
教育振興費	129,271	3.0%	117,400	2.6%	90.8%
学校建設費	40,323	0.9%	282,768	6.2%	701.3%
幼稚園費	175,322	4.0%	196,470	4.3%	112.1%
幼稚園費	175,322	4.0%	196,470	4.3%	112.1%
社会教育費	837,865	19.2%	866,716	19.0%	103.4%
社会教育総務費	209,856	4.8%	224,919	4.9%	107.2%
公民館費	241,755	5.5%	227,129	5.0%	94.0%
図書館費	91,818	2.1%	87,646	1.9%	95.5%
青少年教育費	382	0.0%	406	0.0%	106.3%
青少年センター費	3,707	0.1%	4,151	0.1%	112.0%
広瀬歴史記念館費	60,717	1.4%	66,784	1.5%	110.0%
総合文化施設費	229,630	5.3%	255,681	5.6%	111.3%
美術品購入基金費	28	0.0%	－	－	－
保健体育費	1,300,157	29.8%	1,306,626	28.7%	100.5%
保健体育総務費	270,818	6.2%	460,701	10.1%	170.1%
保健体育施設管理費	50,535	1.2%	28,455	0.6%	56.3%
体育施設費	423,872	9.7%	294,639	6.5%	69.5%
学校給食費	554,932	12.7%	522,831	11.5%	94.2%
合計	4,371,373	100%	4,555,946	100%	104.2%
一般会計総額	47,304,736		49,678,353		105.0%
教育費の割合	9.2%		9.2%		0.0P

放課後児童対策費（民生費　児童福祉費　児童福祉総務費）112,281 千円

高齢者生きがい創造学園講座事業費（介護保険事業特別会計　地域支援事業費　一般介護予防事業費）

8,297 千円

年度別教育費歳出決算（目別、平成２３～２８年度）

（単位：千円）

費目＼年度	２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度	２８年度
教育総務費	721,288	637,705	727,921	925,950	820,190	907,040
教育委員会費	6,655	6,551	6,535	6,355	6,614	6,300
事務局費	407,280	372,420	373,111	401,945	451,324	458,097
諸費	307,353	258,734	348,275	517,650	362,252	442,643
小学校費	645,316	1,042,661	797,032	641,832	632,369	1,406,237
学校管理費	409,111	388,962	442,470	406,769	378,597	377,209
教育振興費	136,467	136,421	155,305	173,584	210,302	215,470
学校建設費	99,738	517,278	199,257	61,479	43,470	813,558
中学校費	492,875	410,134	348,481	349,654	448,644	467,931
学校管理費	214,519	253,306	266,679	217,698	220,626	217,216
教育振興費	73,892	90,640	81,802	81,800	97,655	116,130
学校建設費	204,464	66,188	0	50,156	130,363	134,585
幼稚園費	92,760	106,067	105,056	109,034	154,444	161,509
幼稚園費	92,760	106,067	105,056	109,034	154,444	161,509
社会教育費	502,498	501,533	630,153	918,834	918,910	792,381
社会教育総務費	162,626	170,010	175,329	276,175	203,150	193,949
公民館費	160,949	184,339	199,360	278,573	344,634	195,753
図書館費	83,913	87,732	203,809	97,687	83,516	97,686
郷土美術館費	18,567	21,304	14,139	12,036	11,274	－
青少年教育費	1,933	1,037	298	350	344	378
青少年センター費	3,145	3,163	3,084	3,194	3,186	3,266
広瀬歴史記念館費	71,365	33,948	34,134	54,567	53,834	58,312
総合文化施設費	0	0	0	83,752（企画部）	218,955	243,023
美術品購入基金費	0	0	0	112,500（企画部）	17	14
保健体育費	783,977	866,887	1,133,849	1,086,096	1,044,303	1,221,997
保健体育総務費	23,785	33,170	35,133	39,679（うち5,110は企画部）	62,505（うち26,186は企画部）	209,615（うち170,719は企画部）
保健体育施設管理費	0	42,140	233,388	64,117	57,434	35,548
体育施設費	262,510	299,494	383,841	470,785（うち179,246は企画部）	421,629（うち52,855は企画部）	464,188（うち63,720は企画部）
学校給食費	497,682	492,083	481,487	511,515	502,735	512,646
合計	3,238,714	3,564,987	3,742,492	4,031,400	4,018,860	4,957,095

ただし、繰越分含む。

平成28年度放課後児童対策費決算額（民生費　児童福祉費　児童福祉総務費）111,457千円

平成28年度高齢者生きがい創造学園講座事業費決算額（介護保険事業特別会計　地域支援事業費選択型地域支援事業費）8,574千円

社　会　教　育　課

第１　最重要課題

誰もが幸せを実感できる地域社会づくりに貢献する社会教育の実現

第２　重点事項（取組方針）

１　地域課題解決型の社会教育の推進

（１）地域住民主導型の公民館活動の推進
　ア　地域住民主体の地域課題ワークショップの開催（暮らしの問題を共有し解決策を考える活動）
　イ　明らかになった地域課題を解決するための学習活動の推進
　ウ　活動を支える公民館運営協議会等の地域自主組織の結成・強化
　エ　地域課題把握のための関係各課と連携した市政講座の開催（介護・子育て・健康・環境・都市計画・道路整備等）
　オ　まちづくりにつながる人づくりを促進する学習活動の推進
（２）地域版シビックプライド醸成のための地域住民主体の取組の推進
　ア　地域に対する愛着と誇りの醸成につながる学習活動の推進
　イ　学校と連携した取組の展開（総合的な学習の時間）

２　家庭・地域の教育力向上のための取組の推進

（１）きめ細かな家庭教育支援活動への取組
　ア　学校、関係課と連携した子育て支援施策の学習・情報提供
　イ　必要な課題、必要としている親に対応した多様な学習機会・情報の提供
　ウ　親同士の交流や気軽に集まれる場の提供など、講座形式にとらわれない学習・支援活動の展開
（２）地域全体で子どもを育てる意識の醸成と体制の充実
　ア　地域学校協働活動との連携
　イ　地域住民の参画による子どもの居場所づくりの推進
　ウ　子どもが地域で安心して過ごせる環境づくり

３　地域活動を支える人材育成の推進

（１）公民館職員研修等の充実
　ア　館長会、主事会を活用した研修の実施
　イ　ファシリテーター技能等の研修会の開催
　ウ　（新たな）社会教育主事資格取得の推進
（２）校区のまちづくり人材（コミュニティデザイナー）の育成
　ア　地域づくりの担い手となる人材の発掘・育成への取組
　イ　地域コミュニティ課との連携による人材活用

４　社会教育関連施設・機能の充実

（１）公民館施設環境整備事業
（２）高齢者生きがい創造学園環境整備事業
（３）生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園の機能の見直し

５　公民館機能の見直し

（１）公民館の役割の再定義
（２）必要な職員体制への見直し
（３）公民館長の役割の見直し、庁内調整
（４）社会教育委員会議の活性化

第３　主な事業

１　地域教育力向上プロジェクト推進事業（11,493千円）

①個人の学習のための事業・・・「学ぶ」②地域での実践のための事業・・・「活かす」③今後の公民館・地域の方向性を決定するための事業・・・「創る」を３つの大きな柱として各地域で、実情・必要性に応じて①～③のメニューを選択し実施する。地域の特色を活かした事業、住民全体の手によって地域課題を検討・解決していく事業を推進する。

２　公民館施設環境整備事業（65,068千円）

住民の地域づくりの拠点として、利用者により安全快適な施設環境を提供するために、必要な整備・維持管理を実施している。

・中萩公民館、新居浜公民館トイレ改修工事
・大生院公民館屋上防水工事
・調理室エアコン設置（船木公民館ほか７館）　等

３　高齢者生きがい創造学園環境整備事業（47,614千円）

少年ソフトボールの練習等が可能な施設として、広瀬公園西側のグラウンドの拡張・クレー舗装整備工事、水洗トイレ設置工事等を実施する。

第４　別子ハイツ自然学習館

市民に豊かな自然環境の中での学習や研修の場を有料で提供し、青少年の健全な育成と社会教育活動の推進を図るため、設置している。

施設状況

所　在　地	設立年月日	構　　造	敷地面積（㎡）	建物延面積（㎡）	電　　話
立川町1番地1	平成20.4.1	鉄筋コンクリート造２階建	3,207.00	566.50	４１－０４４３

社　会　教　育　委　員　名　簿

（平成 29 年 7 月 3 日現在）
（50 音順）

氏　　名	性 別	備　　考
浅　井　憲　子	女	女性連合協議会代表
安　藤　進　一	男	体育協会代表
稲　見　武　仁	男	中学校校長会代表
久　保　弥　生	女	公民館連絡協議会代表
日 下 部　　条	男	青年会議所代表
篠　原　雅　士	男	文化協会代表
永　易　英　寿	男	市議会福祉教育委員長
中　山　恵　二	男	医師会代表
西　岡　　圭	男	ＰＴＡ連合会代表
野　村　大　介	男	愛媛新聞社新居浜支社長
秦　　榮　子	女	ボランティア連絡協議会代表
日　野　幸　彦	男	連合自治会代表
星　川　孝　徳	男	小学校校長会代表
山　本　公　治	男	高等学校校長会代表
渡　邉　大　輔	男	企業代表

任期　平成 29 年 7 月 1 日　～　平成 31 年 6 月 30 日

公　民　館　等　一　覧　表

（平成29年５月１日　現在）

施設名	所在地	開設年月日	新改築年度	人口 29.3.31	世帯数 29.3.31	構造	建物面積（㎡）	敷地面積（㎡）	施設長氏名
新居浜 32-8312	新居浜市新須賀町 三丁目２番17号	昭和 58.4.1	昭57年度 新築	4,492	2,284	鉄筋 ２階建	535.50	1,586.00	高田　実
口屋跡記念 32-8430	新居浜市西町 ６番２号	昭和 45.10.3	平27年度 改築	4,972	2,561	鉄筋 ３階建	970.65	2,214.87	高田　憲二
地域交流センター 34-6320	新居浜市庄内町 一丁目14番７号	平成 22.4.1	平21年度 新築	11,483	5,420	鉄筋 ２階建	945.02	2,021.40	越智　保二
金栄 33-3212	新居浜市高木町 ６番25号	昭和 56.4.1	昭55年度 新築	5,767	2,655	鉄筋 ２階建	456.00	1,758.00	塩見　進
高津 32-3320	新居浜市沢津町 二丁目３番30号	昭和 33.4.1	平７年度 改築	11,773	5,649	鉄筋 ２階建	987.25	2,220.77	小野　志保
浮島 34-7617	新居浜市八幡 二丁目６番52号	昭和 57.4.1	昭56年度 新築	3,647	1,664	鉄筋 ２階建	456.00	1,480.48	佐々木　清隆
惣開 33-1031	新居浜市王子町 １番３号	昭和 31.2.24	昭54年度 新築	4,180	1,991	鉄筋 ２階建	456.00	1,130.81	久石　保
若宮 34-7612	新居浜市新田町 一丁目８番37号	昭和 57.4.1	昭56年度 新築	1,749	985	鉄筋 ２階建	456.00	1,124.96	久保　弥生
垣生 45-0024	新居浜市垣生 二丁目12番26号	昭和 24.12.1	平元年度 新築	4,383	1,928	鉄筋 平屋建	483.00	1,985.80	加藤　久勝
神郷 46-1181	新居浜市郷 三丁目７番20号	昭和 33.4.1	昭60年度 新築	10,025	4,535	鉄筋 ２階建	624.00	1,803.58	柴田　誠治
多喜浜 45-0014	新居浜市多喜浜 五丁目７番27号	昭和 31.12.27	平27年度 改築	3,885	1,908	鉄筋 ２階建	545.63	1,245.00	今村　美鈴
大島交流センター 45-1006	新居浜市大島 甲589番地	平成 27.4.1	平27年度 移転	196	127	鉄筋 ３階建	交流センター 942.02 体育館 634.05 プール 80.05	交流センター 4,671.32 プール 610.00	近藤　徹雄
泉川 41-6463	新居浜市瀬戸町 12番34号	昭和 30.3.31	平15年度 新築	11,774	5,774	木造 平屋建	公民館 693.00 体育館 286.00	2,966.00	原田　脩三
中萩 41-6735	新居浜市萩生 740番地の１	昭和 22.11.1	平２年度 改築	19,694	9,054	鉄筋 ２階建	984.00	2,024.02	衣川　裕二
船木 41-6003	新居浜市船木 2579番地の１	昭和 24.9.14	昭54年度 新築	7,283	3,356	鉄筋 ２階建	456.00	1,917.99	篠原　元久
大生院 41-6604	新居浜市大生院 1063番地の１	昭和 25.9.28	平４年度 改築	4,000	1,880	鉄筋 ２階建	公民館 562.70 体育館 233.20	4,324.28	松本　彰
角野 41-6224	新居浜市中筋町 二丁目４番24号	昭和 23.11.3	昭54年度 新築	11,750	5,480	鉄筋 ２階建	864.00	2,963.24	横山　泰茂
別子山 64-2211	新居浜市別子山 甲347番地の１	昭和 59.4.1	昭59年度 新築	158	88	鉄筋 ２階建	631.00	821.54	和田　仲吉
合計				121,211	57,339				

※　改築は、増築・大規模改修等とする。

公　民　館　事　業　計　画

新 居 浜 公 民 館

公民館重点目標		～夢・ロマン・感動を求めて～ 1　ボランティア活動の推進 2　学校・家庭・地域を結ぶ青少年育成と見守り隊の推進 3　生涯学習の活性化と推進 4　三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成 5　小学生・中学生の居場所づくりと交流
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	女　性　講　座	地域の女性を対象とし、多種多様な講座を開催し、文化教養を高める。 （年８回）健康教室・手芸教室・料理教室　等
	シニアネットワーク	団塊世代の方が中心となり、豊かな技能や技術を発揮し、健康で生きがいのある人生を送ることが出来る学習の機会や多世代との交流を促進する。
	小学生夏休み講座	未来を担う子どもたちを、健やかに育むため、活力ある、絵画教室・宿題デー・パソコン教室を行う。
	小・中学生料理教室	地域の方が講師となり新たな交流関係を生み出し、料理を学ぶ事により家庭での仕事を体験し、理解できるよう取り組む。（各年１回）
	地域づくり推進事業	「活き生きセミナー」と題して、地域の声や意見を把握し地域発信の地域づくりを推進し、地域住民が楽しく、元気になれる場所づくりや、伝統的な食文化や装飾などを活かして、地域が一体となって「熟議」し取り組める事業を行う。
	三世代交流健康ウォークラリー	三世代交流活動の一環として、球場通りを散策し、健康づくりと三世代の地域交流を目的とする。
	新　小　夜　市	夏祭りを開催し、幼児・小・中学生や高齢者との交流を図り、地域の活性化を推進する。
	三世代交流事業	餅つき・しめ縄づくり・凧づくり・七草粥行事を各種団体が共同で実施し、伝統文化・技術の伝承を行い、各世代間交流と親睦を深める。
	地域自主防災組織の強化	新居浜校区自主防災会を再構築し、単位自治会相互の連携で、熟議に取り組み、災害時においての高齢者対策、地域課題解決を行う。また地域防災知識を高めるため、先進地に研修に行く。
	地域活性化事業	新居浜小学校のビオトープの環境整備とスポーツ教室で地域全体の健康、体力推進を図り、魅力ある地域づくりを行う。
公民館部活動		広報部・文化部
校区内行事		校区運動会・校区文化祭

公　民　館　事　業　計　画

口屋跡記念公民館

公民館重点目標		～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～ １　豊かな心を育てる生涯学習の充実 ２　青少年の健全育成 ３　社会教育関係団体相互の連携・交流 ４　人権・同和教育の推進 ５　生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育（家庭教育講座）	手作り防災頭巾教室、竹細工教室、クリスマス親子食育教室、フィットネス教室
	女性教育（女性講座）	郷土芸能伝承講座（口屋音頭）、うどん打ち教室、消防講話、雛まつり講座　他
	高齢者教育（高齢者講座）	奉仕活動、史跡探訪、防災訓練、保育園児との交流、軽スポーツ、人権・同和教育教室　他
	高齢者・女性合同講座	県内外から講師の先生を呼んで人権・同和教育を学ぶ
	宮西サロン	健康都市づくりの推進に校区で目指したサロンの実施
	生活文化講座	公民館での一泊防災キャンプ
	男の料理教室	地域の男性による料理教室
	スポーツ健康教室	ダーツ、スマイルボウリング、吹き矢　他
	三世代交流講座	ジオラマ・副読本等を利用して、口屋の歴史等を小学生や地域住民に学んでもらう講座を開催する。また、４年生を対象とした七草粥講座を開催し七草の由来や歴史を学び、校区女性部、民生女性委員と一緒に粥をつくり食べる事で異世代交流と文化の伝承に繋げる。また小学生を対象とした「読み聞かせ」や昔の遊びの指導を通して知的好奇心を育む。
	三世代交流福祉もちつき大会	小学６年生、ＰＴＡ、老人会、自治会等でもちつき、女性部による赤飯作りを実施する。また６年生は、たまごとダエンの積木を使用した講座を行い、創造力の育成を図る。最後に地域の 75 歳以上の独居老人宅に児童の手紙を添えて民生委員と児童が赤飯を配布する。
	北中校区子ども絵画展	地域の元美術の先生を中心として、子どもたち(小・中学生対象)から絵を募集して審査・展示・表彰し、その後指導の教室を開く。この事業を通して、ＰＴＡ、学校、地域が協力し合い、子どもたちの文化的な活動を後押しし心を癒し、育てるための事業
	三世代で考え学ぶ防災訓練	毎年開催することで、防災意識を常に持ち、災害時に連携を深めるための訓練を実施する。また先進地へ出向き、学んだことを活かすための研修を実施。
	口屋あかがねプロジェクト事業	口屋あかがねの会・くちやあゆみの会と２つの会が次世代に残していきたい口屋の歴史を広める活動を実施。また同じ歴史でつながる角野公民館との交流講座でお互いの親睦を深めるための事業
コミュニティ活性化事業（防災訓練）		地域の防災意識を高め、校区における防災課題を見出し災害発生時にスムーズに対応できるような体制作りを目的に訓練を実施。
校区内行事		文化祭、運動会
その他特記事項		人権・同和教育お茶の間懇談会

交　流　セ　ン　タ　ー　事　業　計　画

地域交流センター

交流センター重点目標		～笑顔あふれる地域交流センター～ １　地域ふるさとづくりの推進 ２　生涯学習・スポーツの推進 ３　各種団体との連携・協力体制の強化 ４　地域が一体となった青少年の健全育成 ５　自主防災組織の充実と意識の向上
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高　齢　者　講　座	高齢者の健康と活力を高めるとともに学習を通じて親睦交流、仲間づくりと教養を高める講座を行う。 ・グランドゴルフ大会　・料理教室　・ノルディックウォーキング ・手芸教室　・昔の遊び　・人権研修　等
	家　庭　教　育　講　座	金子小学校ＰＴＡを中心とした活動で、学習や親子で楽しむ講座を行う。 ・親子陶芸教室　・救急法　・親子工作教室　・親子科学実験教室 ・人権同和教育研修　等
	スポーツ健康教室	校区住民を対象に、スポーツを通じて各世代間交流を図り健康づくりを行う。 ・カローリング　・ウォーキング　等
	宿　泊　合　宿	「おやじの会」を中心に、保護者の連携と子供たちとの関わりを大切にし、みんなで協力して色々なことを体験することで、リーダーを養成する機会にする。 また、地域の歴史についても勉強する。
	文　化　教　養　講　座	金子校区に伝わる踊りや歴史文化を学習する。 ・たぬき踊りの練習　・ふるさと探訪
	三　世　代　交　流	三世代交流を目的とし、地域の人たちがふれあいながら、四季を感じられる講座を行う。 ・七夕　・しめ縄作り　・凧作り　・七草を知る会
	地域活動を支える人材育成	地域づくりの担い手となる人材の発掘・育成への取組 気軽に集まれる場の提供
	まちづくり事業	防災運動会・訓練の実施 入間市金子公民館との交流会 ・防災運動会、防災訓練　・入間市金子公民館との交流会
放課後子ども教室推進事業		金子校区に伝わる「小女郎たぬき」の民話を継承していくために、地域の大人から子供へ、踊り・篠笛・太鼓の技術指導をする。 また、そろばん教室や習字教室も実施する。
交流センター部活動		総務文化部、青少年部、保健体育部、広報部
校　区　内　行　事		ラブ金子ふるさと夏まつり、芸能発表会、文化祭、高齢者軽スポーツ大会

公　民　館　事　業　計　画

金　栄　公　民　館

公民館重点目標		～地域と共に歩む公民館を目指して～ １　安全・安心のまちづくりの推進 ２　青少年健全育成の推進 ３　公民館活動への住民の参画促進及び各種団体との連携強化 ４　自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	婦　人　講　座	人権学習、料理教室、踊り教室、干支作り、手芸教室など
	高　齢　者　講　座	人権学習、軽スポーツ、料理教室など
	家　庭　教　育　講　座	人権学習、小物作り、チョークアートなど
	ふれあい文化講座	趣味を広げ、教養を高めながら豊かな人づくりを目指す
	三　世　代　交　流　事　業	親子のつどい、芸能発表会、金栄ふれあいの集い
	金　栄　盆　踊　り	地域住民の夏の交流の場として盆踊り・模擬店等を開催
	ドリームツリー「金栄ふれあい広場」	金栄校区の冬の風物詩であるドリームツリーの点灯式･アトラクションなどを開催（12 月 10 日）
	金栄まちづくり事業	防犯防災部会（地域パトロール）、防災熟議、先進地研修、中高生ボランティアスタッフ養成
	子　育　て　支　援	ママとベビーの３Ｂ体操、親子ｄｅふれあい遊び、料理教室など
放課後子ども教室推進事業		かるがもクラブ （タブレットの学習、そうめん流し、お弁当作り、奉仕作業、みかん狩りなど）
公　民　館　部　活　動		広報部、防犯防災部等
校　区　内　行　事		運動会（５月 21 日）、文化祭（11 月 12 日）
そ　の　他　特　記　事　項		金栄ふれあいの家（月１回） 金栄ふれあいランド～わくわくキッズ王国・ふるさと青空マルシェ～ （11 月 11 日）

公　民　館　事　業　計　画

高津公民館

公民館重点目標	～安心と安全のまち「たかつ」～ 1【住民交流】隣近所が支え合い、助け合って「みんなが明るく住みやすい」町等 2【育児】親、子どもが自由に集まって、ふれ合い、遊び、子どもたちが元気に「健やかに育つ」町等 3【高齢者】高齢者同士が交流し、地域の子どもたちと触れ合って「明るく生き生きと生活する」町等 4【障がい者】障がい者や障がいを正しく理解し、障がい者から真に求められる「手助けをする」町等 5【青少年健全育成】子どもたちが友達や仲間たちとふれ合い、助け合い、理解し合って「共に成長する」町等 6【環境】一人一人が気を配り、みんなの力で実現する「清潔で美しい」町等 7【防災】想定される災害を正しく理解し、災害に備える「災害に強い」町等

事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	健康、人権・同和学習、音楽、交通安全教室、防災、水道ビジョンの取組、郷土史等
	女性講座（女性セミナー）	人権・同和学習、ＵＶレジン、草木染め、健康、観劇、コットンパールのアクセサリー作り等
	健康講座	歩け歩け大会
	スポーツ健康講座	各種体操、軽スポーツを実施して、校区住民の親睦交流・健康づくりを推進する。
	健康ウォーキング	ウォーキングを通して自然に親しみ、親子、子どもからお年寄りまで異世代間の交流を図る。
	れんげ祭り	自然体験の少ない子どもたちのために農地を借り上げネイチャーゲーム、昔遊び、防災交通安全の啓もう等を行うとともに三世代の交流を図る。
	たかつ納涼夏祭り	校区の夏のイベントとして、子どもからお年寄りまで皆が楽しめる夏祭りを実施する。盆踊り・模擬店・迷路・ゲーム大会・交通防災勉強会等
	たかつ花あふれるまちづくり	ボランティアによる花苗の栽培と花壇の植え込み、管理等のまちの環境美化を行うとともに、花づくりを通して心豊かな人間形成を行う。
	たかつ史跡めぐり	地域についての史跡を学び、地域への関心を育むと同時に、地域の人々の親睦・交流を深める。
	文化部発表会	公民館利用サークルの発表の場を設け、サークル間の情報交換や技術向上を目的とする。
	青少年育成事業	児童に様々な体験学習を行うと共に成年・青少年に対し長期的視点でリーダー養成を行う。今年度は、きっず防災キャンプを実施する。
	たかつ防災事業	国領川・沢津垣生海岸の隣接自治会から順次、地震・津波・豪雨の災害時への対応の啓蒙・周知を図る。
	家庭教育講座	親子関係が希薄になり児童虐待の家庭問題が頻発している昨今、親への教育も重要であることから親への講演会を実施する。また、特に未就園児を持つ母親が孤立しないよう気軽に集える講座を開設
	高津まちづくり構想実行推進事業	高津まちづくり構想策定事業で決定した住民交流・児童福祉・高齢者福祉、障がい者福祉、青少年健全育成、環境、防災、都市基盤の８分野の中から第１～第４までの４つの実行委員会を組織し、話し合いをしながら地域の課題解決を図る。
	三世代交流わいわいクラブ	校区住民が気軽に集える居場所を毎月第３水曜日の午後に公民館で開催し、高齢者の知恵や知識を次世代の子どもたちに伝える。
放課後子ども教室推進事業		地域社会の中で子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進する（やんちゃクラブ）。毎週土曜日開催。
公民館部活動		総務広報部（公民館報の編集、各種団体役員名簿の作成等） 文化部（文化サークル発表会の開催等）青少年部（青少年健全育成の講演等）
校区内行事		校区運動会、校区文化祭
学校支援地域本部事業		高津よみきかせクラブの活動により低学年の道徳、創造力等を養う。

公　民　館　事　業　計　画

浮　島　公　民　館

公民館重点目標		～明るく元気な浮島校区の構築～ １　青少年の健全育成を地域の課題として取り組む。 ２　高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進 ３　「安全・安心」の地域の拠点としてのレベルアップ
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	総　合　講　座	校区内住民を対象に、人権同和教育・防災・健康などに関する講座を開催する。（年間９回）
	男性料理教室	男性料理教室は校区内男性を対象に、季節の食材を使った料理や一人で手軽にできる料理などを作る。（年間９回）
	家庭教育講座	校区内小学校の児童とＰＴＡを対象に、家庭教育力を高めるための講座を開催する。（年間９～10回程度）
	女　性　講　座	校区内女性を対象に、日常的で、興味のある教室講座を開催し交流を深める。（年間８回程度）
	高　齢　者　講　座	校区内高齢者を対象に、学ぶ・体験する講座を開催する。（年間８回程度）
	子　ど　も　教　室	校区内児童を対象に学ぶ・体験する講座を開催する。（年間６回）
	伝統を伝える講座	材料から採取する「門松」作りと七草がゆや児童としめ縄作りや昔遊びを行う。
	明るく元気の出る標語看板作り	児童の「明るく元気の出る標語」を看板に作成し、校区内に設置する。
	幼児＆児童の健全育成講座	幼児と児童の健全育成を目的に「まもるくん活動」などを推進する。
	ふ　た　ご　ク　ラ　ブ	双子及び保護者を対象とした育成指導・情報交換等
（旧）公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム事業		先進地での研修を行い、人材の育成を目指す。学校と地域合同で防災訓練を実施し、今後の災害対策について学ぶ。
校　区　内　行　事		浮島校区文化祭、七草がゆを食べる会、防災訓練、春季大運動会（小学校、地域と共同開催）
そ　の　他　特　記　事　項		○まもるくんパトロール隊による地域に根ざした防犯活動 ○学校・地域が一体となった運動会

公　民　館　事　業　計　画

惣　開　公　民　館

公民館重点目標		～地域と共に歩む活気ある公民館づくりを目指して～ 1　事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る。 2　地域資源を活かしたまちづくり 3　地域住民に親しまれる公民館づくり
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	シニア教室	三世代交流を深めながら、高齢者の交流、健康づくり、生きがいを感じる場をつくる。 カラオケ教室、健康教室、陶芸教室
	遊ｙｏｕ講座	地域の男性・女性を対象に多種多様な講座を開催し文化教養を高める。 料理教室、人権・同和教育、男女共同参画、健康教室、手作り教室、マナー教室、防災研修、社会見学
	乳幼児学級	親同士のふれあいを深めるとともに家庭教育の向上と教養を図る。
	生活文化講座	未就学児をもつ子育て世代の親を対象に同世代交流と教養を高め家庭教育の向上を目指す。
	三世代交流事業	校区住民の交流と伝統文化の継承を行い、各世代間の交流を深める。 昔のあそび、卒業記念もちつき大会、地域と園児のもちつき大会
	まちづくり事業	地域の歴史や文化を掘り起こし、事業計画を熟議し、魅力あるまちづくりに繋げていく。 夕涼み会、七草がゆ、観月会、ふれあいウォーク
	プリンス＆プリンセス事業	小学校に通う児童を対象とし、公民館へ来る機会をつくり、楽しみながら学べる場所づくりと地域交流を図る。 コーラス教室、ダンス教室、地域探検、料理教室　他
校区内行事		校区文化祭

公　民　館　事　業　計　画

若　宮　公　民　館

公民館重点目標		～「地域とともに歩み育つ公民館」をスローガンとして家庭・学校・地域の連携をはかり、安全・安心で住みよい若宮校区づくりを目指す～
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	環境にやさしいまちづくり	美しい地球を未来に残すため、環境意識の高揚と実践。 美しい地域づくり。（花いっぱい運動）
	安全･安心なまちづくり	校区防災活動への支援、防災組織力の向上。防災意識の高揚。 災害時要援護者支援体制づくり支援。
	子どもが主役のまちづくり	学びの場・癒しの場を提供し、校外生活の充実を図る。 子どもの居場所づくりの推進。
	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者が自立した生活を送るための活動の機会や場を提供する。 高齢者の軽スポーツと健康維持。
	スポーツと健康	三世代交流軽スポーツの実践。 健康ウォーキング。
	地域の伝承･歴史の伝承	年中行事の伝承。三世代交流。 昔の遊びを子どもたちと手づくり。（竹とんぼづくり、紙飛行機づくり、凧づくり、七夕飾り、七草がゆ、もちつき）
	趣味と教養	歴史や文学に親しむなど家庭教養を学び、生活の知恵や趣味活動を通して生活の潤いを図る。
	地域づくり	地域の方向性を決定するための事業として、他市町村の進んだ社会教育施設・活動を研修し、今後の活動に活かす。
放課後子ども教室推進事業		地域の教育力を結集し､様々な体験活動を子どもたちに提供することにより、地域全体で健全な子どもを育む。
校区内行事		校区文化祭

公　民　館　事　業　計　画

垣　生　公　民　館

公民館重点目標		～地域と共に歩む公民館～ 1　地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり 2　自ら学ぶ生涯学習の推進 3　各種団体・機関との連携強化 4　生活文化活動の振興 5　安全で住みたい垣生づくり
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育講座（家庭教育コース）	親の役割、健康づくり、料理、環境問題、世代間交流等の講座を実施し、家庭教育の責任者としての自覚を促し、開かれた家庭、明るい家庭づくりを図る。
	婦人講座（婦人コース）	教養講座及び奉仕活動、健康づくり、郷土理解、料理、世代間交流等の講座を実施し、婦人の家庭や地域における役割を考える。
	高齢者講座（高齢者コース）	輝く老人（生きがいづくり）、体の健康、心の健康づくり、奉仕活動、レクリエーション、世代間交流等の講座を実施し、社会の一員としての自覚を促すと共に、高齢社会への対応を考える。
	ふるさと文化講座（文化コース）	郷土芸能「じょうさ節」の保存、伝承を中心に、郷土理解を図り、明るく住み良い郷土づくりを考える。
	成人講座	家庭や地域の大黒柱である成人（中高年男子）を対象に成人大学を開設し、料理教室、史跡探訪、参禅等の学習を通して、家庭・地域の活性化を図る。
	スポーツ健康教室	軽スポーツ、ニュースポーツの実施を通してスポーツの浸透を図り、主体的な健康管理を促進する。
	イルミネーションファンタジー	毎年、年末年始の数日間、垣生公民館の駐車場の木々を装飾する。12月17日にイルミネーション点灯式を行い、来館者に豚汁を振舞う。
	校区納涼祭	花火大会、盆踊り、出店等を開き、校区住民の親睦を図る。
	三世代交流軽スポーツ大会	軽スポーツ大会を開催し、地域と小学生の交流を図る。
	垣生山遊歩道整備	地域をあげて校区のシンボルである垣生山の環境保持作業に努めることにより、愛着を深めてもらう。また、市民の方々に健康づくりや憩いの場として利用してもらうために遊歩道整備を行う。
	子育て支援	子育て中の母親たちの交流の場を提供する。
	垣生キッズ共和国	子供対象にした垣生校区の新しい交流の場を作り、幅広い年齢層で楽しめ、地域の交流を深めるため開催。
	垣生環境美化事業	えひめＡＩ－２・ボカシを作り、地域住民に利用していただき、より良い環境づくりを図る。
	緑のカーテン運動	ゴーヤを育て、より多くの地域の方へ緑のカーテンの普及を図る。
学校支援地域本部事業		小学生と地域が農業体験を通じて交流を深める。クラブ活動の支援など。
校区内行事		校区文化祭・芸能祭、大運動会、納涼祭、敬老会、少年式、一日敬老の家、生き生きサロンなど。

公　民　館　事　業　計　画

神　郷　公　民　館

公民館重点目標		家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安心・安全で住みよいまちづくりを目指す。 1　青少年の健全育成 2　地域の安全と安心の推進 3　地域福祉の拡充 4　生涯学習の推進と各サークル活動の支援 5　スポーツの推進と健康づくりの推進 6　お茶の間懇談会の拡充・強化 7　自主防災組織作りの拡充・強化 8　地域の環境美化の推進
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	いきいき講座	年代・性別を問わず各人の教養・技能を高め、生活に活かせる内容の講座を開催し、交流を深めることを目的とする。史跡巡り、コース料理、陶芸、染物等
	高齢者講座	歴史教室・安全教室・健康教室・男性の料理教室・文化教室など、体と心共に健康であり、地域での生きがいづくりを図る。
	乳幼児期家庭づくり教室	防災教室・人権教室・三世代交流サマーレクリエーションなど、乳幼児を持つ父母の為の情報交換の場を作り明るい家庭づくりを図る。
	三世代交流事業	三世代交流おはよう体操・大凧づくり教室・軽スポーツ体験教室など、三世代交流を図り、古くからの伝統文化を継承する。
	神郷夏祭り開催事業	「三世代が集うふれあいのまちづくり」を目標に、高齢者から幼児まで広く参加できる三世代交流の場として、地域の活性化に資するため、神郷夏まつりを実施する。
	観月会	地域の方々との交流を目的とし実施する。郷土食ともいわれるいも炊きで季節感を味わう。
	神郷まちづくり事業	神郷まちづくり委員会の三部会を核としたまちづくり事業、先進地見学、熟議、自主防災、忠魂碑広場整備、交流事業、ピザ窯体験等
	わくわく小学生	小学生が様々な体験活動を通じて地域の人と触れ合いながら交流を深め郷土を愛する心を育むことを目的とする。
	ママ友講座	子育て世代の若いお母さん対象に地域の方を講師に迎え、郷土料理、手芸等の教室を開催し、教養を高めるとともに、異世代交流を行う。
校区内行事		大運動会・文化祭・芸能発表会・夏まつり・自治会対抗ソフトボール大会・自治会対抗レクバレーボール大会
その他特記事項		文化活動の推進・神郷史情保存会による神郷史情の普及を図る。

公　民　館　事　業　計　画

多 喜 浜 公 民 館

公民館重点目標		～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～ １　潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進 ２　世代間の交流、人材の発掘 ３　学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成 ４　郷土の伝統文化・塩田歴史文化・「かしょい」精神の継承 ５　人権・同和教育の推進
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	ス ク ー ル 多 喜 浜	講演会、スポーツ健康教室、婦人講座、子育て講座
	高　齢　者　大　学	健康問題、交通安全教室、人権・同和教育、軽スポーツ、演芸大会
	三 世 代 交 流 事 業	多喜浜焼教室、しめ縄作り、お手玉教室、少年の日を祝う会
	だいすき多喜浜夏祭り	夏まつり
	塩 田 文 化 バ ン ク	塩田ウォーク、塩レシピ、郷土芸能発表会、塩田学習夏休み教室
	環　境　講　座	ゴミパトロール、環境活動、えひめAI-2作成
	ま ち づ く り 講 座	塩田カルタ大会、防災・減災を考える
放課後子ども教室推進事業		ボンデン広場（軽スポーツ、体験教室他）
校　区　内　行　事		校区大運動会、夏祭り、校区文化祭、演芸大会
そ の 他 特 記 事 項		自治会対抗各種スポーツ大会、多喜浜塩田遺産を活かした諸活動

交　流　セ　ン　タ　―　事　業　計　画

大島交流センター

交流センター重点目標		～地域住民に親しまれるセンターづくり～ １　高齢者が楽しみながら健康維持できる推進事業 ２　歴史と自然を守り伝統文化の伝承 ３　住民どうしのつながりと安全・安心なまちづくり
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	教　養　講　座	個々の教養を高めながら、地域の人達との親睦を深める。 絵手紙・手芸教室・男の（女の人も）料理教室等
	高　齢　者　講　座	高齢者の健康と活力を高めるとともに、学習を通じて親睦と教養を高める。 施設見学と買物ツアー・人権学習・健康体操等
	伝　統　文　化　の　伝　承	古来より伝わっている「念仏踊り」を次世代に継承すると共に、大島には、沢山の史跡が残っているが、場所が分からないため、目印になるものを作成し、島内外の人達に利用してもらい、「島おこし」を図る。 念仏踊り（口説）の練習・史跡看板作り
	防　災　教　室	自治会との連携で熟議に取り組み、災害時においての対策と訓練を防災運動会を通し、地域住民みんなで学ぶ。 防災訓練・防災運動会
校　区　内　行　事		町内一斉清掃・とうど祭り・敬老会・校区文化祭・大島夏祭り・秋祭り
そ　の　他　特　記　事　項		

公　民　館　事　業　計　画

泉　川　公　民　館

公民館重点目標		～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～ １　再発見事業 ２　住民が総参加の事業展開 ３　まちづくりの醸成
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	ふるさと塾	不特定多数の人を対象にした講座の開設。地域住民が主体的に取り組むことができる地域づくりや課題解決に取り組んだり、関心の持てるような内容を提供していく。
	なんでも学習会	公民館までは少し遠いし、用事もあって…夜出かけるのはちょっと…近くの自治会館だったら気軽に参加できるのに…等々、公民館で開催される講座に参加できなかった皆さんも対象として、自治会館での学習の機会の充実を図る。
	星原市２０１７	校区の夏まつりとして、古くから続く星原市と３年前から「子どもまつり」を一緒に行い、大人から子どもまで一緒に協力し楽しめる行事を開催。模擬店や餅なげ等でにぎわう。
	環境講座	廃棄していた生ゴミから堆肥を作り、学校とも連携しながら花壇の肥料として再利用する。そして、子どもが関わることで住民に環境問題に関心を持ってもらえるよう実施する。
	「防災」その時、どうする？	地域を対象とした防災意識を養うために避難訓練、防災訓練を実施する。また子どもを対象にした通学合宿の際に1日を利用して、食事など生活一般の中で防災意識を養う防災宿泊研修を実施する。
	泉川年輪のつどい	地域住民の子どもたちからお年寄りまで参加し、金婚式該当者や喜寿のお祝い、その年にまちづくりで活躍された方、団体などを招へいし、たたえる日を設け、式典やアトラクションで祝い、地域活動を次年度につなげていく。
	伝統行事を伝える	核家族化が深刻となっており、残しておきたい伝統行事も体験する機会が不足している現状を踏まえ、高齢者に指導してもらい、三世代交流も行う。
放課後子ども教室推進事業		大好き泉川っ子体験教室
校区内行事		町民大運動会、公民館まつり、とうどさん
その他特記事項		花いっぱい運動、防災訓練、毎月第２日曜日「大好き泉川の日」の清掃ボランティアの実施。

公　民　館　事　業　計　画

中　萩　公　民　館

公民館重点目標		～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～ 「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町　日本一の中萩」 1　生涯学習・生涯スポーツ活動の推進 2　青少年健全育成の推進 3　社会福祉活動の推進 4　人権・同和教育の推進 5　安心・安全な地域づくりの推進
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	中萩セミナー	教養や趣味を高め、地域へのボランティア活動などを視野に入れた講座内容を企画運営し、充実を図る。
	高齢者セミナー	軽スポーツ競技、小学生とのふれあい活動、伝統文化継承、健康講座、交通安全教室等を通じて、高齢者の生きがいづくりを進める。
	健康セミナー	軽スポーツ教室の実施や健康についての講座などを開講し、地域住民の健康づくりを推進する。
	福祉セミナー	これから迎える「超高齢化社会」をできる限り安らかに有意義な生活を過ごせるように介護予防だけでなく、介護をする側への知識や手法などを学ぶ機会の充実を図る。
	子どもスポレク祭	地区単位で分かれてスポーツで汗を流し、郷土愛と地域での絆を深める。
	十河信二を知り学ぶ活動	十河信二翁についての講演、十河信二翁の通学路を歩く会、偲ぶ会、 十河信二翁展（写真、遺作展、図書等）等
	中萩三世代交流事業	地域の子どもたちに伝統文化を継承していくための事業を実施し、三世代の交流と絆を深める。
	環境改善事業	自然保護のために、家庭排水などの浄化を図る活動を推進する。 花を育てることで環境美化への意識向上を推進する。
	まちづくり推進事業	地域に活力をもたらす様々な事や地域の問題を話し合い、集うことで、解決策を探り、地域力を養い、今後の地域・公民館の方向性を探る場となることを目指す。
放課後子ども教室推進事業		はぎっ子テン（第２，４土曜日）
校区内行事		校区運動会、ほたる祭り、校区防災訓練、校区文化祭、冬まつり

公　民　館　事　業　計　画

船　木　公　民　館

公民館重点目標		～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～ 1　学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成 2　心豊かな福祉のまちづくりの推進 3　一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進 4　人権・同和学習の推進 5　地域に根ざした親しまれる公民館づくり
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	人　権　講　座	・人権について
	健　康　講　座	・健康体操教室 ・認知症講座
	環　境　講　座	・グリーンカーテンをつくろう！　・花いっぱい運動（２回）
	伝　統　文　化　講　座	・七夕教室　・盆踊り教室　・昔の遊び教室　・芸能祭 ・七草教室　・とうどまつり　・仏教に学ぶ
	こ　ど　も　講　座	・理科教室　・電気について学ぼう　・子どもスポーツ教室 ・ちぎり絵教室
	趣　味　講　座	・マフラーづくり教室　・エコクラフト教室（２回） ・陶芸教室　・プリザーブドフラワー教室
	ＨＡＰＰＹクッキング講座	・男性健康料理教室　・韓国料理教室　・親子クッキング教室
	池田池ラジオ体操とお池をかこむ会	船木のシンボルである池田池に住民が集まり、池田池太鼓寄せ広場で、日本中に元気な声が届くようにと力いっぱいラジオ体操する。その後、みんなで池田池一周ウォーキングをすることで、地域に大きな輪をつくるように、繋がりを深める。 みんなで池田池の周囲をウォーキングする。地域の大きな輪をつくる。
	地　域　づ　く　り　講　座	校区の子どもたちが将来戻ってきたいまちづくり・地域づくりのために、先進地研修等開催し、地域づくりをみんなで考える。 ・防災講演会　・防災訓練　・交通安全教室
校　区　内　行　事		・住民大運動会　・池田池菖蒲まつり　・夏まつり　・長寿大運動会 ・芸能祭　・文化祭　・校区成人式　・校区マラソン大会 ・校区徒歩探訪会

公　民　館　事　業　計　画

大 生 院 公 民 館

公民館重点目標		～地域住民が集まり、共に進む公民館～ 1　事業の企画・運営への住民の参画促進 2　地域資源(自然)を生かした特色ある事業の推進 3　自主防災組織の更なる充実と意識の向上 4　子どもの居場所づくりと交流
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者いきいきセミナー	落語・映画上映会・輪投げ大会等
	くらしのセミナー	体操教室・陶芸教室・料理教室等
	子育て支援セミナー	食育・バルーンアート・フラワー教室等
	スポーツ健康教室	スマイルボウリング・シャフルボード・カローリング等
	三世代交流事業	たのも団子作り・しめ縄作り・七草粥・昔のあそび・ふれあいの集い
	うずい教室	児童を対象に、学び・体験活動の場を提供
	大野山プロジェクト	歩いてゆく大野山ツアー・ます釣り大会・ほたる祭り・ウォークラリー
	郷土の歴史と文化	大生院校区についての史跡や歴史を学び､地域への関心を育むと共に地域住民の親睦・交流を図り郷土愛を深める。また、次世代への伝承していくための後継者の育成を行いまちづくりに繋げていく。
	大生院まちづくり事業	安心安全なまちづくり､魅力あるまちづくりに取り組むべく熟議を重ね、地域の活性化を目指す。防災教育講座や訓練等を行い、防災にも力を入れる。
放課後子ども教室推進事業		茶道教室・絵手紙・工作・パン作り・スポーツ・レクリエーション等
校区内行事		文化祭
その他特記事項		

公　民　館　事　業　計　画

角　野　公　民　館

公民館重点目標		～共に学び・話し・喜び会える地域づくりを目指して～ 1　思いやる心を育てる生涯学習を推進し将来を見据えた地域づくり 2　伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり 3　学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり 4　自分達で命を守る防災組織の確立を図る地域づくり 5　三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり
事　業　名		事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	合同セミナー（三世代交流）	異世代交流を目的とし、伝統行事の継承を図り、よりよい人間関係を築く。 ・開講式記念講演・角野ウォークラリー・おはようラジオ体操（３回） ・三世代交流もちつき大会・しめ縄づくり・七草がゆ・閉講式記念講演
	手作りセミナー	教養を高め趣味を幅広く生かした講座を企画する。 ・エコクラフト（薔薇のかご）２回・押し花で作るうちわ ・ペーパーアート・干支づくり・アートフラワー雛飾り ・気軽に抹茶を楽しもう
	いき生き生活セミナー	高齢者を中心に情報交換の場を提供し、健康で生き生きとした生活を送る事を目的とする。 ・生き生きコーラス・メンズクッキング（魚！）・工場へ行こう ・ＰＰＫ体操・季節の料理教室
	家庭教育セミナー	子ども達の健全育成、未来を担う子どもを地域で育てる。 ・夏休み子ども教室　科学教室・サバイバルキャンプ（着衣水泳等） ・昔遊び　お手玉、けん玉
	スポーツ健康教室	各種スポーツを通じ地域の親睦を深め、生涯スポーツの普及をはかる。 ・軽スポーツを楽しむ（カローリング、他）放課後こども教室との連携
	伝統文化プラン	地域と学校が連携し、身近な歴史を深く知り学ぶ事を目的とする。 ・ちびっこ相撲・とうどおくり ・口屋跡記念公民館との共催事業
	未来まちづくりプラン	将来のまちづくりを視野に入れ、環境に配慮したまち、高齢化社会に対応した住みやすいまち、災害時に対応できるまちづりを目指す。 ・環境緑化推進・園芸教室５講座・防災訓練
学校支援事業		学校と連携し、昔を知り将来を見つめ郷土を愛する心を育てる。安心し通学できる環境を整え、先進地研修により新たな問題点を洗い出し、安全でより住みやすい地域とする。 ・角野校区に残る近代化産業遺産めぐり・見守り活動・すみの郷土館開館
校区内行事		・町民大運動会・すみの夏まつり・観月会・文化祭・芸能祭・地域清掃
その他特記事項		自主防災組織のさらなる充実、学校・保育園・各種団体と校区住民が相互に連携をはかり防災意識を高める。

公　民　館　事　業　計　画

別 子 山 公 民 館

公民館重点目標	～地域づくりの拠点として、暖かくぬくもりのある公民館を目指して～ 1　学校・地域との連携を図り、地域活性化に繋げる 2　伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る 3　人権・同和教育の推進 4　青少年の健全育成を図る 5　世代間交流の充実強化

事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	健康づくり教室	地域住民の高齢化に伴い、地域力の底上げを行うため、体力づくり及び地域内を散策することで、現状の再認識と体力の向上に結びつける。 ・スポーツ教室（ソフトバレーボール・バドミントン） ・地域を歩く散策ツアー
	地域環境講座	地域の子供たちや父兄とともに、別子山の澄んだ夜空を天体望遠で観察体験してもらう。特にゆらぎの森のヘリポートは周囲に街灯や民家の明かりもなくいままで経験したことのない星空を見ることができるはずです。　自然観察では新居浜市の一番高い所にあり　高山植物の宝庫でもある赤石山系を背景に、地域学習を助長する。また、資源の有効活用につなげることで、自然のありがたさを身をもって知ることが出来る。 ・天体観測体験 ・植物・自然観察学習（山菜等採取講習会）
	まちづくり支援事業	まちづくりは、地域を知ることから始まると考え、市の指定天然記念物である桜の周辺整備を行い、守り育てることの大切さを肌で感じ保全管理によって地域の重要なシンボルとする。 さらに、まちづくりの一環として、四国最大規模で行われる大会を視察研修し、良好なまちづくりに繋げる。また、地元の地域づくりの参考に、高知県にて視察研修を行う。 ・市指定天然記念物エドヒガン桜周辺整備 ・雪合戦四国大会研修 ・先進地研修（高知県：武井近三郎園芸研究所）
	ふれあい体験学習	地域内外で働く住民を対象に、自然を体感し健全な心と身体を養うことを目的に登山を実施し、心身のリフレッシュを行う。さらに、地域の独居高齢者を対象に配付を行う、おもちつきを行い、少しでも豊で思いのこもった年始を迎えて頂くため実施する。 ・大座礼山ファミリー登山 ・独居高齢者配付用餅つき
	いきいきまちづくり	学校の小規模化に伴い校区住民と学校が一体となって運動会を実施している。今年度も、地域全体で「学校を盛り上げて行こう」の機運の高まりもあり、地域住民の体力の向上と、連帯感の育成を行い、地域内外との人的交流を図ることを目的に実施する。 ・別子校区秋季大運動会
	地域文化の伝承	人口減少と高齢化により地域文化の伝承が難しくなっています。写真・映像や文字にして残す事をしなければ、この地域文化の伝承は難しいと考える。 ・別子銅山跡探索
校区内行事		・敬老会 ・自然フオーラム ・別子校区産業文化祭

青　少　年　セ　ン　タ　ー

重点目標

１　「見せる補導」を徹底し、非行の未然防止に努める。
２　学校周辺を巡回し、児童生徒の安全確保に努める。
３　安全情報ネットワークの整備に努める。

重点事項

１　健全育成活動の推進

（１）青少年の非行・被害防止全国強調月間　（７月）、子ども・若者育成支援強調月間　（11月）　の推進
（２）青少年善行表彰

２　相談活動の推進

（１）相談業務の周知徹底、積極的な相談活動
（２）適切な資料提供並びに専門機関への紹介

３　少年補導委員による補導活動の充実

（１）地域に密着した昼夜の街頭補導
（２）夏祭り、花火大会、年末等における特別街頭補導
（３）支部長による広域補導

４　環境浄化活動の推進

（１）危険箇所、非行集団等のたまり場の早期発見と指導
（２）未成年者喫煙、飲酒防止の推進

５　情報収集と啓発活動の充実

（１）青少年健全育成入選標語の広報による周知、啓発
（２）ホームページによる情報発信
（３）センターだよりの発行

６　研修活動

（１）少年補導委員研修大会の実施
（２）各種研修会への派遣

７　関係機関・団体・学校等との連携強化

（１）学校・警察・児童相談所等との相互情報交換並びに連携の推進
（２）少年補導委員会議等（支部長会）の開催
（３）青少年健全育成、非行防止に関する各種会合等への積極的な参加

施設状況

所　在　地	開　設 年月日	構　　造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	電　話	所長氏名
繁本町８番６５号	昭和 39.7.16	鉄筋コンクリート造 ２階建	403.68	403.68	３３－４１５２	工藤　順

地区別少年補導委員の状況

（平成29年４月１日現在）

地　区　別	補　導　委　員　数		
	男（人）	女（人）	計（人）
川　西　地　区	37	21	58
川　東　地　区	35	20	55
上　部　地　区	47	29	76
計	119	70	189

生　涯　学　習　セ　ン　タ　ー

重点目標

生涯学習を広く市民に啓発し、自らの意思で学習に取り組むことができるための条件を整備するとともに、人材の発掘育成をすすめ、市民一人ひとりが主役となる生涯学習ネットワークづくりを目指す。

重点事項

１　生涯学習大学事業の推進

（１）大学、工業高等専門学校等の高等教育機関等との連携を図り、日本文学講座、松山大学公開講座、新居浜高専市民講座等、各種講座を開設する。
（２）市民のニーズ、時代の変化に対応した講座や必要課題に関する講座を開設する。
（３）市民への幅広いＰＲにより新たな層の参加を図るとともに、生涯学習大学の自主的運営を促進する。
（４）生涯学習推進員制度を設け、市民のニーズを反映した各種講座の企画・運営に努める。

２　生涯学習情報の収集・提供及び学習体制の充実

（１）県生涯学習情報システムの有効活用を図る。
（２）生涯学習に関する情報を収集するとともに、「悠游たより」等により情報の提供及び交換を行う。
（３）生涯学習の情報網を整備し、学習体制を充実させる。

３　生涯学習を推進するネットワークの促進

（１）公民館との連携を密にするとともに、市社会教育課をはじめ市内の生涯学習関連機関、施設、事業所等との協力のもと、生涯学習センターを核とした生涯学習ネットワークの構築に努める。
（２）社会教育団体をはじめとする生涯学習に関連する団体との連携の強化に努め、各種事業を展開する。
（３）市内の人材の掘り起こしを進め、リーダーバンクの有効活用を図る。

４　生涯学習に関連する指導者の育成と生涯学習のまちづくりの推進

（１）対象別の指導者養成講座の開設を図る。
（２）生涯学習スタッフを設置し、学習の企画立案・運営手法に習熟した人材の育成に努める。
（３）生涯学習ボランティアの実践活動をとおしてリーダー育成を目指す。

５　視聴覚ライブラリー機能の整備と有効活用

（１）自主教材の製作をすすめ、教材としての活用を図る。
（２）視聴覚指導者の育成を図る。

施設状況

所　在　地	開　設 年月日	構　　造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	電　話	所長氏名
繁本町８番６５号	平成 3.4.1	鉄筋コンクリート造 (市民文化センター本館２階)	－	－	３３－２９９１	本田　郁代

高　齢　者　生　き　が　い　創　造　学　園

重点目標

高齢化が急速に進展する社会の中で、ボランティア活動を行い、共に学ぶ喜びを共有することによって、生きがいを見つける学習機会を提供する。

重点事項

１　講座の開設

概ね60歳以上の方を対象に、講座を開設して高齢者の要望に応え、高齢者の基本的要求である健康維持と、生活上の諸問題をテーマとする講座と講義や実技を通して学習を楽しみ、生きがいの創造をテーマとする講座を設ける。

２　サークル活動

（１）講座終了者が、自主的で幅広い活動ができるようにする。
（２）週１回程度活動し、学習の深化・発展を図り、自由に積極的に学習する機会を提供する。
（３）サークルごとに会員登録を行い、代表者を中心に年間計画を立てて自主的な運営を図るとともに、学園の全体活動への積極的な参加を促進する。

３　代表者会活動

学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図る。 代表者会は、学園の各講座受講者とサークル会員の互選により選出された代表者で構成され、総務・広報・体育・文化・音楽のいずれかの委員会に属する。

４　ボランティア活動の推進

高齢者の豊かな経験と知識・技能を広く社会に還元できるよう学習をうながし、それによって自らの生きがい発見の場とさせる。
（１）受講者のボランティア活動について啓発を図る。
（２）その活動を通して仲間作りに発展するように努める。
（３）関係諸団体との連絡を密にして、現地研修、講師を招いての学習をすすめることによってボランティア活動の推進を図る。

５　生き方の啓発や学習情報の提供

高齢者にとっての必要な情報を把握し、その提供に努める。
（１）学園月刊紙「生きがい」を発行し、学園の全体的な学習活動を中心とした情報の提供や生き方の啓発に努める。
（２）アンケート調査やその他の方法によって受講者の要望を把握するとともに、掲示や学習資料・チラシ等を通してその期待に応えるようにする。

６　関係機関との連携

庁内関係各課はもちろん、各公民館・老人センターその他の関係機関との連携を密にし、協力する。
講座編成については、他機関のものとの重複を避け、講座の設置目的を明確にする。

施設状況

所　在　地	開　設 年月日	構　　造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	電　話	所長氏名
上原二丁目８番１号	平成 5.4.1	鉄筋コンクリート造 ２階建	18,684.23	3,759.85	４４－４８２６	一色　明繁

学　校　教　育　課

第１　最重要課題

子どもたちの豊かな学びを支える教育の充実

第２　重点事項（取組方針）

１　持続可能な開発のための教育と特色ある学校づくりの推進

（１）小中学校のＥＳＤ支援事業の推進

持続可能な社会の担い手を育てるため、学校と地域が連携して自主的に創意工夫を凝らした教育活動を展開する。

ア　ＥＳＤフェスティバルの開催
イ　ふるさと学習の充実［ふるさと学習奨励賞］［新居浜ものしり検定］
ウ　国際理解教育の充実【中学生海外派遣事業】
エ　環境教育の充実【学校環境教育支援活動事業】　≪新規≫
オ　防災教育の充実【学校防災教育実践モデル地域研究事業】
カ　人権教育の充実【人権教育研究指定校事業】
キ　道徳教育の充実【特色ある道徳教育推進事業】

（２）特色ある学校づくり

学校・地域の特色を生かし、児童生徒が自立して社会で生きていく力を身に付けるための教育を推進する学校づくりに努める。

ア　別子中学校学び創生事業
イ　中学生トップアスリート事業（バレーボール）
ウ　「いのちの授業」開催事業
エ　「誕生学プログラム」開催事業
オ　こども会議

２　不登校・いじめ対策の推進

不登校やいじめに起因する学校や社会への適応が難しい児童生徒の学校復帰と社会的自立を目指し、学校、家庭と関係機関の連携を進めながら、訪問活動や相談活動等に取り組む。また、学校における学級経営改善を図るとともに、いじめ・不登校の未然防止と早期対応を強化する。

（１）小中連携の取組
（２）「絆アンケート」の実施と情報分析・実態把握
（３）Ｑ－Ｕの実施による問題行動等の未然防止と学級経営改善
（４）あすなろ教室における相談・指導（ＳＳＷの配置）
（５）スクールカウンセラー・ハートなんでも相談員・中一ギャップ対応
　　職員を配置した相談体制の確立
（６）「新居浜市不登校対策検討委員会」による調査研究と情報提供
（７）「いじめ問題対策連絡協議会」による調査研究と情報提供

３　学力向上に向けた事業推進

標準学力調査等の結果をもとに検証改善を行い、確かな学力の定着と向上を図るための学習指導の改善に努める。主体的に学ぶ力を身に付けるとともに、基礎的知識や技能を習得させ、課題解決能力を育てる学習の充実を推進する。

（１）英語力の向上【生きた英語教育推進事業 － ＡＬＴ】
（２）標準学力調査の実施
（３）学力向上推進委員会の組織再編
（４）放課後まなび塾の拡充

（５）学校図書館支援センターの拡充
（６）中学生英語キャンプの開催
（７）あかがね算数数学コンテストの開催
（８）小中学生科学奨励賞事業の開催
（９）中学生弁論大会の開催
（10）中学生英語スピーチコンテストの開催

４　コミュニティ・スクール導入の推進

コミュニティ・スクールの導入により、地域と学校が公式のパートナーとして、共に子どもたちを育て共に地域をつくる「地域とともにある学校づくり」を推進する。

（１）コミュニティ・スクール導入促進事業
（２）コミュニティ・スクール地域連携コーディネーター活用事業
（３）コミュニティ・スクールに係る研修会の開催
（４）学校支援地域本部から地域学校協働本部への事業転換

５　学校における業務改善の推進

次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォースに基づき学校の業務改善を推進する。

（１）学校業務改善研修会、業務改善検討会の開催
（２）「ボイスシャワー」「人のことを大切にして聞く」の実践
（３）地域人材を活用した部活動指導の検討
（４）ＩＣＴを活用した校務支援システムの研究
（５）学校の業務改善に対する学校事務職員の積極的参加
（６）学校組織マネジメント機能の強化

６　放課後対策にかかる一体的運営の推進

放課後における子どもの安全な居場所づくりとともに、子どもたちの健全育成に取り組むため、放課後対策の一体的な運営を検討しながら事業の充実を推進する。

（１）放課後児童クラブの充実
（２）放課後子ども教室、放課後まなび塾の拡充
（３）放課後児童クラブ、放課後子ども教室、放課後まなび塾の一体的な運営の検討

７　小規模校の統廃合と学校施設の適正規模・適正配置の方針検討

少子化の進展に伴う児童生徒数の減少を踏まえ、今後における幼稚園、小中学校の適正規模・適正配置及び学校運営のあり方に関する方針の検討を進める。

（１）若宮小学校と惣開小学校の統廃合
（２）今後における学校施設の適正規模・適正配置及び学校運営にかかる方針を検討する「 新居浜市今後の学校のあり方検討委員会 」の設置

８　学校施設の長寿命化計画と教育環境（ＩＣＴ・トイレ・エアコン）の改善計画の策定

学校施設は、校舎の大部分が築後 30 年以上を経過していることをはじめ各施設も老朽化が進んでいる現状の中、長寿命化にかかる中長期的な計画を策定するとともに、快適な教育環境の整備にかかる改善計画を策定する。

（１）公立学校施設にかかる長寿命化計画の策定
（２）主体的・対話的で深い学びのための ICT 整備計画の策定
（３）トイレの洋式化に関する改善計画の策定
（４）熱中症等対策に資するエアコン整備計画の策定

９　学校施設環境整備工事の実施

老朽化が進んでいる学校施設について、危険性が高い箇所の改修工事を実施することにより、安全で快適な教育環境を確保する。

第３　主な事業

１　別子中学校学び創生事業（282,768 千円）

別子中学校において、ＩＣＴ、デジタル教科書など最先端の教育環境を整備し、地域とともに子どもたちの豊かな感性を育てながら特色ある学校づくりを進め、英語や数学など学力を重視した「グローバル・ジュニア・ハイスクール」として学校運営を行う。

平成 30 年４月供用開始に向けて寄宿舎を整備し、全寮制の中学校としての取組を進める。

２　生きた英語教育推進事業（64,222 千円）

文部科学省では、「生徒の英語力向上推進プラン」を策定し、英語教育を強化されている中、小学校高学年での英語の教科化など次期学習指導要領も見据えて、平成 28 年度からＡＬＴを増員している。平成 29 年度においても、その積極的活用により英語力の向上を図る。

３　持続可能な開発のための教育推進事業（4,433 千円）

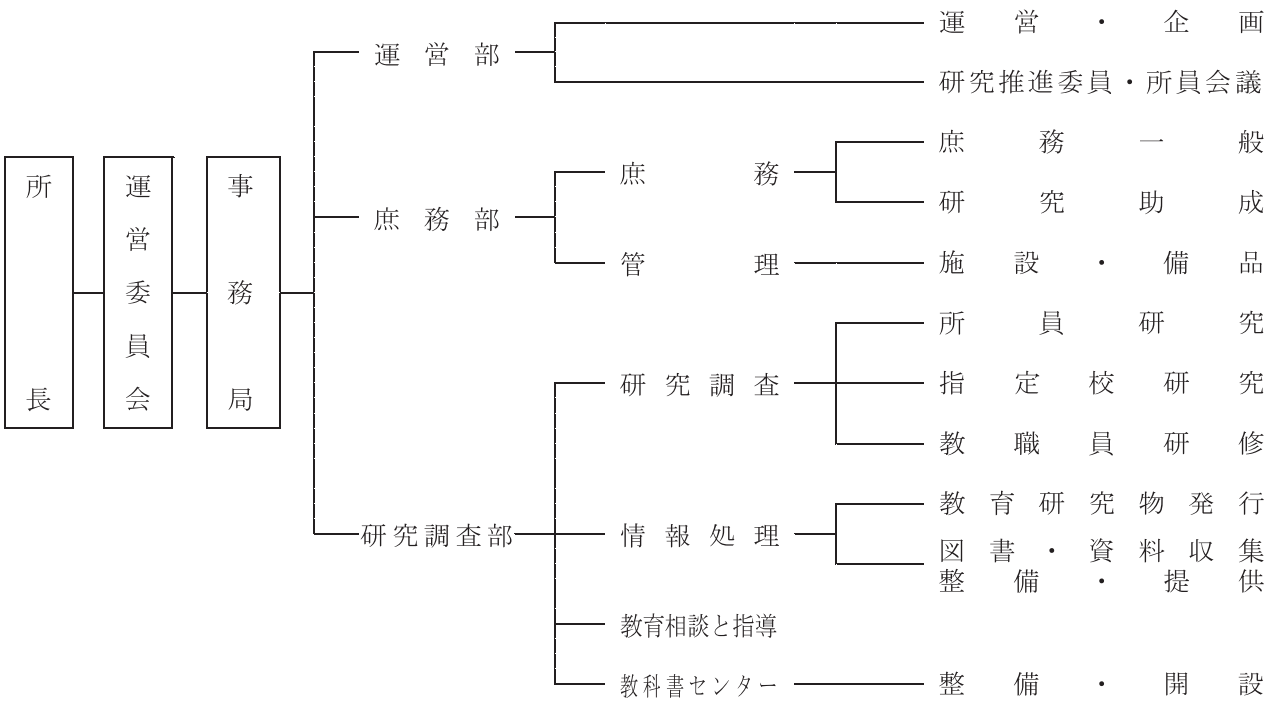
現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取組み、解決し、実践していこうとする人材の育成を目的とし、将来にわたって持続可能な社会を構築する担い手を育むＥＳＤを推進する。

新居浜市教育研究所の概要

1　沿革の概要

昭和33年３月31日　新居浜市教育研究所設置条例に基づき、新居浜市教育研究所を置く。
昭和46年６月　教育会館の２階に教育研究室を設ける。
平成28年度　第21期新居浜市教育研究所の発足

2　機構・組織



3　事業内容

（１）教育に関する専門的、技術的事項の研究
　ア　研究所員による　「テーマ研究」
　イ　研究指定校との連携による　「共同研究」
　ウ　第20期新居浜市教育研究所
　エ　新居浜市学力向上推進委員会
（２）教育に関する調査及び各種教育資料の作成及び共有（データ）
　ア　教育研究物の発行
　　●３・４年生用社会科副読本　　●特別支援教育ハンドブック
　　●研究紀要　　●所報
　イ　教育に関する調査と資料の作成
（３）教育関係職員の研修
　　教科研修等
（４）教育図書・資料及び教科書センターの経営
　ア　図書の整備、閲覧、貸出し
　イ　各種資料の収集、整理、提供
　ウ　教科書センターの整備と開設

4　研究のあゆみと歴代研究所長

氏　　名	就任年月日	離任年月日	研究期・研究主題等
藤田弥一郎	昭和33年４月１日	昭和37年３月31日	第１期 第２期　科学技術教育研究会
河野　　貫	昭和37年４月１日	昭和40年３月31日	第３期　授業の分析
岡田　信秋	昭和40年４月１日	昭和43年３月31日	第４期　授業の分析
尾崎健次郎	昭和43年４月１日	昭和46年３月31日	第５期　個性能力に応ずる教育の研究
神野　忠利	昭和46年４月１日	相和48年３月31日	第６期　学習指導の近代化
印南　忠一	昭和48年４月１日	昭和52年３月31日	第７期　学習指導の近代化
大西　博臣	昭和52年４月１日	昭和56年３月31日	第８期　自ら学ぶ力を育てる指導
村上　好央	昭和56年４月１日	昭和58年３月31日	第９期　自ら学ぶ力を育てる指導
永井　　弘	昭和58年４月１日	昭和59年３月31日	第９期　自ら学ぶ力を育てる指導
久米　　浩	昭和59年４月１日	昭和60年３月31日	第10期　授業の質的改善の研究
加藤　勝見	昭和60年４月１日	昭和61年３月31日	第10期　授業の質的改善の研究
廣川　地彦	昭和61年４月１日	昭和62年３月31日	第10期　授業の質的改善の研究
宮﨑　　弘	昭和62年４月１日	昭和63年３月31日	第11期　個人差に応じる学習指導
廣川　地彦	昭和63年４月１日	平成元年３月31日	第11期　個人差に応じる学習指導
渡邉　　健	平成元年４月１日	平成３年３月31日	第12期　自己教育力の育成を図る学習指導
宮﨑　　弘	平成３年４月１日	平成５年３月31日	第12期　自己教育力の育成を図る学習指導
一色　康範	平成５年４月１日	平成７年３月31日	第13期　子どもの可能性を招く学習指導と評価の研究
鴻上　政士	平成７年４月１日	平成９年３月31日	第14期　主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田　　正	平成９年４月１日	平成10年３月31日	第14期　主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田　　正	平成10年４月１日	平成11年３月31日	第15期　生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
山本　光博	平成11年４月１日	平成12年３月31日	第15期　生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
河野　義隆	平成12年４月１日	平成14年３月31日	第15期 第16期　生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
藤本　博文	平成14年４月１日	平成16年３月31日	第16期　生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
三浦　孝信	平成16年４月１日	平成18年３月31日	第17期　「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
佐藤弘美子	平成18年４月１日	平成19年３月31日	第17期　「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
真鍋　智明	平成19年４月１日	平成21年３月31日	第18期　基礎基本の定着と確かな学力の向上
秋本　　司	平成21年４月１日	平成23年３月31日	第18期　基礎基本の定着と確かな学力の向上 第19期　学力の向上を図る実践研究
坪本　道夫	平成23年４月１日	平成25年３月31日	第19期　学力の向上を図る実践研究 ふるさと学習の研究
横井　敏行	平成25年４月１日	平成27年３月31日	第20期　確かな学力を育むための実践研究 ふるさと学習の研究
高橋　良光	平成27年４月１日		第20期　確かな学力を育むための実践研究 第21期　ふるさと学習の研究

学　校　教　育　計　画　資　料

1　研究指定校（発表校）・訪問指導校・研修会開場等予定校

	学校名	内　容		指定年度	
小学校	新居浜小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		29
		県	ハートなんでも相談員設置事業		29
		県	豊かな器楽体験推進事業		29
		市	フッ化物洗口事業		29
	宮西小学校	国	発達障害に関する教職員等の理解啓発・専門性向上事業（通級による指導担当教員等専門性充実事業）	28	29
		国	スクールカウンセラー活用事業対象校		29
		県	ハートなんでも相談員設置事業		29
		市	市人権・同和教育研究会		29
		市	フッ化物洗口事業		29
	金子小学校	県	ハートなんでも相談員設置事業		29
		市	学校給食研究大会		29
		国	次世代の教育情報化推進事業（情報活用能力の育成等に関する実践的調査研究）		29
		市	フッ化物洗口事業		29
	金栄小学校	県	ハートなんでも相談員設置事業		29
		市	誕生学プログラム		29
		市	フッ化物洗口事業		29
	高津小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		29
		県	ハートなんでも相談員設置事業		29
		市	市人権・同和教育研究会		29
		国	特色ある道徳教育推進事業		29・30
		市	フッ化物洗口事業		29
	浮島小学校	県	ハートなんでも相談員設置事業		29
		市	フッ化物洗口事業		29
	惣開小学校	国	人権教育研究指定校事業	28	29
		県	ハートなんでも相談員設置事業		29
		協	子どものチャレンジ応援します	28	29
		市	誕生学プログラム		29
		市	フッ化物洗口事業		29
	若宮小学校	市	誕生学プログラム		29
		県	フッ化物洗口普及事業		29
	垣生小学校	県	小学校体育専科教員配置校	28	29
		市	フッ化物洗口事業		29
		市	ハートなんでも相談員設置事業		29
	神郷小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		29
		県	ハートなんでも相談員設置事業		29
		市	フッ化物洗口事業		29
	多喜浜小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		29
		県	ハートなんでも相談員設置事業		29
		市	誕生学プログラム		29
		市	フッ化物洗口事業		29
	泉川小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		29
		県	ハートなんでも相談員設置事業		29
		市	フッ化物洗口事業		29
	船木小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		29
		県	ハートなんでも相談員設置事業		29
		市	誕生学プログラム		29
		市	フッ化物洗口事業		29
		四国	四国地区学校図書館研究大会		29
	中萩小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		29
		県	「歌いつごう日本の歌」開催事業		29
		県・市	ハートなんでも相談員設置事業		29
		市	フッ化物洗口事業		29
	大生院小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		29
		国	学校防災教育実践モデル地域研究事業		29
		市	フッ化物洗口事業		29

	学校名	内　　容		指定年度	
小学校	角野小学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業		29
		県	栄養教諭による食に関する教育公開事業		29
		市	市人権・同和教育研究会		29
		市	フッ化物洗口事業		29
	別子小学校	国	スクールヘルスリーダー派遣事業		29
		市	フッ化物洗口事業		29

	学校名	内　　容		指定年度	
中学校	東中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業		29
		訪問	２年目フォローアップ研修（教科の授業）		29
		市	スクールトレーナー制度実施試験事業		29
	西中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業		29
		市	スクールトレーナー制度実施試験事業		29
		四国	四国地区学校図書館研究大会		29
	南中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		29
		市	市人権・同和教育研究会		29
		市	ものづくり体験講座		29
	北中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		29
		県	免許外教科担任教員研修会（実技研修会）		29
		市	市人権・同和教育研究会		29
	泉川中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		29
		訪	栄養教諭による食に関する教育公開事業		29
	船木中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		29
		市	市人権・同和教育研究会		29
		市	いのちの授業開催事業		29
	船木中（ひびき分校）				
	中萩中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業		29
		市	新聞制作体験学習事業		29
		訪問	２年目フォローアップ研修（教科の授業）		29
	大生院中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		29
		国	学校防災教育実践モデル地域研究事業		29
		市	いのちの授業開催事業		29
	角野中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業		29
	川東中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		29
		訪問	人権・同和教育訪問		29
	別子中学校	国	スクールヘルスリーダー派遣事業		29
新居浜市					

※全小中学校において、持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）をめざす学校づくりを推進する。

２　学校教育における人権・同和教育研究会

行　　事	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備　考
校区別人権・同和教育懇談会運営委員会											14日（水）		
新居浜市人権・同和教育研究大会								小中合同 20日（月）					小学校 ３校 中学校 ３校
愛媛県人権・同和教育研究大会								７日（火）					松山市
四国地区人権教育研究大会				13日（木） ～ 14日（金）									松山市
全国人権・同和教育研究大会									２日（土） ３日（日）				島根県

平成２９年度　児童・生徒・園児・教職員数

小 学 校

学校名＼学年・性別		1 学 年			2 学 年			3 学 年			4 学 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
新居浜小学校	児童数	14	22	36	25	11	36	13	25	38	18	19	37
	学級数	1			2			2			2		
宮西小学校	児童数	18	14	32	15	22	37	21	28	49	12	18	30
	学級数	1			2			2			1		
金子小学校	児童数	61	62	123	51	52	103	62	45	107	64	46	110
	学級数	4			3			3			4		
金栄小学校	児童数	37	36	73	45	34	79	31	39	70	29	26	55
	学級数	3			3			2			2		
高津小学校	児童数	51	61	112	54	62	116	57	53	110	67	63	130
	学級数	4			4			4			4		
浮島小学校	児童数	10	11	21	12	10	22	8	13	21	10	10	20
	学級数	1			1			1			1		
惣開小学校	児童数	27	16	43	30	30	60	29	24	53	27	23	50
	学級数	2			2			2			2		
若宮小学校	児童数	2	0	2	3	1	4	3	5	8	1	4	5
	学級数	1			1			1			1		
垣生小学校	児童数	18	25	43	16	24	40	31	13	44	22	21	43
	学級数	2			2			2			2		
神郷小学校	児童数	47	45	92	45	48	93	51	44	95	64	43	107
	学級数	3			3			3			4		
多喜浜小学校	児童数	11	9	20	12	9	21	17	9	26	11	7	18
	学級数	1			1			1			1		
泉川小学校	児童数	72	43	115	35	44	79	48	48	96	54	47	101
	学級数	4			3			3			3		
船木小学校	児童数	27	27	54	34	35	69	26	33	59	34	32	66
	学級数	2			2			2			2		
中萩小学校	児童数	81	71	152	68	86	154	84	81	165	96	72	168
	学級数	5			5			5			5		
大生院小学校	児童数	26	23	49	21	23	44	17	26	43	25	19	44
	学級数	2			2			2			2		
角野小学校	児童数	56	53	109	59	46	105	52	59	111	64	56	120
	学級数	3			3			4			4		
別子小学校	児童数	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学級数	1			0			0			0		
計	児童数	558	519	1,077	525	537	1,062	550	545	1,095	598	506	1,104
	学級数	40			39			39			40		

※大島小学校…H25.3.31 廃校
　船木小学校…児童数にわかば分教室を含む

（平成 29 年 5 月 1 日現在）

5 学 年			6 学 年			計			学 級 数			教員数	職員数
男	女	計	男	女	計	男	女	計	通常	特別支援	計		
18	20	38	17	16	33	105	113	218	9	3	12	16	9
1			1			9							
22	16	38	18	19	37	106	117	223	8	3	11	19	9
1			1			8							
43	46	89	61	51	112	342	302	644	21	3	24	33	12
3			4			21							
23	27	50	39	22	61	204	184	388	14	2	16	21	10
2			2			14							
60	63	123	45	62	107	334	364	698	23	4	27	39	3
4			3			23							
14	5	19	11	5	16	65	54	119	6	3	9	14	7
1			1			6							
26	24	50	28	33	61	167	150	317	12	2	14	20	9
2			2			12							
8	2	10	5	3	8	22	15	37	6	1	7	11	6
1			1			6							
21	27	48	29	23	52	137	133	270	12	2	14	21	9
2			2			12							
55	36	91	46	48	94	308	264	572	19	4	23	31	13
3			3			19							
16	9	25	13	10	23	80	53	133	6	1	7	12	8
1			1			6							
43	48	91	39	24	63	291	254	545	18	3	21	26	4
3			2			18							
19	30	49	29	36	65	169	193	362	12	3	15	23	10
2			2			12							
81	62	143	84	75	159	494	447	941	29	5	34	47	13
4			5			29							
22	18	40	19	24	43	130	133	263	11	2	13	19	10
1			2			11							
56	45	101	48	53	101	335	312	647	20	5	25	36	11
3			3			20							
1	0	1	0	1	1	1	2	3	1	1	2	2	2
						1							
528	478	1, 006	531	505	1, 036	3, 290	3, 090	6, 380	227	47	274	390	145
34			35			227							

中 学 校

学校名＼学年・性別		1 学 年			2 学 年			3 学 年	
		男	女	計	男	女	計	男	女
東 中 学 校	生徒数	59	72	131	73	62	135	69	74
	学級数	4			4			4	
西 中 学 校	生徒数	41	35	76	35	39	74	46	38
	学級数	2			2			3	
南 中 学 校	生徒数	68	73	141	86	70	156	85	68
	学級数	4			4			4	
北 中 学 校	生徒数	32	28	60	46	32	78	43	34
	学級数	2			2			2	
泉 川 中 学 校	生徒数	41	41	82	37	36	73	46	43
	学級数	3			2			3	
船 木 中 学 校	生徒数	28	26	54	30	31	61	32	27
	学級数	2			2			2	
船 木 中 学 校 ひびき分校	生徒数	1	0	1	4	0	4	3	2
	学級数	1			1			1	
中 萩 中 学 校	生徒数	76	87	163	90	87	177	83	68
	学級数	4			5			4	
大生院中学校	生徒数	16	22	38	20	16	36	12	26
	学級数	1			1			1	
角 野 中 学 校	生徒数	62	51	113	51	58	109	50	48
	学級数	3			3			3	
川 東 中 学 校	生徒数	87	79	166	108	84	192	85	75
	学級数	5			5			4	
別 子 中 学 校	生徒数	3	3	6	4	2	6	0	0
	学級数	1			1			0	
計	生徒数	514	517	1,031	584	517	1,101	554	503
	学級数	32			32			31	

幼 稚 園

幼稚園名＼年齢・性別		4 歳 児			5 歳 児			
		男	女	計	男	女	計	
王 子 幼 稚 園	園児数	15	9	24	18	12	30	
	学級数	1			1			
神 郷 幼 稚 園	園児数	12	10	22	19	15	34	
	学級数	1			1			
計	園児数	27	19	46	37	27	64	
	学級数	2			2			

（平成 29 年５月１日現在）

	計			学　級　数			教員数	職員数
計	男	女	計	通常	特別支援	計		
143	201	208	409	12	3	15	30	3
	12							
84	122	112	234	7	2	9	19	3
	7							
153	239	211	450	12	2	14	27	3
	12							
77	121	94	215	6	1	7	16	3
	6							
89	124	120	244	8	2	10	24	3
	8							
59	90	84	174	6	2	8	17	3
	6							
5	8	2	10	3	0	3	7	1
	3							
151	249	242	491	13	3	16	31	3
	13							
38	48	64	112	3	2	5	12	3
	3							
98	163	157	320	9	2	11	22	2
	9							
160	280	238	518	14	2	16	33	3
	14							
0	7	5	12	2	1	3	10	1
	2							
1,057	1,652	1,537	3,189	95	22	117	248	31
	95							

（平成 29 年５月１日現在）

	計				教　員　数
	男	女	計		
	33	21	54		4
	2				
	31	25	56		4
	2				
	64	46	110		8
	4				

学　校　等　一　覧

幼稚園

園　名	所　在　地	電話（ＦＡＸ）	園長氏名
王　子	王子町２番２号	32-4815 (32-4815)	髙　橋　ひとみ
神　郷	郷三丁目８番16号	45-0170 (45-0170)	木　下　直　子
合　計			

小学校

学校名	所　在　地	電話（ＦＡＸ）	校長氏名	教頭氏名
新居浜	新須賀町三丁目１番58号	37-3061 (37-3062)	篠原直樹	二宮茂樹
宮　西	宮西町５番56号	33-8940 (33-8941)	星川孝徳	川﨑文一
金　子	久保田町一丁目３番57号	37-2221 (37-2302)	岡野弥生	山本千明
金　栄	西の土居町一丁目５番１号	37-2313 (37-2120)	越智秀雄	篠﨑　孝
高　津	宇高町二丁目13番７号	37-3754 (37-3854)	荒井正隆	加藤茂樹
浮　島	八幡二丁目２番65号	33-1020 (33-1021)	田中利季	山﨑雄史
惣　開	王子町１番３号	37-3401 (37-3402)	日野優子	近藤美智男
若　宮	新田町一丁目８番56号	32-3987 (32-4887)	中野　久	畑野一恵
垣　生	垣生一丁目５番38号	45-0186 (45-0195)	小笠原忠彦	井川昭二
神　郷	神郷一丁目１番１号	45-0082 (45-0493)	髙須賀　洋	今村　信
多喜浜	多喜浜五丁目７番34号	45-0142 (45-0035)	永井奈保子	曽我　亨
泉　川	岸の上町一丁目13番68号	43-4145 (43-4146)	西原泰介	青野浩之
船　木	船木4299番地の１	41-6260 (41-6362)	菅　知子	青野俊児
わかば分教室	船木甲2971番地の１	31-7645 (31-7646)		
中　萩	中萩町６番61号	41-6225 (41-6265)	横井敏行	渡邉健児
大生院	大生院1070番地の１	41-6627 (41-6694)	福岡靖二	秦　竜吾
角　野	中筋町二丁目７番10号	43-7141 (43-7142)	濱田英稔	岸　泰典
別　子	別子山甲358番地	64-2167 (64-2321)	別子中と兼務	別子中と兼務
合　計				

※　大島小学校……H25.3.31廃校

（平成 29 年 5 月 1 日現在）

教室数		園舎面積	校地面積			遊戯場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
5	—	1,237	1,008	1,130	2,138	185	37
3	—	965	1,037	1,705	2,742	144	29
8	—	2,202	2,045	2,835	4,880	329	66

（平成 29 年 5 月 1 日現在）

教室数		校舎面積	校地面積			屋内運動場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
12	10	3,757	10,990	7,154	18,144	831	375
11	8	3,795	11,274	10,274	21,548	807	425
24	11	5,640	10,358	10,852	21,210	1,033	425
16	10	3,616	14,565	7,001	21,566	919	425
27	21	6,706	9,664	13,325	22,989	1,196	475
9	11	3,434	8,591	9,449	18,040	807	400
14	12	4,088	8,010	12,235	20,245	807	425
7	5	2,336	7,259	10,387	17,646	807	423
14	9	2,778	7,646	4,884	12,530	807	425
23	15	5,560	9,400	8,283	17,683	894	400
7	12	2,944	6,664	7,138	13,802	919	400
21	19	6,181	12,800	10,197	22,997	1,023	475
15	14	3,975	9,811	9,034	18,845	807	400
0	—	—	—	—	—	—	—
34	15	7,669	10,383	16,268	26,651	1,239	525
13	9	3,087	9,537	7,095	16,632	807	525
25	15	6,137	15,797	13,079	28,876	1,033	425
2	7	820	2,899	500	3,399	551	—
274	203	72,523	165,648	157,155	322,803	15,287	6,948

中 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 （ＦＡＸ）	校長氏名	教頭氏名
東	東雲町一丁目４番 23 号	37-1294 (37-1038)	神 野 剛	永 井 和 弘
西	江口町７番１号	37-2021 (37-2023)	河 合 秀 和	鴨 田 洋 吾
南	庄内町二丁目４番 47 号	37-0310 (37-5392)	筒 井 宗 彦	近 藤 栄 一
北	宮西町５番 81 号	33-9135 (33-9136)	稲 見 武 仁	藤 原 正 治
泉 川	星原町７番８号	43-5800 (43-5821)	小 西 裕 久	篠 原 和 彦
船 木	船木甲 3754 番地の１	41-6347 (41-6364)	神 野 康 一	古 見 総 一 郎
船 木 ひびき分校	船木甲 2971 番地の１	31-7645 (31-7646)		縄 村 俊 邦
中 萩	中萩町 13 番 31 号	43-5131 (43-5132)	藤 田 裕 彦	大 西 誠
大 生 院	大生院 1070 番地の２	41-6927 (41-6229)	森 正 男	丸 山 泰 浩
角 野	宮原町 11 番 51 号	43-6108 (43-6109)	大久保 浩	神 尾 宏 之
川 東	神郷二丁目４番１号	45-0180 (45-0144)	佐々木 篤 志	河 村 公 寿
別 子	別子山甲 358 番地	64-2115 (64-2321)	山 田 浩 司	上 林 正 佳
合 計				

（平成 29 年５月１日現在）

教室数		校舎面積	校地面積			屋内運動場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
15	14	4,533	10,200	6,596	16,796	1,388	400
9	14	4,830	13,504	11,456	24,960	816	400
14	14	4,731	12,699	7,811	20,510	981	375
7	15	4,005	15,880	9,628	25,508	1,138	425
10	18	4,256	14,451	6,942	21,393	981	425
8	11	3,401	10,679	11,108	21,787	1,014	400
4	9	1,036	6,171	1,681	7,852	428	150
16	18	4,865	16,838	11,641	28,479	1,031	425
5	15	3,210	8,987	6,299	15,286	830	—
11	15	4,814	10,934	11,018	21,952	1,031	375
16	19	5,768	13,997	20,673	34,670	1,055	400
3	0	94	1,118	500	1,618	145	—
118	162	45,543	135,458	105,353	240,811	10,838	3,775

放課後児童クラブ一覧表

（平成 29 年５月１日現在）

クラブ名称	設置場所	クラブ名称	設置場所
たねっこクラブ１	高津小学校	あひるクラブ２	神郷小学校
たねっこクラブ２	同上	すみれクラブ	宮西小学校
ひかりクラブ１	中萩小学校	ひまわりクラブ	垣生小学校
ひかりクラブ２	同上	のぞみクラブ	惣開小学校
なかよしクラブ	新居浜小学校	あじさいクラブ	多喜浜小学校
たんぽぽクラブ１	金栄小学校	ぱんだクラブ１	泉川小学校
たんぽぽクラブ２	同上	ぱんだクラブ２	同上
こばとクラブ１	角野小学校	こねこクラブ	若宮小学校
こばとクラブ２	同上	かがやきクラブ１	金子小学校
こばとクラブ３	同上	かがやきクラブ２	同上
うずいクラブ	大生院小学校	きりんクラブ	上部児童センター
かぶとクラブ	船木小学校	ぴかっこクラブ	川東児童センター
あひるクラブ１	神郷小学校	ともだちパーク	コミュニティハウス三恵

通　学　区　域

小学校名	通　学　区　域
新居浜	大江町、港町、若水町一丁目、若水町二丁目、菊本町一丁目、菊本町二丁目、新須賀町一丁目、新須賀町二丁目、新須賀町三丁目、新須賀町四丁目
宮西	西町、中須賀町一丁目、中須賀町二丁目、西原町一丁目、西原町二丁目、西原町三丁目、泉池町、泉宮町、宮西町、徳常町、繁本町
金子	一宮町一丁目、一宮町二丁目、久保田町一丁目、久保田町二丁目、久保田町三丁目（１番から９番まで）、八雲町、平形町、田所町、庄内町一丁目、庄内町二丁目、庄内町三丁目、庄内町四丁目（１番から３番まで、５番 30 号から 39 号まで）、庄内町五丁目、庄内町六丁目、江口町（１番から３番まで、５番、６番、８番から 17 番まで）、北新町（１番、２番、４番、５番）、城下町（１番から６番まで）
金栄	滝の宮町、西の土居町一丁目、西の土居町二丁目（１番から７番まで、９番から 17 番まで）、高木町、政枝町一丁目、政枝町二丁目、政枝町三丁目、久保田町三丁目（10 番、11 番）、庄内町四丁目（４番、５番（金子小学校の区域を除く。）、６番、７番）、坂井町一丁目、坂井町二丁目、金子丙（１番地から 30 番地まで）
高津	宇高町一丁目、宇高町二丁目、宇高町三丁目、宇高町五丁目（１番から９番まで、12 番、13 番）、沢津町一丁目、沢津町二丁目、沢津町三丁目、東雲町一丁目、東雲町二丁目、東雲町三丁目（１番から８番まで）、松の木町（１番）、高津町、清水町、南小松原町、桜木町、郷一丁目（１番、７番）、郷五丁目（２番）、高田二丁目（１番、６番）、田の上四丁目（６番から９番まで）
浮島	松の木町（２番から 13 番まで）、宇高町四丁目、宇高町五丁目（10 番、11 番、14 番、15 番）、垣生六丁目（１番、15 番）、八幡一丁目（９番から 21 番まで）、八幡二丁目、八幡三丁目（１番、４番４号から 18 号まで・36 号・40 号・43 号、５番から８番まで、９番３号・39 号から 54 号まで、10 番 38 号から 48 号まで）
惣開	星越町、前田町、王子町、河内町、北新町（３番、６番から 13 番まで）、西の土居町二丁目（８番）、磯浦町（１番）、江口町（４番、７番、18 番）、金子丙（金栄小学校の区域を除く。）
若宮	惣開町、新田町一丁目、新田町二丁目、新田町三丁目、磯浦町（２番から 19 番まで）、新居浜乙
垣生	垣生一丁目、垣生二丁目、垣生三丁目、垣生四丁目、垣生五丁目、垣生六丁目（２番から 14 番まで）、八幡一丁目（１番から８番まで）、八幡三丁目（２番、３番、４番（浮島小学校の区域を除く。）、９番（浮島小学校の区域を除く。）、10 番（浮島小学校の区域を除く。））、長岩町、垣生
神郷	郷一丁目（２番から６番まで、８番から 16 番まで）、郷二丁目、郷三丁目、郷四丁目、郷五丁目（１番、３番から９番まで）、東雲町三丁目（９番）、清住町、落神町、又野一丁目、又野二丁目、又野三丁目、高田一丁目、高田二丁目（２番から５番まで）、田の上一丁目、田の上二丁目、田の上三丁目、田の上四丁目（１番から５番まで、10 番から 12 番まで）、松神子一丁目、松神子二丁目、松神子三丁目、松神子四丁目、神郷一丁目、神郷二丁目、楠崎一丁目（１番、３番、４番 33 号から 46 号まで・60 号から 62 号まで・65 号・66 号、５番から８番まで）、楠崎二丁目、多喜浜一丁目（８番１号から 16 号まで・56 号から 89 号まで）、多喜浜四丁目（８番１号から 11 号まで・28 号から 53 号まで、９番、10 番）、多喜浜五丁目（10 番１号から８号まで）、郷、郷乙
多喜浜	楠崎一丁目（２番、４番（神郷小学校の区域を除く。））、多喜浜一丁目（１番から７番まで、８番（神郷小学校の区域を除く。）、９番、10 番）、多喜浜二丁目、多喜浜三丁目、多喜浜四丁目（１番から７番まで、８番（神郷小学校の区域を除く。）、11 番、12 番）、多喜浜五丁目（１番から９番まで、10 番（神郷小学校の区域を除く。）、11 番、12 番）、多喜浜六丁目、阿島一丁目、阿島二丁目、阿島三丁目、阿島四丁目、阿島、荷内町、黒島一丁目、黒島二丁目、黒島、大島

小学校名	通　　学　　区　　域
泉　　川	松木町、西喜光地町、喜光地町一丁目、松原町、坂井町三丁目、瀬戸町、寿町、星原町、上泉町、外山町、岸の上町一丁目、岸の上町二丁目、城下町（７番）、下泉町一丁目、下泉町二丁目、観音原町、東田一丁目、東田二丁目、東田三丁目、国領一丁目、光明寺一丁目、光明寺二丁目
船　　木	船木、七宝台町
中　　萩	萩生、横水町、本郷一丁目、本郷二丁目、本郷三丁目、中萩町、上原一丁目、上原二丁目、上原三丁目、上原四丁目、中村一丁目、中村二丁目（１番から 15 番まで）、中村三丁目（３番から 11 番まで）、中村四丁目（３番から９番まで、11 番、15 番から 18 番まで）、御蔵町（２番、３番）、中村松木一丁目、中村松木二丁目、土橋一丁目、土橋二丁目（１番から 10 番まで、13 番、14 番）、大永山（出口、小味池）
大 生 院	大生院
角　　野	土橋二丁目（11 番、12 番、15 番から 17 番まで）、中村二丁目（16 番）、中村三丁目（１番、２番）、中村四丁目（１番、２番、10 番、12 番から 14 番まで）、御蔵町（１番、４番から 13 番まで）、喜光地町二丁目、西泉町、西連寺町一丁目、西連寺町二丁目、篠場町、山田町、山根町、中西町、宮原町、中筋町一丁目、中筋町二丁目、北内町一丁目、北内町二丁目、北内町三丁目、北内町四丁目、吉岡町、角野新田町一丁目、角野新田町二丁目、角野新田町三丁目、種子川町、角野、大永山（出口・小味池を除く。）、立川町、種子川山
別　　子	別子山

中学校名	通　　学　　区　　域
東	高津小学校区、松の木町、宇高町四丁目
西	惣開小学校区、若宮小学校区、江口町、北新町
南	金子小学校区（北中学校区、西中学校区を除く。）、金栄小学校区
北	新居浜小学校区、宮西小学校区、一宮町二丁目（２番 18 号から 42 号まで・100 号から末号まで、３番から５番まで、６番 32 号から 67 号まで・100 号から末号まで）
泉　　川	泉川小学校区
船　　木	船木小学校区
中　　萩	中萩小学校区
大 生 院	大生院小学校区
角　　野	角野小学校区
川　　東	垣生小学校区、神郷小学校区、多喜浜小学校区、浮島小学校区（東中学校区を除く。）
別　　子	別子小学校区

園児・児童・生徒数の推移（平成２４～３３年度）

（毎年度５月１日現在）

学校＼年度	24	25	26	27	28	29	30（見込）	31（見込）	32（見込）	33（見込）
新居浜小学校	228	234	215	218	204	218	217	206	201	203
宮西小学校	280	260	248	243	235	223	233	239	243	236
金子小学校	706	681	673	649	624	644	639	663	657	653
金栄小学校	353	351	334	346	382	388	378	403	403	387
高津小学校	745	722	725	706	706	698	676	658	624	610
浮島小学校	105	110	107	112	117	119	127	138	148	160
惣開小学校	301	300	301	302	319	317	300	304	303	310
若宮小学校	89	83	78	66	51	37	39	36	45	47
垣生小学校	263	272	284	285	266	270	262	255	247	254
神郷小学校	577	548	565	582	579	572	558	555	539	521
多喜浜小学校	202	196	164	158	142	133	146	139	147	134
大島小学校	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
泉川小学校	478	485	505	505	515	545	579	595	612	627
船木小学校	423	384	366	362	363	362	361	372	357	340
中萩小学校	1,030	1,000	973	977	943	941	942	926	904	898
大生院小学校	256	242	241	249	253	263	256	243	243	236
角野小学校	659	649	653	653	646	647	642	637	619	592
別子小学校	1	2	3	4	3	3	4	4	4	6
小学校計	**6,696**	**6,519**	**6,435**	**6,417**	**6,348**	**6,380**	**6,359**	**6,373**	**6,296**	**6,214**
東中学校	387	397	400	415	410	409	370	364	363	371
西中学校	306	302	294	271	258	234	221	202	186	175
南中学校	481	467	459	458	444	450	462	445	479	483
北中学校	283	244	255	233	246	215	216	215	220	230
泉川中学校	269	265	254	255	243	244	225	244	265	302
船木中学校	215	211	218	208	198	174	179	165	176	174
船木中学校ひびき分校	16	6	9	5	10	10	0	0	0	0
中萩中学校	560	551	543	514	517	491	505	484	510	506
大生院中学校	145	146	141	142	127	112	112	112	115	116
角野中学校	315	329	330	313	309	320	319	312	309	314
川東中学校	559	543	569	550	545	518	544	551	564	577
別子中学校	3	0	1	1	8	12	18	18	17	16
中学校計	**3,539**	**3,461**	**3,473**	**3,365**	**3,315**	**3,189**	**3,171**	**3,112**	**3,204**	**3,264**
王子幼稚園	103	120	120	104	86	54	－	－	－	－
神郷幼稚園	60	79	71	61	64	56	－	－	－	－
幼稚園計	**163**	**199**	**191**	**165**	**150**	**110**	－	－	－	－

※大島小学校……H25.3.31 廃校

中学校卒業者の進路状況

（　）卒業者に対する百分率

	卒業者数	進学者数	就職者数			公共職業能力開発施設等入学者	その他自己就職家事手伝等
			県内	県外	総数		
28	1,157	1,124 (97.1)	11 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)	0 (0.0)	22 (1.9)
27	1,147	1,128 (98.3)	7 (0.6)	0 (0.0)	7 (0.6)	0 (0.0)	12 (1.0)
26	1,177	1,152 (97.9)	13 (1.1)	0 (0.0)	13 (1.1)	0 (0.0)	12 (1.0)
25	1,153	1,129 (97.9)	7 (0.6)	2 (0.2)	9 (0.8)	0 (0.0)	15 (1.3)
24	1,200	1,179 (98.3)	9 (0.8)	0 (0.0)	9 (0.8)	0 (0.0)	12 (1.0)
23	1,194	1,166 (97.7)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	0 (0.0)	13 (1.1)
22	1,123	1,096 (97.6)	12 (1.1)	0 (0.0)	12 (1.1)	3 (0.3)	12 (1.1)
21	1,163	1,121 (96.4)	24 (2.1)	0 (0.0)	24 (2.1)	2 (0.2)	16 (1.4)
20	1,093	1,067 (97.6)	11 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)	1 (0.1)	14 (1.3)
19	1,131	1,101 (97.3)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	1 (0.1)	14 (1.2)
18	1,138	1,101 (96.7)	16 (1.4)	0 (0.0)	16 (1.4)	3 (0.3)	18 (1.6)
17	1,139	1,106 (97.1)	13 (1.1)	0 (0.0)	13 (1.1)	2 (0.2)	18 (1.6)
16	1,231	1,194 (97.0)	5 (0.4)	0 (0.0)	5 (0.4)	2 (0.2)	30 (2.4)
15	1,274	1,235 (96.9)	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	37 (2.9)
14	1,319	1,274 (96.6)	3 (0.2)	0 (0.0)	3 (0.2)	0 (0.0)	42 (3.2)
13	1,376	1,321 (96.0)	2 (0.1)	0 (0.0)	2 (0.1)	1 (0.1)	52 (3.8)
12	1,410	1,362 (96.6)	4 (0.3)	1 (0.1)	5 (0.4)	1 (0.1)	42 (3.0)
11	1,469	1,429 (97.3)	9 (0.6)	0 (0.0)	9 (0.6)	1 (0.1)	30 (2.0)
10	1,473	1,428 (96.9)	5 (0.3)	0 (0.0)	5 (0.3)	0 (0.0)	40 (2.7)
9	1,511	1,452 (96.1)	21 (1.4)	1 (0.1)	22 (1.5)	4 (0.3)	33 (2.2)

※平成 28 年度については、定時制・通信制高等学校への進学と同時に就職している者は就職者数に計上する。（対象生徒２名）

（学校基本調査による）

発　達　支　援　課

第１　最重要課題

障がいや発達課題のある子どもへの生涯にわたる一貫した支援

第２　重点事項（取組方針）

１　就学前における発達支援システムの検証

（１）巡回相談の手法の見直し

神郷幼稚園をモデル園として実施し、今後の方策について検討する。

（年４回）

・幼稚園・保育園が保育現場においてできる「気になる」子どもへの支援方法について

・保護者の育児不安や親としての関わり方等について

（２）こども発達支援センターにおける早期療育通園事業の推進

平成 28 年度実施したアンケート結果に基づき個別療育、小集団療育、構音訓練等の早期療育通園事業の実施について検討する。

・発達課題のある子どもに必要な療育を十分に提供できる体制づくり

（通所頻度・時間及びスタッフ、施設設備等）

２　小・中学校通級指導教室の利用促進

（１）通級による指導開始時における目標の設定及び適切な評価の在り方の研究

ア　通級による指導の必要な児童生徒が、適切な指導を受けるためのシステムの構築

イ　通級による指導の終了を見据え、評価を意識した目標の設定

ウ　目標達成の適切な評価手法の研究

（２）通級による指導の担当教員と児童生徒が在籍する通常の学級担任との連携深化のための専門性の在り方の研究

ア　通常の学級における通級による指導の検証

イ　通級における指導の開始から終了までの連携の研究

３　発達に課題のある子を持つ保護者への支援機会の充実

（１）各種相談による保護者支援の実施

保護者の困り感について、総合相談、教育相談等を周知し、解消に努める。

（２）ペアレントトレーニングの実施

ア　「育ちの教室・ことばの教室」通所幼児保護者等を対象とし、子どもへの関わり方を身に付けるトレーニング学習会を実施する。

イ　子どもの行動についてほめ方などの対応を学ぶ機会を設定し、保護者の悩みや不安の軽減を図る。

（３）こども発達支援センターの療育部門通所幼児の保護者会の充実

ア　子育てについて同じ困り感を持つ保護者同士の話し合いの機会を充実する。

イ　家庭における子どもとの関わりについて、育児経験者との意見交換会等の場を設定する。

４　園や学校等の管理職に対する支援能力向上のための研修の実施

（１）特別支援教育、発達支援に関する各種講演会を開催し、障がいや発達に課題のある幼児、児童及び生徒の理解を深めるとともに、学校や園全体としてユニバーサルデザインの授業づくりの取り組みの充実を図る。

（２）「発達障がい支援者のための実践セミナー」公開講座への出席を促す。

５　障がい者理解促進に向けた教育・啓発の充実

（１）障がい者理解教育を ESD（持続可能な開発のための教育）教育の柱とする。

（２）特別支援教育講演会等の開催や障がい者理解啓発のため、ホームページの充実や広報誌等により市民周知を図る。

第３　主な事業

１　発達支援教育充実費（21,627 千円）

（１）研修事業　　・・・各種研修会開催、職員派遣

（２）相談事業　　・・・巡回相談、発達検査

（３）地域療育事業・・・早期療育指導員報酬、療育事業講師、ＳＳＴ支援事業

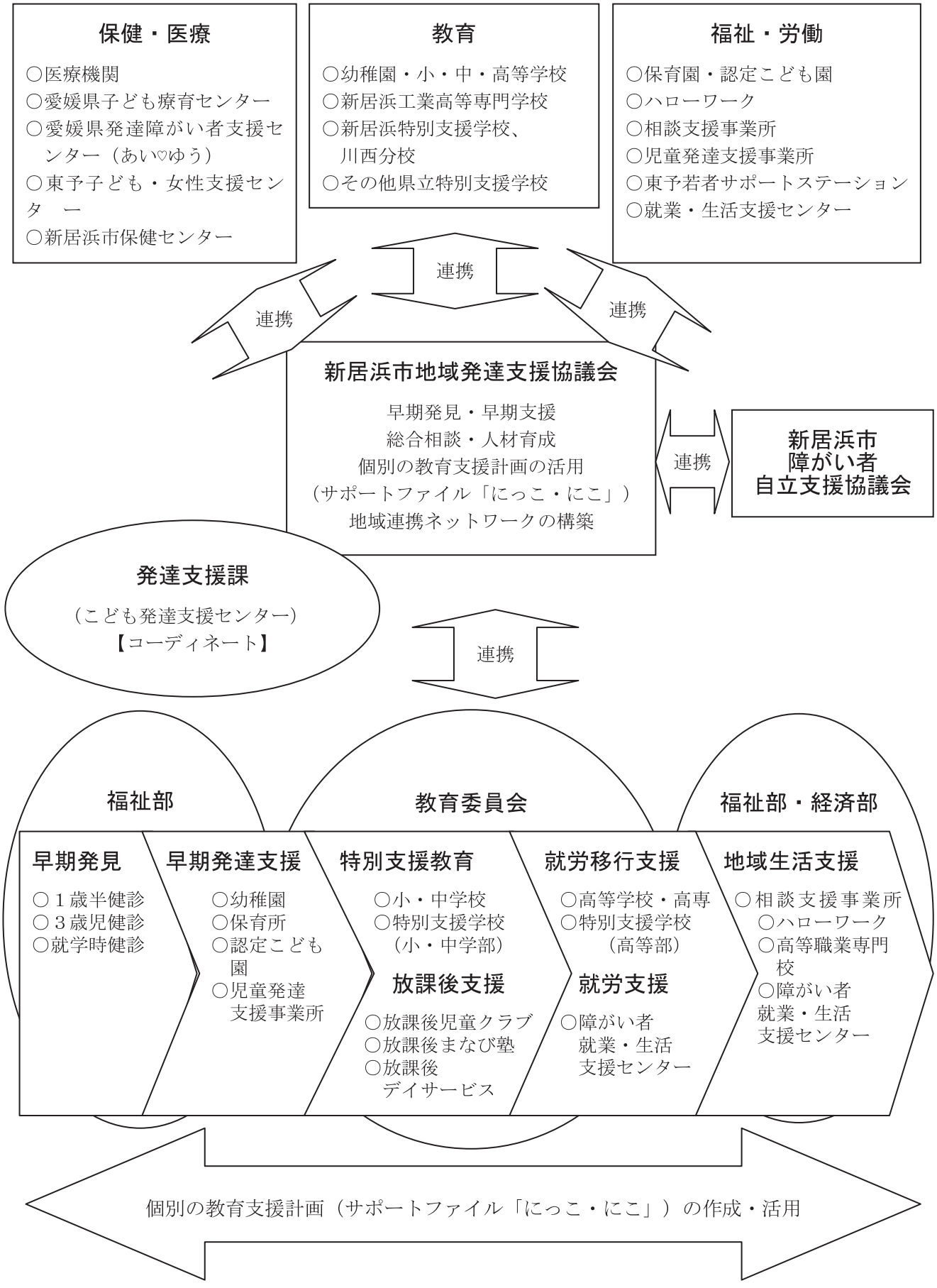
２　小学校特別支援教育充実費（105,812 千円）

学校支援員（14 人）、学校生活介助員（46 組：92 人）配置

３　小学校特別支援研究県指定校費（400 千円）

愛媛県教育委員会が実施する「通級による指導担当教員等専門性充実事業」の研究拠点校として宮西小学校が指定を受け、通級による指導開始時における目標の設定と通級による指導の担当教員と児童生徒が在籍する通常の学級担任との連携深化のための専門性の在り方を研究する。

発達支援システムイメージ図



学　校　給　食　課

第１　最重要課題

子どもたちの健康を守るとともに、安全で喜ばれる給食づくり

第２　重点事項（取組方針）

１　食育の推進

成長期にある児童生徒の、食に関する正しい理解と、適切な判断力を養うため、安全で栄養バランスのとれた学校給食を「生きた教材」として活用し、正しい食習慣を身に付けるための指導を行う。

（１）栄養バランスのとれた給食の提供に努める。
（２）校内放送や各種資料等を活用し、児童生徒に対する指導を行うとともに、栄養バランスのとれた献立づくりを家庭に普及する。
（３）安全性を最優先した食物アレルギー対応に努める。
（４）バイキング給食、マナー給食等、特別給食の実施に努める。
（５）郷土料理等、地元の特徴を生かした給食の実施に努める。
（６）地域農産物の活用に努める。
（７）学校給食研究大会を開催し、新居浜市の学校給食のより一層の充実発展を図る。（金子小学校）

２　衛生管理の向上・安全保持

安全で安心な学校給食実施のため、食中毒予防対策、異物混入対策等の徹底を図り、衛生管理の向上・安全保持に努める。

（１）各調理場の施設設備の衛生面、安全性を重視した修繕、更新を図る。
（２）各調理場において、ネズミ・害虫等の防除を図る。
（３）学校給食研修会、調理場訪問衛生研修会等、衛生管理徹底のための研修の充実を図る。

３　給食施設設備の整備・更新計画の検討

本市の給食施設は、小学校調理場が改築後 30 年～40 年を経過し老朽化が進んでいるほか、平成 13 年度に設置した学校給食センターも、順次調理機器の更新が必要な時期にきていることから、計画的な整備・更新を図る必要がある。

（１）小学校調理場の施設整備基本計画を策定する。
（２）学校給食センターの食器洗浄機等の機器更新を検討する。

４　学校給食費の適正化等

本市の学校給食費は、平成 21 年度の改定以降、消費税率の改定や原材料費の価格上昇に伴い、安全安心で栄養バランスの取れた給食の維持のため、適正価格の検討を進める時期にきている。また、引き続き、多子世帯の経済的負担の緩和や、公平性の観点から未納解消に取り組む必要がある。

（１）近隣市と協調しながら、学校給食費の見直しに取り組む。
（２）学校給食多子世帯支援事業を実施する。
（３）法的措置も含め、給食費の未納解消に取り組む。

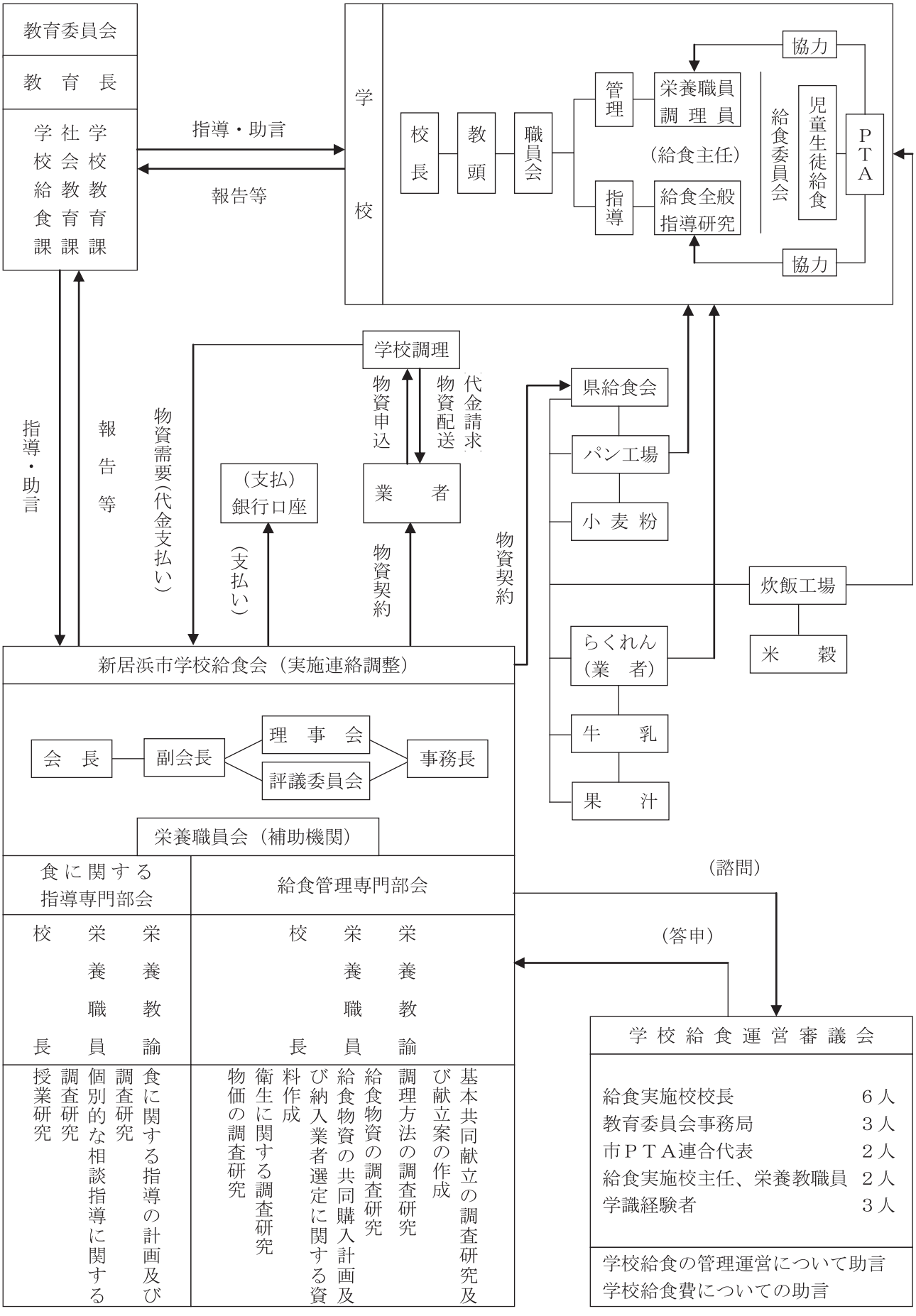
第３　施設状況

施　設　名	所　在　地	建設年月	構　　造	敷地面積	建物面積	電　話	所(場)長氏名
学校給食センター	瀬戸町 12 番 38 号	平成 13.3	鉄骨造２階建　外	4,597 ㎡	(本体) 2,232 ㎡ (その他) 84 ㎡	31-7470	桑原一郎
高津共同調理場	宇高町二丁目 13 番７号	昭和 57.2	鉄筋コンクリート造 陸屋根平屋建　外 (平成 10.8 増築)	―	(本体) 260 ㎡ (その他) 12 ㎡	37-3797	飯尾規彦

※ 小学校給食室省略

〔対象校〕　学校給食センター　西中・南中・北中・泉川中・船木中・中萩中・角野中・川東中
愛媛県立新居浜特別支援学校（本校・川西分校）・泉川小（米飯のみ）
高津共同調理場　高津小学校・東中学校

学　校　給　食　運　営　組　織　図


教育委員会
教　育　長
学校給食課
社会教育課
学校教育課
指導・助言
報告等
学校
校長
教頭
職員会
管理
栄養職員
調理員
（給食主任）
指導
給食全般
指導研究
給食委員会
児童生徒給食
PTA
協力
協力
学校調理
物資申込
物資配送
代金請求
物資需要（代金支払い）
（支払）
銀行口座
（支払い）
業　者
物資契約
県給食会
パン工場
小麦粉
炊飯工場
米　穀
らくれん
（業　者）
牛　乳
果　汁
新居浜市学校給食会（実施連絡調整）
会　長
副会長
理　事　会
評議委員会
事務長
栄養職員会（補助機関）
食に関する指導専門部会
給食管理専門部会
校長
栄養職員
栄養教諭
食に関する指導の計画及び調査研究
個別的な相談指導に関する調査研究
授業研究
基本共同献立の調査研究及び献立案の作成
調理方法の調査研究
給食物資の調査研究
給食物資の共同購入計画及び納入業者選定に関する資料作成
衛生に関する調査研究
物価の調査研究
（諮問）
（答申）
学校給食運営審議会
給食実施校校長　6人
教育委員会事務局　3人
市PTA連合代表　2人
給食実施校主任、栄養教職員　2人
学識経験者　3人
学校給食の管理運営について助言
学校給食費についての助言

新 居 浜 市 学 校 給 食 の 推 移

年度	給食の形態			1食当たり給食費(円)	献立等	購入
	ミルク給食	還元牛乳	完全給食			
S22	市内全小学校					
23～			小1校			
25			小2校			
26～			小4校	15	各校単独献立	各校単独購入
31			小5校			
32			小6校		栄養職員1名で立案	
33			小7校		市教委栄養職員指導	
34			小8校		各校へ栄養職員配置	準共同購入（乾物・砂糖のみ）
35			小12校			
36			小13校			
37～		市内全小中学校	小16校・中2校	25		
39				30		
40						（卵追加）
41～				40	準共同献立	
43				46	完全共同献立	
44						完全共同購入
45			小16校・中1校	55		
46		10月より牛乳		65		
47			小17校・中1校	70		
48				85		
49～				130	11月栄養職員県費切替	
51				150	米飯週1回実施	
52		9月より紙容器	改築（小学校）金子、船木			
53			泉川、垣生			
54			宮西、金栄、浮島、大生院	160	4月から10月ジュース実施	
55			神郷、惣開、多喜浜		2学期から米飯週2回実施	
56～			高津	180	全校へ「おはし」導入	
58			若宮			
59			角野、中萩		ジュース5、6、7、9月実施	
60					2学期から米飯週2.5回実施	
61～			新居浜			
H1					学校給食地域農産物等活用モデル指定校（神郷小）	
2				小200 中220	米飯週3回実施 学校給食情報ネットワーク化事業モデル校（大生院小）	
3					給食用食器強化磁器導入（惣開小）	
4					学校給食地域農産物等活用モデル指定校（角野小）	
5					〃	
6～				小220 中260		
10			小17校・中2校		高津共同調理場設置	
11						
12						
13			小17校・中10校		地元産米の使用 学校給食センター設置	
14						
15			小18校・中11校		別子小中学校を追加（合併）	
16～						
21				21.9 小240 中280		
22					別子小中学校調理場改修	
23					地元産米を地元業者納入	
24						
25			小17校・中11校		大島小学校廃校	
26						
27						
28						

※平成25年度～大島小学校廃校

スポーツ振興課

第１　最重要課題

スポーツに親しむ環境づくり

第２　重点事項（取組方針）

１　子どもたちの競技力向上に向けたスポーツ活動の支援

（１）子どもたちのスポーツ力の向上

ア　市内高等学校部活動への支援

イ　学校トップアスリート事業の実施

（サッカー・バスケットボール・バドミントン・野球・駅伝）

ウ　青少年育成スポーツ活動事業への支援

２　市民スポーツ活動充実に向けた社会体育の推進

（１）市制施行80周年記念事業の効果的な実施

ア　わんぱく相撲にいはま場所の開催（６月18日）

イ　ウエイトリフティング講演会の開催

ウ　ドリーム・ベースボールの開催（９月10日）

エ　市民マラソン大会（あかがねマラソン）の開催（平成30年１月14日）

３　体育施設の整備及び管理の将来設計

（１）市内体育施設の管理

ア　既存施設の充実（機能向上）と市民体育館への空調導入等の検討

（２）総合運動公園構想の実現に向けて

ア　市長事務部局（企画部・建設部）との連携強化

イ　基本計画策定に向けた取り組み

（３）銅山の里自然の家の今後の方針決定

４　スポーツによる新居浜の活性化

（１）愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会の成功に向けた取り組みの推進

（２）東京オリンピック事前キャンプ誘致活動の推進（ウエイトリフティング）

（３）市民体育の充実・強化

ア　総合型地域スポーツクラブ設立に向けた検討

イ　各種全国大会等出場者及び市内で開催される大会開催への支援

ウ　市民体育祭等の開催、新居浜市体育協会への支援など

第３ 主な事業

１　学校スポーツ活性化事業（4,000千円）

市内にある高等学校及び高等専門学校の運動部の競技力の向上を図り、全国大会出場が狙えるようなレベルに引き上げることを目的とし、新居浜市といえば○○（○○は競技名）という市のイメージを創生するとともに、市内の中学生にとって魅力ある高等学校運動部づくりを目指す。

※平成29年度

【東高校】 バドミントン、陸上競技、ヨット

【南高校】 ウエイトリフティング

【工業高校】ウエイトリフティング

【商業高校】バスケットボール

２　運動部活動競技力向上事業（2,562千円）

市内の小中学生にとって魅力ある高等学校スポーツ部活動とすることを目指し、全国トップクラスの指導者を招聘し、市内の中学生と合同で指導を行うことで中高の連携を深め、市内高等学校スポーツ部活動のレベルアップを図る。

３　市制施行80周年記念事業（8,110千円）

（１）わんぱく相撲にいはま場所事業（1,000千円）
（２）ウエイトリフティング講演会事業（1,542千円）
（３）ドリームベースボール事業（2,068千円）
（４）市民マラソン大会事業（3,500千円）

４　体育施設環境整備事業（41,084千円）

体育施設の利用環境の安全性を高めるため、老朽化により改修が必要な箇所を計画的に整備する。また、施設管理に必要な備品類を順次更新することにより、利便性の高い施設としての機能を維持していく。

５　市民体育充実強化費（7,390千円）

（１）駅伝競走大会事業（340千円）
（２）地域スポーツ育成事業（2,400千円）
（３）各種全国大会出場奨励金（4,000千円）など

６　市民体育祭費（5,885千円）

新居浜市最大のスポーツイベントである市民体育祭を開催する。

体育施設一覧表

施設名	所在地	建設年月	構造	敷地面積(㎡)	建物面積(㎡)	電話	管理者
市民体育館	東雲町一丁目1番25号	昭和52. 8	鉄筋コンクリート造3階建	4,863	6,163	34-1888	文化体育振興事業団
山根総合体育館	角野新田町三丁目14番1号	昭和62. 3	鉄筋コンクリート造2階建	5,358	3,252	43-2905	〃
多喜浜体育館	多喜浜四丁目3番7号	昭和59. 3	鉄筋コンクリート造2階建	3,255	1,179	46-2466	〃
東雲市民プール	東雲町一丁目1番13号	昭和47. 6	鉄筋コンクリート造	10,744	524 水面積2,872	32-3595	〃
山根公園屋内プール	角野新田町三丁目14番2号	昭和63. 9	鉄筋コンクリート造2階建プール棟は鉄骨造	7,400	1,527 水面積395.5	43-1411	〃
別子山市民プール	別子山甲355番地の1	昭和57. 3	樹脂一部コンクリート造	1,430	200		別子校区連合自治会
市営野球場	新須賀町三丁目2番54号	昭和60. 7	鉄筋コンクリート造3階建	15,269	4,448	34-0518	文化体育振興事業団
武徳殿	徳常町4番6号	昭和13.11	木造瓦葺平家建	2,362	584		〃
弓道場	徳常町4番15号	平成5. 3	木造平家建	546	103		〃
重量挙練習場	徳常町4番6号	昭和61. 2	鉄骨造平家建	297	228		〃
文化振興会館	徳常町4番8号	平成5. 3	鉄筋コンクリート造3階建	456	993	36-0800	〃
山根市民グラウンド	角野新田町三丁目2822番地の9			13,403			〃
別子山市民グラウンド	別子山乙304番地の8	昭和57. 3		1,470			別子校区連合自治会
市民テニスコート	庄内町二丁目地先及び南小松原町地先	昭和59.10	クレーコート6面	6,600	80 コート4,314	36-2071	文化体育振興事業団
		昭和57. 3	全天候型ウレタンコート公式4面	4,000	コート2,885	〃	〃
		平成24.10	クレーコート軟・硬両用3面	2,405	コート1,855	〃	〃
		平成24.10	全天候型人工芝6面	6,600	4,314	〃	〃
山根公園テニスコート	角野新田町三丁目12番	平成4. 3	全天候型人工芝6面 練習コート3面(壁打)	5,117	317 コート5,117	43-2151	〃
東雲競技場	東雲町三丁目地先	平成5. 3	全天候型300m トラック及び投てき場	13,000	70		〃
市営サッカー場	観音原町乙109番地	平成11. 7	天然芝グラウンド2面 管理棟(鉄骨造平家建) 観覧席 東側500 西側500席	22,220	168	66-2522	〃

教育施設一覧表

施設名	所在地	建設年月	構造	敷地面積(㎡)	建物面積(㎡)	電話	管理者
銅山の里自然の家	立川町654番地の3	昭和63. 7	木造コロニアル葺2階建外	8,950	1,446	32-1300	文化体育振興事業団

文　化　振　興　課

第１　最重要課題

豊かな感性を育む文化・芸術活動の推進と充実

第２　重点事項（取組方針）

１　文化力の向上

（１）芸術を体験する

ア　学校での芸術体験（アウトリーチ）を実施

イ　魅力的な展覧会、公演、イベントの実施

ウ　あかがねミュージアム・文化センターでの各種講座の実施

（２）発表の場をつくる

ア　学んだことの成果を発表する場づくり

イ　春の市民文化祭や秋の市展での作品発表の場

ウ　市民参画公演「10 才のわたしとぼく」（後掲）

（３）文化施設の利活用をとおして美術館でのマナー講座や文化施設の使い方を学ぶ。

・あかがねミュージアムでの展覧会見学時など文化施設について学ぶ機会をもつ。

２　新居浜市市制施行 80 周年記念事業の効果的な実施

市民が多数参加してもらえる魅力的なイベントの実施、また、新居浜の魅力を発信できるよう、事業企画や計画に基づいた準備・運営を行う。

＊記念企画事業

①　あかがねミュージアムでの３本の展覧会

・東京富士美術館コレクション－美の東西－

・風とあそぶ　榎木孝明水彩画展

・近藤勝也展

②　市民参画公演「10 才のわたしとぼく」

小学４年生によるワークショップと発表公演

③　広瀬歴史記念館開館 20 周年企画展

３　新居浜を識る

（１）美術館や広瀬歴史記念館での事業

①市制施行 80 周年記念事業や、あかがねミュージアムの企画展（「新居浜美術の新時代と住友」（仮称））など地域に関連した魅力ある企画展などの実施を通して、新居浜を識る機会を広く提供する。

②旧広瀬邸庭園は、平成 27 年度より庭園整備を継続して実施しており、庭園についての調査・報告書を作成し、国の名勝指定にむけて取り組む。

（２）文化財の保存活用

郷土資料室「ふるさとラボ」を活用し、新居浜について楽しく学ぶ場を作る。また、ふるさとラボにおいては、誰でも気軽に参加できる講座を夏休みなどに設け、小中学生の利用を促進する。

４　新居浜を元気にする

（１）魅力ある高等学校地域連携事業

地域と高等学校との連携を深め、地域にとって魅力ある高等学校となるような事業に対する支援をする。

（２）市民参画の文化事業実施

・新居浜市市制施行 80 周年記念事業（前掲）の実施

・文化施設を活用した各種教室や講座に参画してもらえる仕組み

５　安心安全な文化施設の運営

（１）文化センターの計画的な整備
　　中ホール外壁改修工事など計画的に整備する。

（２）安心・安全に利用できるよう、指定管理者と連携した施設の管理運営
　　指定管理の事業計画に沿った施設の管理運営を指定管理者と共に行う。

第３ 主な事業

１　80 周年記念企画展開催事業（60,358 千円）

（１）東京富士美術館コレクション －美の東西－
（２）風とあそぶ 榎木孝明水彩画展
（３）近藤勝也展

２　文化施設環境整備事業（54,317 千円）

文化センターの計画的な整備を行い、利用環境の改善、利便性の向上を図る。
・中ホール緞帳等更新工事
・中ホール外壁改修工事 等

３　旧広瀬邸庭園整備事業（26,757 千円）

広瀬公園の国の名勝指定に向けた旧広瀬邸内庭の修復剪定

文 化 施 設

名　　称	市 民 文 化 セ ン タ ー	管理者	文化体育振興事業団
所 在 地 敷 地 面 積	繁本町８番 65 号　　☎33-2180 18,337 ㎡		
構　　造	鉄筋コンクリート造地下１階地上３階	鉄筋コンクリート造地下１階地上４階	
建 物 面 積	3,713 ㎡	2,166 ㎡	
延 床 面 積	5,064 ㎡	4,620 ㎡	
ホ　ー　ル	大ホール（1,163 席）	中ホール（固定 486 席　車いす席３）	
会 議 室		洋室 10、和室２	
教　　室		料理・茶華各１、視聴覚１	
プラネタリウム		プラネタリウム室（72 席）	
展　　示		展示室１	
そ の 他	高齢者社交室	相談室、保育室	
駐 車 場	駐車可能台数　170 台		
工 事 費	3 億 5,000 万円	5 億 4,400 万円	
完　　成	昭和 37 年 11 月３日	昭和 49 年８月９日	
改　　修	【工　期】　昭和 61 年 12 月 18 日 ～ 昭和 62 年４月 25 日 【工 事 費】4 億 500 万円 【工事概要】せり舞台を新設（約 100 ㎡） 舞台天井・側面に音響反射板の新設 客席の幅を拡大 前部客席に床暖房設備を設置 防音扉の設置 平成 23 年度 楽屋新築及び既設楽屋改修 58,289 千円		
	平成２４年度～２６年度　耐震工事の実施 工事費　24 年度　17,850 千円　耐震診断及び補強設計 25 年度　92,075 千円　別館耐震工事等 26 年度　53,795 千円　大、中ホールの耐震補強工事及び本館耐震工事		

名　　称	別 子 山 ふ る さ と 館	管理者	別子校区連合自治会
所 在 地	別子山甲 345 番地　　☎64-2305	完成年月日	Ｈ２．７．３１
施　　設 内　容　等	資料館１階　86.64㎡　　２階　146.87㎡ 管理棟　　２階　127.17㎡ 展示　　銅山歴史、遺跡案内、登山案内等パネル 岩石標本 銅山、物産関係		

国　指　定　文　化　財　（3）

（H29．4．1現在）

種　　類	名　　称	所　在　地	指定年月日
建　造　物	旧広瀬家住宅	上原二丁目10番52号	平成15年５月30日
工　　芸	剣銘国永	（個人蔵）	昭和31年６月28日
天然記念物	一宮神社のクスノキ群	一宮町一丁目３番１号　一宮神社	昭和26年６月９日

県　指　定　文　化　財　（１３）

（H29．4．1現在）

種　　類	名　　称	所　在　地	指定年月日
建　造　物	経堂「大転輪蔵」	山根町８番１号　瑞応寺	昭和45年３月27日
彫　　刻	木造薬師如来坐像	高木町３番21号　河内寺	昭和54年９月14日
工　　芸	太刀銘国継	（個人蔵）	昭和30年11月４日
工　　芸	太刀無銘	（個人蔵）	昭和39年３月27日
工　　芸	銅銭承和昌宝	黒島二丁目７番70号　明正寺	昭和40年４月２日
工　　芸	金銅密教法具	黒島二丁目７番70号　明正寺	昭和40年４月２日
考古資料	金子山古墳出土品	西の土居町二丁目16番47号慈眼寺	昭和63年４月19日
史　　跡	別子銅山口屋跡	西町６番２号	昭和24年９月17日
名　　勝	別子ライン	立川山、大永山	昭和30年11月４日
名　　勝	広瀬公園	上原二丁目10番52号	昭和43年３月８日
天然記念物	瑞応寺のイチョウ	山根町８番１号　瑞応寺	昭和31年11月３日
天然記念物	赤石山の高山植物	赤石山系（新居浜市、四国中央市）	昭和32年12月14日
天然記念物	久貢山のソテツ	多喜浜六丁目４番55号	昭和32年12月14日

市 指 定 文 化 財 （７５）

（H29．４．１現在）

種　　類	名　　称	所　在　地	指定年月日
建　造　物	大元神社本殿	大島字宮山　大島八幡神社	昭和52年４月７日
石造美術	宝篋印塔	郷四丁目 22 番	昭和52年４月７日
石造美術	狛犬	東田三丁目 1229 番地　東台神社	昭和52年４月７日
絵　　画	金胎両界曼荼羅	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
絵　　画	弘法大師御影像	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
絵　　画	絵馬「渡辺綱鬼女退治図」	新須賀町三丁目４番５号　堀江神社	昭和60年10月３日
彫　　刻	釈尊誕生仏	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
彫　　刻	十二神将像	高木町３番 21 号　河内寺	昭和52年４月７日
彫　　刻	木造聖観世音菩薩立像	萩生 2635 番地　萩生寺	昭和52年４月７日
彫　　刻	随神	八雲町 10 番 16 号　宗像神社	昭和52年４月７日
彫　　刻	牛王宝印	八雲町 10 番 16 号　宗像神社	昭和52年４月７日
彫　　刻	蛙股	八雲町 10 番 16 号　宗像神社	昭和52年４月７日
彫　　刻	仏海上人作仏像	大島 143 番地　吉祥寺	昭和53年４月６日
彫　　刻	木造阿弥陀如来立像	別子山乙 551 番地５　圓通寺	平成15年11月４日
彫　　刻	木造大日如来坐像	別子山乙 551 番地５　圓通寺	平成15年11月４日
彫　　刻	木造聖観音菩薩坐像	別子山乙 551 番地５　圓通寺	平成15年11月４日
工　　芸	太刀銘伝三条小鍛治宗近作	一宮町一丁目３番１号　一宮神社	昭和40年６月３日
工　　芸	仏舎利塔と舎利器	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
工　　芸	鉄鉢と二十五条麻袈裟	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
工　　芸	獅子王御太刀	八幡二丁目４番 69 号　八旛神社	昭和52年４月７日
工　　芸	孔雀文金銅磬	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和52年４月７日
古　文　書	秘法三十二箇巻	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
古　文　書	白石家文書	北新町 10 番１号　別子銅山記念図書館	平成16年８月５日
古　文　書	野田家文書	北新町 10 番１号　別子銅山記念図書館	平成16年８月５日
考古資料	銭がめと古銭	中村三丁目７番１２号	昭和52年４月７日
考古資料	古宮経塚出土「経筒」	繁本町８番６５号　市民文化センター	昭和60年10月３日
考古資料	正光寺山古墳群出土遺物	繁本町８番６５号　市民文化センター	平成25年３月13日
歴史資料	西条藩領地鳥瞰図屏風	坂井町二丁目８番１号　総合文化施設	昭和60年10月３日
歴史資料	瓜生野御堂棟札	別子山瓜生野	平成15年11月４日
歴史資料	圓通寺棟札	別子山乙 551 番地７　圓通寺	平成15年11月４日
歴史資料	石造地蔵菩薩立像	別子山乙 551 番地７　圓通寺	平成15年11月４日
無形民俗文化財	とうどおくり	大島	昭和53年４月６日
無形民俗文化財	じょうさ節	垣生	昭和53年４月６日
無形民俗文化財	かぶと踊り	船木	平成16年８月５日
史　　跡	五輪塔群	西の土居町二丁目	昭和40年６月３日
史　　跡	大師泉縄文遺跡	萩生 801 番地	昭和52年４月７日
史　　跡	唐津塚	上原二丁目	昭和52年４月７日
史　　跡	小山古墳	垣生小山	昭和52年４月７日
史　　跡	桧端住居跡	船木 4638 番地の２	昭和52年４月７日
史　　跡	河内寺の塔礎石	高木町３番 21 号　河内寺	昭和52年４月７日
史　　跡	深尾権太輔の墓	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和52年４月７日
史　　跡	星原市	星原町４番	昭和52年４月７日
史　　跡	久貢屋敷	多喜浜六丁目４番 55 号	昭和53年４月６日
史　　跡	天野喜四郎の墓	多喜浜字大久貢山 152 番１	昭和53年４月６日
史　　跡	つづら淵	若水町二丁目５番	昭和53年４月６日
史　　跡	金子城跡	金子山	昭和53年４月６日

種　　類	名　　称	所　在　地	指定年月日
史　　跡	横山古墳群	中萩町 13 番	昭和53年４月６日
史　　跡	金子山古墳	金子 15 番地	昭和58年１月６日
史　　跡	三義民の碑	宇高町二丁目６番　観音堂	昭和60年６月６日
史　　跡	村上平兵衛の墓	又野二丁目５番　阿弥陀堂	昭和60年６月６日
史　　跡	高橋弥市左衛門の墓	宇高町二丁目６番　観音堂	昭和60年６月６日
史　　跡	高橋孫兵衛の墓	宇高町二丁目１番 52 号　地蔵堂	昭和60年６月６日
史　　跡	高橋孫兵衛屋敷跡地	宇高町二丁目	昭和60年６月６日
史　　跡	金子備後守供養塔を中心とする墓	西の土居町二丁目 16 番 47 号慈眼寺	昭和60年12月５日
史　　跡	岡崎城跡	上郷郷山	昭和53年４月６日
史　　跡	広瀬家墓所	山田町 217 番地の１	平成16年８月５日
史　　跡	正光寺山古墳群	坂井町二丁目 1419 番	平成25年３月13日
名　　勝	銚子の滝	大生院大野山	昭和53年４月６日
名　　勝	樽の滝（窓の滝）	種子川山	昭和53年４月６日
天然記念物	バクチノキの群生	大島字宮山　大島八幡神社	昭和52年４月７日
天然記念物	ミョウショウジザクラ	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和52年４月７日
天然記念物	法泉寺のムクノキ	垣生四丁目９番 12 号　法泉寺	昭和52年４月７日
天然記念物	大師泉のオオバタネツケバナ	萩生 801 番地	昭和52年４月７日
天然記念物	ヤクシマツバキ	大生院大野山谷	昭和52年４月７日
天然記念物	漣痕	荷内町２番５号	昭和52年４月７日
天然記念物	アッケシソウ	阿島二丁目 14 番１号	昭和59年７月５日
天然記念物	中央構造線小河谷断層	萩生 1833～2960 番地の１	昭和60年１月10日
天然記念物	宗像神社の参道と社叢	八雲町 10 番 13 号　宗像神社	昭和60年11月５日
天然記念物	黒嶋神社のツバキ群生林	黒島 779 番地の１　黒島神社	昭和60年12月５日
天然記念物	三島神社の社叢	船木甲 5371 番地　三島神社	昭和60年12月５日
天然記念物	龍河神社の社叢	立川町 496、497 番地ほか	昭和63年５月12日
天然記念物	保土野渓谷甌穴群	別子山保土野乙 475 番地８地先ほか	平成15年11月４日
天然記念物	オオモミジ	別子山乙 551 番地 13	平成15年11月４日
天然記念物	山城八幡神社社叢	別子山甲 130 番地	平成15年11月４日
天然記念物	エドヒガンザクラ	別子山乙 83 番１	平成25年３月13日

登　録　有　形　文　化　財　（９）

（H29．４．１現在）

種　　類	名　　称	所　在　地	登録年月日
建　築　物	住友化学工業愛媛工場歴史資料館	惣開町５番１号	平成13年４月24日
建　築　物	武徳殿	徳常町４番６号	平成16年３月２日
土木構造物	遠登志橋	立川町 620 番１地先	平成17年12月26日
土木構造物	旧別子鉱山鉄道端出場鉄橋（足谷川鉄橋）	立川町	平成21年８月７日
土木構造物	旧別子鉱山鉄道端出場隧道	立川町	平成21年８月７日
建　築　物	旧泉寿亭特別室棟	立川町 707 番３	平成21年８月７日
工　作　物	山根競技場観覧席	角野新田町三丁目 2822 番９	平成21年８月７日
工　作　物	旧山根製錬所煙突	角野新田町三丁目 2822 番１	平成21年８月７日
建　築　物	旧端出場水力発電所	立川町 594 番	平成23年１月26日

広瀬歴史記念館

日本の近代化産業を育成した広瀬宰平翁の功績を正しく理解し、新居浜の生い立ちと近代化の歩みを後世に伝えるとともに、未来に向かって市民の活力を育み、文化遺産の継承と生涯学習の拠点施設として活動の振興を図る。

施設状況

所　在　地	建設年月	構　　造	敷地面積（㎡）	建物面積（㎡）	電　話	館長等氏名
新居浜市上原二丁目10番42号	展示館 平成９年４月	鉄筋コンクリート造 地上１階 地下１階	4,688.03	1,072.00	40-6333	特別顧問 末岡　照啓 館長 久葉　裕可
	旧広瀬邸 明治20年頃	木造瓦葺 ２階建	31,827.19	1,361.00	43-4667	
計			36,515.22	2,433.00		

総合文化施設（あかがねミュージアム）

総合文化施設は、新居浜の歴史、文化及び芸術を通して、市民が集い、出会い、交流する場を提供することで、文化の継承、発展、創造と次世代のひとづくりを目指し、平成27年7月18日にオープンした。

施設の管理運営は、指定管理者制度を導入し、新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設運営グループが行っている。

施設状況

所　在　地	開設 年月日	構　　造	敷地面積 （㎡）	建物面積 （㎡）	電　話	館 長 氏 名
坂井町二丁目８番１号	平成 27.7.18	鉄筋コンクリート造 地下１階地上３階	11,571.86	8,894.14	31－0305 65－3580	美術館長 阿部義澄

施設の概要

建物構造	Ｂ１Ｆ	ホール（250席、ロールバック式）楽屋、スタジオ１、地下駐車場
	ＧＬ	ロビー、カフェ
	１Ｆ	メインエントランス、太鼓台ミュージアム、総合案内、にいはまギャラリー
		アート工房、シアター、スタジオ２
	２Ｆ	美術館（展示室１、展示室２、市民ギャラリー）
	３Ｆ	機械室
開館時間	９：30～17：00	太鼓台ミュージアム、シアター、にいはまギャラリー、美術館
	９：30～21：00	アート工房、スタジオ２
	９：30～22：00	ホール、楽屋、スタジオ１
	９：00～22：30	駐車場
休 館 日	月曜日（月曜日が国民の祝日に当たるときは、翌日）	
	12月29日から翌年１月３日まで	

図　書　館

第１　最重要課題

生涯学習及び地域情報拠点としての、図書館機能の充実

第２ 重点事項（取組方針）

１　読書活動の推進と機会の提供、生涯学習の支援

市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会・場所の提供に努める。

（具体策）読書通帳の活用
こども読書通帳マラソンの実施（継続重点）
パスファインダーの拡充
お話会の充実（幼児対象、小学生対象、夏の怖いお話会、クリスマス、お話会等）
図書館まつり(ブックリサイクル・図書館見学など)
図書館企画事業の工夫（地域出身の作家講演会（作家の井川香四郎先生を予定）、夏休みは図書館へ行こう！イベントの開催等）
展示コーナーの充実、
健康・地域活性化支援コーナーの充実
ホール・会議室等における文化集会事業の利用促進
図書館コミュニケーションーボードの作成（新規、新居浜らしさをだし障がい者用・外国人用などを予定）

２　地域資料の保存と情報発信、ふるさと学習の推進

郷土の歴史や文化を次世代に継承するため、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の産業遺産等についての情報発信を行うなど市史編さんの準備に取り組む。

（具体策）古文書等のデータベース化、愛媛新聞公開データベースの閲覧
別子銅山コーナー・住友関連コーナー・住友関連企業社史コーナーの充実
「別子銅山に関する本の解説講座」等の実施

３　関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進

市民の読書活動の推進及び地域課題の解決を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、他の関係機関との資料や情報の相互利用等の協力活動の積極的な実施に努める。

本市子育て支援施策との連携、健康支援、ビジネス支援、就業支援、行政支援の実施、地域等関連情報の提供と調査研究を行う。

（具体策）図書館ネットワーク・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスによる資料提供、愛媛県立図書館図書の遠隔地返却地サービス協力、ブックスタート事業､出前講座、健康支援､地域活性化（ビジネス）支援コーナーの充実、（新規、雑誌のバックナンバーの内容を吟味し、上記コーナーで活用）行政支援、ロビー展の推進、雑誌スポンサー制度の推進による雑誌の充実と地元企業の情報発信

４　教育機関及び福祉機関等との連携強化

読書活動・学習活動を推進していくため、学校や学校図書館、病院や福祉施設との連携を行う。

（具体策）団体貸出、図書館見学・職場体験の受入、図書購入時や調べ学習の図書リストの作成・情報提供、リサイクル図書等の活用
移動図書館の利用促進（学校の昼休み乗り入れや、高齢者福祉施設、病院、幼稚園等へのステーション設置により、利用促進を図る。）
公民館報への掲載依頼、病院等施設内での利用案内の掲示
新入小学生への案内の配布・図書館カードの作成

５　図書館ＰＲ活動の充実

図書館の活動を市民によく知ってもらい、図書館の利用促進につなげるため、あらゆる情報媒体を活用しＰＲ活動を推進する。

（具体策）「夏休み子ども探検隊」等図書館行事においてＰＲ
図書館ホームページの充実、メールマガジンの発行（毎週水曜日）
図書館通路等、掲示板の有効活用図書館行事・活動の広報及び報告
イメージキャラクターの活用

第３　主な事業

１　図書館利用促進事業（24,174 千円）

図書館は地域の情報拠点・生涯学習支援施設としての役割を果たすことが必要であり、市民が必要とする資料・情報の提供を行う。また、新居浜市で保存している古文書の目録づくりを行う。

・図書・オーディオヴィジュアル資料等購入
・古文書目録づくり等報償（愛媛大学へ依頼）

第４　施設状況

施設名	所　在　地	建設年月	構　　造	敷地面積（㎡）	建物面積（㎡）	電　話	館長氏名
別子銅山記念図書館（本 館）	北新町 10 番１号	平成 4.3	鉄筋コンクリート造陸屋根・銅板葺地下１階付２階建	16,534	3,072	32-1911	横井　邦明
角野分館	中筋町二丁目４番 24 号	昭和 54.7	鉄筋コンクリート造２階建	200	162	41-6217	

蔵書冊数

（H29. 3 . 31 現在・単位：冊）

区分 / 分類	本館				移動図書館		角野分館			合計
	一般	児童	郷土	参考資料	一般	児童	一般	児童	参考資料	
0総記	(269) 8,944	(19) 932	(18) 1,863	(28) 2,321	(9) 57	(2) 116	(34) 485	(15) 146	(0) 78	(394) 14,942
1哲学	(163) 9,703	(24) 628	(5) 165	(4) 423	(20) 138	(17) 156	(39) 326	(12) 117	(0) 2	(284) 11,658
2歴史	(467) 17,613	(130) 3,035	(28) 2,598	(16) 976	(34) 190	(36) 380	(64) 762	(82) 493	(0) 26	(857) 26,073
3社会	(718) 22,608	(125) 2,763	(70) 3,049	(34) 842	(49) 252	(23) 195	(66) 746	(32) 350	(0) 4	(1,117) 30,809
4自然	(526) 13,651	(192) 6,079	(7) 366	(15) 481	(71) 409	(40) 579	(53) 579	(67) 1,111	(0) 15	(971) 23,270
5工学	(625) 15,229	(60) 1,606	(33) 640	(33) 465	(215) 1,280	(33) 181	(119) 1,217	(33) 368	(0) 3	(1,151) 20,989
6産業	(189) 4,939	(44) 1,128	(23) 541	(4) 204	(16) 142	(15) 114	(13) 179	(10) 185	(0) 4	(314) 7,436
7芸術	(350) 21,173	(95) 4,113	(12) 556	(4) 240	(57) 505	(142) 827	(52) 770	(45) 737	(0) 0	(757) 28,921
8語学	(63) 2,787	(15) 722	(0) 32	(9) 385	(4) 27	(1) 94	(11) 116	(3) 153	(0) 21	(106) 4,337
9文学	(1,873) 71,928	(750) 27,161	(23) 1,084	(7) 441	(280) 2,024	(206) 2,986	(401) 7,842	(179) 3,669	(0) 4	(3,719) 117,139
C紙芝居		(44) 1,786				(8) 263		(8) 223		(60) 2,272
E絵本		(860) 30,110				(248) 4,397		(257) 4,509		(1,365) 39,016
その他										
計	(5,243) 188,575	(2,358) 80,063	(219) 10,894	(154) 6,778	(755) 5,024	(771) 10,288	(852) 13,022	(743) 12,061	(0) 157	(11,095) 326,862

（H29. 3 . 31 現在・単位：点）

A V 資料	
C T （カセットテープ）	(0) 34
V T （ビデオテープ）	(0) 1,257
C D	(113) 2,517
D V D	(173) 1,490
計	(286) 5,298

（ ）内は本年度受入数

平成２８年度のあゆみ

教育委員会の主な施策と実績

1　平成 28 年度決算額

(1) 教育費　　（単位：千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
教育総務費	教育委員会費	委員報酬	6,053	6,300	907,040
		委員会費	247		
	事務局費	人件費	452,205	458,097	
		事務局運営費	5,806		
		教育政策研究費	86		
	諸費	指導費	2,174	442,643	
		研究所費	2,051		
		教育振興補助金等	330		
		奨学金	81		
		教育施設防火等管理費	2,147		
		特別支援教育運営費	929		
		文化施設管理運営費	142,574		
		文化施設環境整備事業	72,995		
		学校音楽教育振興費	3		
		パソコン管理費	5,293		
		中学生海外派遣費	7,082		
		交通災害遺児就学援助費	24		
		事務用パソコン整備費	3,707		
		公共施設ごみ収集費	9,350		
		いじめ・不登校問題等対策費	16,865		
		教職員住宅管理運営費	547		
		生きた英語教育推進費	50,842		
		別子ハイツ自然学習館管理費	7,128		
		スクールソーシャルワーカー活用事業費	367		
		発達支援教育運営費	3,914		
		発達支援教育充実費	20,163		
		標準学力検査実施費	8,177		
		学力向上学習支援事業費	1,574		
		二次検診公費負担実施事業費	1,017		
		学校図書館支援センター充実費	19,688		
		持続可能な開発のための教育推進費	3,845		
		中学校地域連携協力推進事業費	882		
		全国お手玉大会開催事業費	2,000		
		公立学校施設長寿命化計画策定費	6,600		
		海外高校生日本語スピーチコンテスト開催事業費	1,590		
		放課後まなび塾推進事業	43,607		
		情報教育推進校調査研究事業費	2,036		
		不登校児童生徒支援モデル事業費	3,061		

（単位：千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
小学校費	学校管理費	小学校管理運営費	277,550	377,209	1,406,237
		小学校保健費	34,505		
		小学校体育費	1,562		
		小学校施設環境整備事業	51,779		
		小学校施設環境整備事業(繰越分)	10,611		
		小学校保健充実費	1,202		
	教育振興費	小学校就学援助費	40,688	215,470	
		小学校理科教材備品購入費	1,646		
		小学校教育研究県指定校費	150		
		小学校教育充実費	27,046		
		社会科副読本発行費	2,022		
		小学校教育用コンピュータ整備費	56,455		
		小学校特別支援教育充実費	79,270		
		小学校持続可能な開発のための教育推進費	2,526		
		要医療行為児童看護支援費	0		
		いじめ・暴力から身を守る学習事業費	10		
		小学校ハートなんでも相談員設置事業費	3,080		
		小学校特別支援教育就学援助費	2,395		
		小学校特別支援研究県指定校費	182		
	学校建設費	小学校大規模改造事業（繰越分）	649,091	813,558	
		小学校非構造部材耐震対策事業（繰越分）	58,619		
		小学校プール改築事業	105,848		
中学校費	学校管理費	中学校管理運営費	157,364	217,216	467,931
		中学校保健費	23,007		
		中学校体育費	11,703		
		中学校施設環境整備事業	25,142		
	教育振興費	中学校就学援助費	25,736	116,130	
		中学校理科教材備品購入費	2,251		
		中学校教育研究県指定校費	300		
		中学校教育充実費	19,193		
		中学校指導図書改訂費	9,121		
		中学校ハートなんでも相談員設置事業費	1,680		
		中学校教育用コンピュータ整備費	41,727		
		中学校特別支援教育充実費	12,017		
		中学校持続可能な開発のための教育推進費	88		
		運動部活動競技力向上事業費	2,747		
		中学校特別支援教育就学援助費	769		
		いのちの授業開催事業費	501		
	学校建設費	中学校非構造部材耐震対策事業(繰越分)	101,926	134,585	
		別子中学校学び創生事業	32,659		
幼稚園費	幼稚園費	人件費	48,167	161,509	161,509
		王子幼稚園管理運営費	2,305		

（単位：千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
		神郷幼稚園管理運営費	2,099		
		幼稚園保健費	711		
		就園奨励補助費	86,959		
		私立幼稚園私学助成費	4,668		
		幼稚園特別支援教育充実費	9,683		
		幼稚園施設環境整備費	1,733		
		幼稚園保育料管理システム導入事業費	5,184		
社会教育費	社会教育総務費	人件費	124,081	193,949	792,381
		社会教育振興費	2,061		
		文化教育費	3,121		
		文化振興基金積立金	147		
		文化財保護費	1,698		
		高齢者生きがい創造学園環境整備事業	15,307		
		高齢者生きがい創造学園管理運営費	13,653		
		生涯学習センター管理運営費	2,738		
		生涯学習センター充実費	8,729		
		社会教育充実費	6,853		
		芸術文化振興費	2,667		
		生涯学習センター施設環境整備事業	640		
		こども夢未来基金積立金	1		
		ＮＨＫ公開番組誘致事業費	1,048		
		郷土資料室管理運営費	7,350		
		放課後子ども教室充実費	3,855		
	公民館費	公民館管理運営費	141,634	195,753	
		公民館活動費	92		
		公民館推進費	417		
		公民館施設環境整備事業	33,545		
		地域主導型公民館推進費	11,432		
		公民館耐震補強対策事業	7,366		
		新居浜市文化祭事業推進費	1,267		
	図書館費	図書館管理運営費	58,516	97,686	
		図書館充実費	22,774		
		図書館整備事業	5,022		
		図書館整備事業（繰越分）	8,848		
		図書館図書整備基金積立金	7		
		図書館施設環境整備事業	699		
		ブックスタート事業費	1,820		
	青少年教育費	青少年育成強化費	378	378	
	青少年センター費	青少年センター管理運営費	3,124	3,266	
		補導活動充実費	142		
	広瀬歴史記念館費	広瀬歴史記念館充実費	1,688	58,312	
		広瀬歴史記念館管理運営費	34,429		

（単位：千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
		旧広瀬邸庭園整備事業	22,195		
	総合文化施設費	総合文化施設管理運営費	168,768	243,023	
		総合文化施設管理運営費（繰越分）	3,420		
		総合文化施設充実費	46,507		
		総合文化施設開館記念事業費（繰越分）	9,975		
		総合文化施設環境整備事業	12,657		
		市制８０周年記念企画展開催費	1,696		
	美術品購入基金費	美術品購入基金繰出金	14	14	
保健体育費	保健体育総務費	市民体育振興費	11,337	209,615	1,221,997
		市民体育祭費	5,459		
		学校開校費	6,905		
		市民体育充実強化費	10,312		
		体育施設建設基金積立金	202		
		青少年育成スポーツ活動費	483		
		国民体育大会振興費(企画部)	1,871		
		国民体育大会開催対策費(企画部)	168,848		
		スポーツ推進審議会費	198		
		学校スポーツ活性化事業費	4,000		
	保健体育施設管理費	夜間照明施設整備事業	35,548	35,548	
	体育施設費	野外活動施設整備費	1,308	464,188	
		体育施設管理運営費	250,687		
		体育施設環境整備事業	79,044		
		体育施設環境整備事業（繰越分）	18,141		
		国体施設整備事業(企画部)	63,720		
		市民体育館耐震補強対策事業（繰越分）	51,288		
	学校給食費	人件費	198,637	512,646	
		給食運営費	152,578		
		高津共同調理場管理運営費	2,577		
		学校給食センター管理運営費	110,644		
		給食運営改善事業	32,134		
		学校給食多子世帯支援事業費	1,328		
		学校給食推進費	14,748		
教　育　費　合　計					4,957,095

(2) 民生費

（単位:千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
児童福祉費	児童福祉総務費	放課後児童対策費	11,457	11,457	11,457

(3) 介護保険事業特別会計　地域支援事業費

（単位:千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
選択型地域支援事業費	選択型地域支援事業費	高齢者生きがい創造学園講座事業費	8,574	8,574	8,574

2　主な施設の建設及び環境整備事業

平成 28 年度に実施した主な事業は、次のとおり。

【泉川小学校校舎南棟大規模改修工事】（繰越）

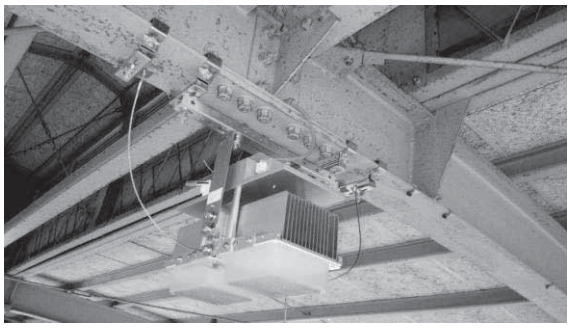
内　容　　大規模改修工事（長寿命化）
事業費　　668,423 千円
（内訳）設計業務　　19,332 千円
施工監理業務　　21,193 千円
電気設備工事　　64,116 千円
機械設備工事　　44,297 千円
仮設校舎建設工事　37,800 千円
場内改修他工事　　45,318 千円
内部改修工事　　258,120 千円
外部改修工事　　147,981 千円
屋上防水改修工事　30,266 千円
完　成　　平成 29 年３月



泉川小学校校舎南棟大規模改修工事

【小中学校屋内運動場高天井照明設備改修工事】（繰越）

内　容　　非構造部材耐震対策工事
・小中学校屋内運動場の照明機器の更新
事業費　　75,515 千円
（内訳）照明設備改修工事（その１）34,070 千円
照明設備改修工事（その２）41,445 千円
完　成　　平成 28 年９月



照明落下対策工事（惣開小）

【中学校武道場屋根改修工事】（繰越）

内　容　　非構造部材耐震対策工事
・中学校武道場の屋根瓦落下対策
事業費　　85,028 千円
（内訳）北中学校・西中学校　　27,422 千円
川東中学校・南中学校　　19,947 千円
泉川中学校　　14,450 千円
角野中学校・中萩中学校　23,209 千円



武道場屋根改修工事（南中）

社会教育課の主な施策と実績

公民館は社会教育拠点、生涯学習拠点、地域づくり拠点と様々な特性を持っているが、それぞれの地域の特徴を活かした活動を一層充実させることが公民館の存在意義を高めることにつながる。この観点から、「地域教育力向上プロジェクト事業」として地域の課題解決に向けた取組を行った。

学校を地域で支える「学校支援地域本部事業」に取り組み、子どもの居場所づくりのため「放課後子ども教室」を実施した。また、就労支援及びその児童の健全な育成に資するため、「放課後児童クラブ」を開設している。

１　地域教育力向上プロジェクト事業

地域の特色を活かし住民全体の手によって地域課題を検討・解決していくため、①個人の学習のための事業…“学ぶ”②地域での実践のための事業…“活かす”③今後の公民館・地域の方向性を決定するための事業…“創る”を三つの大きな柱として、各地域がその実情や必要性に応じて①～③のメニューを選択し実施している。

平成 28 年度は、市内 18 公民館で実施され、事業参加者数は 62,374 人となっている。

２　学校支援地域本部事業

地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の強化を図り、各種の活動を行う学校支援地域本部を設置している。主な活動内容は、登下校支援・校内環境美化・あいさつ運動・読み聞かせである。平成 28 年度は 15 校区で実施され、ボランティアなどの延べ活動人数は、46,776 人となっている。

３　放課後子ども教室

放課後や週末等において、公民館や学校の余裕教室等を活用して子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供することにより、放課後等の支援活動を行うもの。主な活動内容は、地域の有識者が講師となり、そうめん流し、生け花教室、子ども囲碁教室、親子海岸清掃＆釣り大会などそれぞれの教室で特色ある事業を実施している。

また、今年度は放課後児童クラブとの一体型の推進に係る設備整備事業の補助により金子まなび塾にタブレット 40 台を配備したほか、８教室にタブレット 320 台を、５教室に机等の備品を配備することとしており、環境整備の充実による多様な共通プログラムを実施して一体型の推進を図っていきたい。

平成 28 年度は９教室で実施され、子ども延べ参加者数は 7,072 人となっている。

４　放課後児童クラブ

就労又は疾病のため、昼間家庭において保護者の監護を受けられない小学１年生から３年生を対象（長期休暇のみ４年生も受け入れ）として、生活や遊びの場を提供し健全な育成に資するため、放課後児童クラブを開設している。平成 28 年度は、市内 16 校区 25 クラブで実施した。

５　こころのことばコンクール

こころのことばコンクール開催 11 年目にあたり、ＥＳＤフェスティバルにおいて、最優秀者３名の作品発表を行った。

６　別子ハイツ自然学習館の利用状況

単位：人

会　議　室			宿　泊		
H26	H27	H28	H26	H27	H28
466	711	820	823	626	620

7　学校体育施設開放の利用状況

●開放校　　小学校 17 校　　中学校 10 校

●照明設備使用料（運動場 710 円、体育館 200 円、武道場 100 円）

（単位：人）

年度／学校名	運動場			体育館等		
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
新居浜小	7,428	5,363	6,598	10,998	10,322	10,173
宮西小	7,353	6,524	7,020	6,226	5,522	4,388
金子小	3,642	3,541	3,148	11,516	11,255	10,725
金栄小	3,131	2,501	1,768	12,778	8,073	13,630
高津小	6,525	5,614	8,148	18,206	17,778	14,550
浮島小	3,106	2,762	3,395	5,144	5,689	5,155
惣開小	4,274	4,305	3,537	7,169	7,325	6,577
若宮小	1,667	2,367	2,099	10,366	8,096	8,651
垣生小	5,017	5,251	7,150	7,106	8,895	5,642
神郷小	9,708	11,354	10,642	18,336	15,758	18,227
多喜浜小	2,660	1,753	2,289	6,656	7,163	6,640
泉川小	7,218	7,007	7,445	6,603	8,775	7,817
中萩小	11,288	9,960	9,307	22,200	23,921	22,447
船木小	5,601	6,116	7,758	14,262	11,807	9,497
大生院小	5,408	6,203	5,968	7,341	7,721	6,106
角野小	7,956	7,720	7,207	9,834	9,666	9,873
別子小・中	0	0	0	413	483	449
東中	1,780	1,549	1,454	8,867	11,237	11,003
西中	891	1,165	688	4,119	4,079	3,462
南中	1,291	1,014	1,279	10,153	11,364	11,006
北中	1,101	1,117	1,373	9,472	8,462	8,939
泉川中	0	0	0	12,960	6,209	8,206
中萩中	3,294	3,978	4,734	10,091	11,914	11,436
船木中	1,324	951	1,226	5,871	7,095	8,165
大生院中	1,419	1,355	918	3,814	4,012	3,946
角野中	625	685	1,050	9,594	9,341	10,403
川東中	2,196	1,975	2,355	9,664	9,736	11,074
計	105,903	102,130	108,556	259,759	251,698	248,187

新居浜公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～夢・ロマン・感動を求めて～

１　ボランティア活動の推進
２　学校・家庭・地域を結ぶ青少年育成と見守り隊の推進
３　生涯学習の活性化と推進
４　三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成
５　小学生・中学生の居場所づくりと交流

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数			延べ参加者数
					男	女	子	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	女性講座	校区内女性	H28.5.23～H29.1.11	19	0	151	0	151
	シニアネットワーク	校区内高齢者	H28.7.30～H29.2.17	6	22	10	1	33
	三世代交流事業	校区住民	H28.12.17	8	60	80	50	190
	小学生夏休み講座	小･中学生親子	H28.8.6～H28.8.24	24	21	3	219	243
	防災キャンプ	小学生	H28.8.20～H28.8.21	18	37	25	27	89
	地域づくり推進事業	校区住民	H28.4.12～H29.2.22	17	0	76	0	76
	小・中学生料理教室	小・中学生	H28.7.23～H29.2.18	6	1	6	22	29
	新小夜市	校区住民	H28.7.16	4	350	350	300	1,000
	三世代交流健康ウォークラリー	校区住民	H28.6.11	3	25	25	12	62
	浜っこ教室	小学生	H28.6.25～H29.3.4	11	8	29	191	228
	地域自主防災組織の強化	校区住民	H28.7.10～H28.10.29	10	13	22	0	35
	地域活性化事業	校区住民	H28.6.12～H29.3.12	13	111	53	81	245
校区行事	校区文化祭	校区住民	H28.11.20	－	－	－	－	1,600
	校区運動会	校区住民	H28.5.15	－	－	－	－	800

（３）特色ある事業紹介

ア　防災キャンプ





８月20日～21日（１泊２日）の日程で新居浜小学校に通う４年生から６年生の児童を対象に開催した。災害が生じた時に避難所でのお手伝いの担い手となってほしいという思いで企画し、女性消防団よりＡＥＤの使い方・新聞紙を使ってのスリッパ作り、消防団より寝床作りやダンボールのトイレ作りを教わり、炊き出し体験ではサバイバル飯とカレーを作った。参加した児童からは学んだことをいざという時に役立てたいという感想が寄せられた。

イ　新居浜校区三世代交流健康ウォークラリー





三世代交流活動の一環として、尻無川にかかる橋を散策し、又、ゲーム大会では老いも若きも童心に戻り、笑い声の絶えない明るく楽しく健康的な交流事業であった。

（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　地域活性化プロジェクトを立ち上げ、新居浜小学校ビオトープの環境整備とスポーツ教室を通じて健康体力づくりに努め、魅力ある地域づくりを行う

イ　地域自主防災組織の強化

ウ　団塊世代の協力体制づくり

口屋跡記念公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～

１　豊かな心を育てる生涯学習の充実
２　青少年の健全育成
３　社会教育関係団体相互の連携・交流
４　人権・同和教育の推進
５　生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育講座	小学校・保護者	H28.7.21～H29.2.27	8	20	70	90
	女性講座	女性	H28.6.21～H29.3.3	11	186	372	558
	高齢者講座	高齢者	H28.6.10～H29.3.10	27	171	185	356
	高齢者・女性合同講座	高齢者・女性 校区住民	H28.5.11	2	16	35	51
	宮西サロン	校区住民	H28.6.26～H29.2.14	7	3	64	67
	生活文化講座	小学生・保護者	H28.8.20～H28.2.21	8	44	56	100
	男の料理教室	校区男性	H28.6.1、H28.8.5	6	23	8	31
	スポーツ健康教室	校区住民	H28.12.14	2	17	28	45
	三世代交流講座	校区住民	H29.1.10	3	22	44	66
	三世代交流福祉もちつき大会	校区住民	H28.12.18	4	87	100	187
	北中校区子ども絵画展	宮西小・ 新居浜小・ 北中生徒全員	H28.9.24～10.1 展示期間 H28.10.1 表彰式	7	223	264	487
	先進地研修	運営審議会委員 及び校区住民	H28.7.30	2	16	6	22
	口屋あかがねプロジェクト事業	団塊世代 校区住民	H28.10.7～H29.1.9	7	103	54	157
コミュニティ活性化事業（防災訓練）		小・中学生 校区住民	H28.9.11	3	100	80	180
校区行事	三世代交流大運動会	校区住民	H28.5.15	－	350	350	700
	文化祭	校区住民	H28.11.6	－	700	800	1,500

（３）特色ある事業紹介

ア　三世代交流福祉もちつき大会

毎年恒例の「三世代交流福祉もちつき大会」を12月18日に実施した。女性部がつくる赤飯に子どもたちが心をこめて書いた手紙を添えて、75歳以上の独居高齢者宅を訪問した。またもちつきと並行して老人会・たまごとダエンの積木の会の協力で思い思いの作品作りに挑戦した。この事業は核家族で育つ子どもたちには地域行事への参加を通じて三世代が触れ合える貴重な体験になっている。地域住民の連帯感や、子どもたちの健全育成及び地域の活性化のためにも継続していきたい大切な行事である。



イ　北中校区子ども絵画展

今年で６回目となる「北中校区子ども絵画展」を10月１日に実施した。この事業は学校・ＰＴＡ・地域が一体となり、児童、生徒の個性的、創造的表現活動を後押しし、旺盛な創作意欲と豊かな心の育成を目的にした事業である。宮西・新居浜小学校、北中学校生徒全員を対象として夏休みに題材自由で描いた作品を、審査した後公民館に展示（９月24日～10月１日）して、広く地域住民にも観覧してもらった。その後10月１日に表彰式、実技指導の時間を設け大勢の親子が参加した。子どもたちの表現力や感受性を養うためにも今後も大切に継続していきたい事業である。







ウ　宮西サロン

病院から公民館へのサロン化をめざした取組み。健康都市づくりの推進に校区で目指し公民館に誰もが集える居場所作りを目的として実施した。今年度は「タオルで作る防災頭巾教室」「薬膳料理教室」「みんなで歌おう！」の講座を開催した。頭や身体を使い心身ともに元気になるためのサロンを今後も増やし公民館の活性化につなげていきたい事業である。





（４）平成28年度事業の反省及び今後の課題

ア　地域活動を担うリーダー的人材の確保

イ　地域課題を解決し、地域の活力の向上を図る。

ウ　ボランティア活動等を通し、地域の福祉増進を図る。

エ　各種団体・地域住民と連携を図り、安心・安全のまちづくりの実現を目指す。

地域交流センター（ふれあい金子）

（１）平成 28 年度の交流センター活動の概要（重点事業）

～笑顔あふれる地域交流センター～

１　地域ふるさとづくりの推進
２　生涯学習・スポーツの推進
３　各種団体との連携・協力体制の強化
４　地域が一体となった青少年健全育成
５　自主防災組織の充実と意識の向上

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数			延べ参加者数
					男	女	子	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	高齢者	H28.6.8～H29.3.6	22	128	212	103	443
	家庭教育講座	小学生及び保護者	H28.5.7～H29.1.28	15	33	302	153	488
	三世代交流	一般	H28.7.6～H29.1.7	12	36	48	38	122
	文化教養講座	一般	H28.7.19～H29.1.21	6	31	51	59	141
	乳幼児講座	乳幼児及び保護者	H28.4.19～H29.1.19	35.5	0	91	74	165
	まちづくり事業（防災運動会）	一般	H28.5.15	9	194	109	28	331
	スポーツ健康教室	一般	H28.8.27～H29.1.21	6	56	66	0	154
	宿泊合宿	小学生	H28.8.6～H29.8.7	12.5	20	5	43	68
金子校区見守り隊会議		一般	H28.8.23	2	20	9	0	29
放課後子ども教室推進事業		小学生及び一般	H28.4.6～H29.3.22	96	32	64	402	498
校区行事	ラブ金子ふるさと夏まつり	地区住民	H28.7.23	5	1,467	1,440	1,758	4,665
	校区文化祭	地区住民	H28.11.6	8	805	875	820	2,500
	芸能発表会	地区住民	H28.11.12	5	56	169	18	243

（３）特色ある事業紹介

ア　乳幼児講座



核家族化が進む現代においては、子育ての悩みを一人で抱え奮闘している母親世代が少なくない。子育て中の母親が楽しみながら子供の育て方、しつけ等について学習したり、疲労・ストレス解消・癒しの場として情報交流するなど、幅広い教養が身につけられる場として開設している。

イ　ラブ金子ふるさと夏まつり





一宮神社の宮の市を再現し、昔を懐かしむとともに地域手作りの夏まつりを開催している。今回で 26 回を迎えたが、三世代がふれあい、ひとつの輪になって絆を深めるよい機会でもある。児童の司会進行で始まり、じゃんけん大会・花火大会などを行った。また、校庭のやぐらを囲んで浴衣姿の婦人や小学生が「小女郎たぬきおどり」を踊り、心に残る夏まつりが実施された。

（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　地域住民主体の生涯学習の推進

イ　世代間交流事業を充実させ、地域住民の交流の輪を広げる。

ウ　学校関係機関及び諸団体と連携し、青少年の健全育成を図る。

エ　自主防災組織の充実と意識の向上（住民同士の連携を深める）

金栄公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域づくりの拠点として、暖かく温もりのある公民館を目指して～

１　学校・地域との連携を図り、地域活性化につなげる。
２　伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る。
３　人権・同和教育の推進
４　青少年の健全育成を図る。
５　世代間交流の充実強化

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数			延べ参加者数
					男	女	子	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	高齢者	H28.5.19～H29.3.2	22	107	129	－	236
	婦人講座	婦人	H28.5.19～H29.3.2	23	0	211	－	211
	家庭教育講座	小学生を持つ親	H28.5.19～H29.3.2	10	0	126	－	126
	文化講座	一般	H28.9.29～H28.10.6	4	0	29	0	29
	三世代交流事業	児童・一般	H28.7.30～H29.1.20	16	158	283	200	641
	環境保護事業	一般	H28.4.1～H28.7.28	12	0	53	0	53
	ドリームツリー「金栄ふれあい広場」	一般	H28.12.11	2	480	810	210	1,500
	金栄まちづくり事業	一般	H28.6.10～H29.3.16	12.5	242	63	0	305
	子育て支援講座	未就園児保護者	H28.4.11～H29.3.13	34	0	354	274	628
放課後子ども教室推進事業		児童・一般	H28.6.4～H29.3.18	42.5	61	155	645	861
校区行事	校区運動会	一般	H28.5.15	5.5	320	300	180	800
	校区文化祭	一般	H28.11.13	－	400	350	250	1,000
	金栄盆踊り	一般	H28.8.14	3	130	180	140	450
その他	金栄ふれあいランド～わくわくキッズ王国･ふるさと青空マルシェ～	一般	H28.11.12	4	150	150	200	500

（３）特色ある事業紹介

ア　金栄まちづくり事業

金栄校区では、安全・安心のまちづくりを目指し各種団体及び小学校と連携し、様々な活動を実施している。10 月に実施した「地域総合防災訓練」では、各種体験・引き渡し訓練等を通じて、地震等の災害から自分の身を守るとともに互いに助け合うことの大切さを学ぶことができた。

また、金栄小学校・校区連合自治会、金栄校区自主防災会、公民館、市防災安全課が協働で作成した「金栄校区災害弱者の命をつなぐ避難経路防災マップ」が独立行政法人科学技術研究所の主催する「第６回防災コンテストｅ防災マップ部門」に於いて２年連続で最優秀賞を受賞した。今後も引き続き校区全体の防災意識の向上に努めたい。





イ　金栄ふれあいランド

～わくわくキッズ王国・ふるさと青空マルシェ～

子どもから大人まで校区住民が楽しめる催し及びマルシェを開催した。華々しいオープニングセレモニーも実施し、笑顔溢れる一日となった。







ウ　伝統芸能の伝承

～金栄トンカカさん踊り～

「金栄トンカカさん踊り保存会」と連携し、様々な行事へ参加している。毎年、金栄小学校３年生児童への指導も実施しており、校区運動会や小学校運動会等で披露している。踊り連は 20 名となり今後益々の活躍が期待されている。



（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　地域住民のニーズに合わせた事業及び講座の実施
イ　地域活動におけるリーダー的人材の確保
ウ　見守り隊の拡大と支援の充実
エ　自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上
オ　郷土芸能の伝承と継承

高津公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～住民が主体的に携わる公民館を目指して～

１　自治能力の向上と安全な地域づくりに努める
２　住民が自ら考え行動する生涯学習の推進とまちづくり構想の策定
３　学校、家庭、地域が一体となった青少年の健全育成
４　地域の連帯を図る三世代交流とふれあい活動の充実
５　人権・同和教育の推進

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	高齢者	H28.5.18～H29.2.15	25	189	189	378
	女性セミナー	女性	H28.6.2～H29.2.2	33	8	218	226
	健康講座	一般	H28.10.30	7	55	71	126
	スポーツ健康教室	一般	H28.6.2～H28.9.17	8	69	40	109
	健康ウォーキング	一般	H28.10.2	9	17	28	45
	れんげ祭り	一般	H28.4.16	2	500	500	1,000
	たかつ納涼夏祭り	一般	H28.7.17	6	850	950	1,800
	たかつ史跡めぐり	一般	H29.1.17	2.5	13	5	18
	文化部発表会	一般	H28.11.26	3	102	198	300
	きっずセミナー	子ども・一般	H28.7.30～H28.12.25	37.5	327	413	740
	たかつ花あふれるまちづくり	一般	H28.4.4～H29.3.4	60.5	115	130	245
	たかつ防災事業	子ども・児童・一般	H28.4.16～H28.7.31	32.5	333	488	821
	青少年健全育成講演会	青少年を持つ親	H28.8.30	2.5	43	38	81
	高津まちづくり構想実行推進事業	一般	H28.4.21～H29.3.16	96.5	436	263	699
放課後子ども教室推進事業		児童・一般	H28.6.4～H29.3.11	86	699	514	1,213
校区行事	校区運動会	一般	H28.5.15	6.5	1,275	925	2,200
	校区文化祭	一般	H28.11.6	6	1,965	2,285	4,250
その他	学校支援事業	子ども・一般	H28.4.22～H29.3.10	11	1,199	1,232	2,431

（３）特色ある事業紹介

ア　きっずセミナー「自治会合同でのきっず防災キャンプ」





きっずセミナーは、主に校区内の子どもたちが気軽に公民館に足を運び、校区行事にも積極的に参加することにより、地域への愛着を育てることを目的に様々な体験学習講座を実施しているが、平成28年度は防災学習に重点を置き自治会と合同で７月30日、31日の１泊２日で防災キャンプを実施した。

イ　れんげ祭り



子どもたちに自然体験の場を提供するため地元から農地を借り受け、れんげ畑を整備、４月 16 日にれんげ祭りを開催した。草花ビンゴやれんげのファッションショー、昔遊び、防災○×クイズや、消防車、パトカー、白バイの試乗体験などを通して交通安全、防災の意識啓蒙、地域の三世代交流が図られた。

ウ　たかつ納涼夏祭り



７月 17 日 1,800 人が参加し、たかつ納涼夏祭りを盛大に開催した。小学校ＰＴＡによるビンゴゲーム、愛護班による防災学習、社協高津支部他８団体による迷路（約 160 ㎡）、高校生ボランティアサークルMay 等、11 団体の模擬店、郷土の沢津音頭等で三世代の盆踊りの輪が広がり、地域の交流が図られた。

（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

南海地震から 70 年目、熊本地震により南海トラフ巨大地震、中央構造線活断層での発生確率が大きくなっている感があり、ハード（避難・復旧用の幹線道路の確保）・ソフト両面で更に避難計画・訓練に取り組む必要がある。高津公民館では、一昨年から立ち上がった高津まちづくり実行推進会議の４委員会（挨拶・見守り実行委員会、自治会活性化実行委員会、三世代交流わいわいクラブ、防災対策実行委員会）の活動をさらに活発にするとともに４委員会を中心に安心、安全なまち「たかつ」を目指し、地方創生に取り組みたい。

浮島公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～明るく元気な浮島校区の構築～

１　青少年の健全育成を地域の課題として取り組む。

２　高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進

３　「安全・安心」の地域の拠点としてのレベルアップ

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育講座	校区住民	H28.6.12～H28.12.19	20	250	458	708
	女性講座	校区女性	H28.6.22～H29.3.14	17	4	136	140
	総合講座	校区住民	H28.10.2～H28.11.30	8	130	196	326
	高齢者講座	校区住民	H28.5.10～H29.3.22	9	35	97	132
	伝統を伝える講座	校区住民	H28.11.4～H29.1.7	65	173	13	309
	料理教室	校区男性	H28.4.22～H29.3.17	25	228	38	266
	軽スポーツ教室	校区住民	H28.7.19～H29.2.19	8	44	48	92
	子ども教室	校区児童	H28.4.21～H29.1.5	3	66	57	123
	明るく元気の出る標語看板作り	校区住民	H28.5.26～H28.6.15	8	19	7	26
	ふたごクラブ	市内在住双子及び保護者	H28.4.11～H29.3.13	24	28	107	135
	幼児・児童の健全育成講座	校区住民	H28.4.11～H29.3.24	8	138	121	259
	防災に関する講座	校区住民	H28.9.11～H28.12.4	15	72	67	139
校区行事	校区文化祭	校区住民	H28.10.30	－	330	490	820
	小学校合同運動会	浮島小学校校区住民	H28.5.22	－	400	290	690
その他	まもるくんパトロール	校区住民	H28.4.1～H29.3.31	－	－	－	1,745

（３）特色ある事業紹介

ア　春季大運動会

浮島校区運動会は、住民の高齢化と浮島小学校児童の減少により参加者が年々減少したことから公民館が中心となり関係者の協議の結果、平成18年度から浮島校区連合自治会･浮島小学校合同による春季大運動会を実施している。当初９月に実施していたが、児童の健康を考慮して平成26年度から５月に変更した。地域住民の参加種目を毎年度見直しながら、例年600～700名程度の参加を得て盛大な運動会となっている。特に昨年の青年団による対抗リレーは盛り上がった。





イ　まもるくんパトロール隊

浮島校区では、大阪の池田小学校の事件をきっかけに、平成17年１月「まもるくんパトロール隊」を組織し、以来、児童の登下校の安心安全を目的に日々活動している。

下校時間が学年により異なるため、同じ道を何度も往復するなど隊員の負担もかかっているが、「できるだけ児童を一人にしない」を合い言葉に雨にも負けず今日も頑張って活動を続けている。





（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　地域の主体性を尊重した生涯学習の推進を図る。

イ　多くの地域住民が公民館活動に参加できるよう工夫し、地域の活性化に繋げる。

ウ　子ども達を地域で守り育てる意識と環境の向上を図る。

エ　公民館活動の担い手となる人材の確保と育成を図る。

惣開公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む公民館づくりを目指して～

１　事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る

２　地域資源を活かしたまちづくり

３　地域住民に親しまれる公民館づくり

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数			延べ参加者数
					男	女	子	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	シニア教室	高齢者	H28.6.13～H28.11.23	11	34	43	－	77
	遊ｙｏｕ講座	婦人・一般	H28.4.15～H29.2.3	30	9	114	0	123
	乳幼児学級	乳幼児を持つ親	H28.5.11～H29.1.24	5.5	10	262	20	272
	生活文化講座	一般	H28.5.31～H29.2.27	24	7	205	109	321
	三世代交流事業	校区住民	H28.12.10～H29.1.19	80	85	170	420	675
	まちづくり事業	校区住民	H28.7.24～H29.1.10	18	1,243	1,300	1,100	3,653
	プリンス＆プリンセス事業	一般	H28.7.21～H28.8.23	46.5	16	95	601	712
校区行事	校区文化祭	校区住民	H28.10.30	9	621	600	500	1,721

（３）特色ある事業紹介

ア　地域の財産を活かしたまちづくり事業

惣開校区には別子銅山の近代化産業遺産が多く残り、それらを生かしたまちづくり事業を行った。

平成 28 年９月 17 日（土）「今宵はそうびらき＆未来への鉱脈＆観月会」を開催した。未来への鉱脈は、「そうびらき」をＰＲできるように、新居浜南高等学校ユネスコ部に協力してもらい、地元企業と地域・学校と連携で企画構成し、巨大スクリーンで歴史遺産のスライドショーを実施した。

観月会は、自治会が中心となり地域一丸となって、1,000食の「芋炊き」を作った。地域の住民が一つの輪になり心に残る事業を行った。



イ　三世代交流もちつき大会（平成 28 年 12 月 10 日（土））

小学校６年生を中心に、毎年恒例で開催している。

ＰＴＡや社会福祉協議会、自治会、地域の高齢者などがボランティアで参加し、小学校時代のよき思い出を作るとともに、古き良き日本の伝統文化にふれられて、三世代交流が図られた。

地域の方の手作り赤飯に、６年生の手紙が添えて校区内の独居高齢者に配られた。



（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　世代間の交流のある講座の推進

イ　魅力があり、誰もが気軽に参加できる講座の開設

ウ　地域住民に対する生涯学習への認識と啓発（特に青年層）による新規参加者の増加

エ　学校と地域をつなぐESD活動の推進

若宮公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～家庭・学校・地域の連携を図り、安全・安心で住みよい若宮校区づくりを目指す～

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数			延べ参加者数
					男	女	子	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	環境にやさしいまちづくり	校区住民	H28.6.10～H28.12.21	7.5	56	50	115	221
	安心・安全なまちづくり	校区内住民	H28.4.28～H28.12.6	5	56	75	64	195
	子どもが主役のまちづくり	小学生・保護者	H28.4.23～H29.3.12	33	34	135	151	320
	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者	H28.4.12～H29.3.15	33.5	74	269	10	353
	スポーツと健康	校区住民	H28.8.20～H29.2.26	12	40	83	0	123
	地域の伝統・歴史の伝承	校区住民	H28.6.2～H29.1.30	49	104	245	605	954
	趣味と教養	校区住民	H28.7.11～H28.10.31	10.5	0	63	1	64
	先進地研修	校区住民	H28.11.27	9	15	8	0	23
放課後子ども教室推進事業		児童・一般	H28.5.11～H29.3.22	60.5	27	191	304	522
校区行事	校区文化祭	校区住民	H28.11.6	5.5	304	328	250	882

（３）特色ある事業紹介

ア　防災・避難訓練

本地域は新しく開けた土地であるため海抜が低く、高齢化率も市内において大島、別子に次いで3番目となっている。そのため、避難弱者への対応が直近の課題と捉え、校区連合自治会と連携を密にし、地域全体が一体となった防災訓練を実施している。

昨年度は、体育館で参加者全員がＡＥＤの体験を実施し、いざという時に誰もが使うことのできる体制づくりに努めた。その後、救助の際に役立つ器具の説明や、体育館での避難の際にプライバシーを守るための居場所づくりの体験を行った。

実際に、運動場でぬかるみに入り、動くことのできなくなった軽トラックを、購入したジャッキやスコップを使って救助する訓練も実施した。地域の消防団の方々の協力を得ながら実施したが、訓練といえども動かなくなった車の救出は至難の技であった。購入した防災関係用品を有効活用する機会を捉え、充実した訓練を実施する必要がある。一昨年購入した「無事です」の旗は、毎回の訓練で大いに役立っている。





イ　子どもの居場所づくり推進事業

１　読み聞かせや昔の遊び、竹とんぼ作りなど学校への出前授業

２　毎週水曜日実施の放課後子ども教室

３　新田診療所との共催で月１回実施する三世代交流事業

中でも三世代交流事業では、ちぎり絵・流しそうめん・クリスマス会・年賀状作り・ピザとおやつづくりなど、地域ボランティアの方々と共に、学校では体験できない活動に取り組んでいる。

わかっ子こども教室（科学博物館見学）



三世代交流事業（ちぎり絵）



（４）平成28年度事業の反省及び今後の課題

ア　公民館活動への住民の参画を推進するため広報活動の方法や、地域の活性化につなげる講座の企画・運営に努める。

イ　家庭・学校・地域の連携を一層深め、連合自治会・社協・老人会など校区内の各団体との共催事業を推進する。

ウ　小学校の統廃合に伴い、「若宮を元気にする会」の活動の支援・協力に努める。

垣生公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む公民館～

１　地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり
２　自ら学ぶ生涯学習の推進
３　各種団体・機関との連携強化
４　生活文化活動の振興
５　安全で住みたい垣生づくり

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数			延べ参加者数
					男	女	子	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育講座（家庭教育コース）	小学生及びその保護者	H28.7.2～H29.2.28	10.5	30	15	30	75
	婦人講座（婦人コース）	婦人	H28.5.7～H29.1.27	32.5	128	329	94	551
	高齢者講座（高齢者コース）	高齢者	H28.5.31～H29.3.6	20.5	31	34	40	105
	ふるさと文化講座（文化コース）	小学3～6年生及び一般	H28.9.14～H28.12.19	5.5	10	20	385	415
	成人講座	成人男女	H28.5.17～H29.1.30	18	74	98	―	172
	スポーツ健康教室	校区住民	H28.6.7～H29.2.21	8	106	49	0	155
	子育て支援	校区住民	H28.5.13～H29.1.17	8	6	42	40	88
	イルミネーションファンタジー	校区住民	H28.12.23	2	50	150	200	400
	垣生キッズ共和国	校区住民	H28.12.23	3	70	0	50	120
	垣生山遊歩道整備	校区住民	H28.5.29～H28.10.23	4	148	62	80	290
	納涼祭	校区住民	H28.8.6	2.5	180	280	200	660
	垣生校区三世代軽スポーツ大会	校区住民	H29.3.12	4	51	29	35	115
	垣生環境美化事業	校区住民	H28.5.25～H29.1.31	6	2	7	0	9
学校支援地域本部事業（農業体験教室）		校区住民	H28.6.14～H29.3.15	7	54	21	346	421
校区行事	校区芸能祭	校区住民	H28.11.23	2	25	84	17	126
	校区文化祭	校区住民	H28.11.20	4	400	400	200	1,000
	校区運動会	校区住民	H28.5.15	6	700	600	200	1,500

（３）特色ある事業紹介

ア　イルミネーションファンタジー

垣生の夜を彩る恒例行事となっているイルミネーション点灯式。今年は住友化学社友会のご協力で分光実験などの実験コーナーや、ペットボトル空気砲などの工作コーナーを設けました。また、けん玉、たこ焼き、豚汁とバラエティに富んだ内容で大いに盛り上がりました。イルミネーションは垣生山にも飾られ、両方とも１月初旬まで楽しんでいただけます。





イ　垣生校区三世代軽スポーツ大会

床が新調され、きれいになった垣生小学校の体育館で、三世代交流軽スポーツ大会を開催しました。スマイルボウリング・輪投げ・カローリングなど、初心者や体力に不安がある方も一緒に楽しめる軽スポーツを、児童や保護者、地域の方々で和気あいあい楽しみました。笑いも交えて、時に真剣に競技した後は職員手作りのカレーで親睦を深め、充実した一日となりました。





（４）　平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　公民館運営方針の実現に向け、新しい講座を展開する。

イ　より一層の地域主導を目指し、運営審議会の充実を図る。

ウ　地域・学校・家庭がより連携し、青少年健全育成と子育て支援に取り組む。

神郷公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安心・安全で住みよいまちづくりを目指す～

1　青少年の健全育成
2　地域の安全と安心の推進
3　地域福祉の拡充
4　生涯学習の推進と各サークル活動の支援
5　お茶の間懇談会の拡充・強化
6　自主防災組織作りの拡充・強化
7　地域の環境美化の推進
8　スポーツの推進と健康づくりの推進

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数			延べ参加者数
					男	女	子	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	いきいき講座	一般・子ども	H28.4.18～H28.12.12	22	3	150	4	157
	高齢者講座	高齢者	H28.5.26～H28.11.15	29.5	273	226	―	499
	乳幼児期家庭づくり教室	乳幼児 乳幼児をもつ親	H28.5.20～H29.2.1	34.5	190	502	806	1,498
	三世代交流事業	一般・子ども	H28.6.11～H29.1.15	18.5	258	340	178	776
	観月会	一般	H28.9.9	3.5	150	100	10	260
	神郷まちづくり事業	一般・子ども	H28.4.20～H29.2.10	113.5	452	471	317	1,240
	わくわく小学生	一般・子ども	H28.6.12～H29.2.19	24	128	149	310	587
	ママ友講座	婦人・子ども	H28.4.25～H29.2.13	31	6	134	28	168
	夏まつり開催事業	一般・子ども	H28.8.13		1,000	1,000	500	2,500
校区行事	校区運動会	一般	H28.5.15	9	700	600	150	1,450
	校区文化祭	一般	H28.11.20	6	1,450	1,700	―	3,400

（３）特色ある事業紹介

ア　まちづくりの事業

校区の各種団体役員が、安全安心、環境美化、健全育成の３部会に別かれ、よりよいまちづくりを目指して熟議を重ね、その内容を活かして各世代が協力して様々な事業に取り組んでいる。特に三世代交流の場作り、その活用による地域連携を目的に神郷校区住民のシンボルとして親しまれてきた「忠魂碑」がある広場の整備に力を入れ、桜・紫陽花の植樹も行っている。

また、ピザ窯作りも行い、ピザ窯を活かして交流の輪を広げようとしている。



忠魂碑桜の植樹



ピザ窯造り

イ　観月会

新居浜の郷土食といわれる“いも炊き”で季節を味わいながら地域の親睦を図る。



ウ　防災訓練

「自分たちの地域は自分たちで守る」ため自主組織を整備し、災害に備えた様々な訓練を実施する。



（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　どの事業もみんなで計画し、より多くの校区住民の参加を目指す。

イ　各自治会、諸団体の自治能力の育成強化を図り、地域発展につなげる。

ウ　学校・公民館・地域の連携を一層深め、青少年の健全育成に取り組む。

エ　神郷史情をより多くの校区住民に知っていただき、保存・伝承していきたい。

オ　神郷まちづくり委員会にて校区の問題点を浮き彫りにし、熟議を重ね問題解決に向け、知恵を出し合い取り組む。

多喜浜公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～

１　潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進
２　世代間の交流、人材の発掘
３　学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成
４　郷土の伝統文化の継承と郷土意識の向上
５　人権・同和教育の推進

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	スクール多喜浜	一般	H28.6.7～H29.3.4	29	95	157	252
	高齢者大学	高齢者	H28.7.25～H29.2.14	19.5	121	156	277
	三世代交流事業	一般・児童	H28.6.15～H29.2.5	12	93	122	215
	だいすき多喜浜夏祭り	一般・児童	H28.7.14～H28.7.23	13.5	352	378	730
	塩田文化バンク	一般・児童	H28.5.13～H29.2.18	26	35	136	171
	環境講座	一般・児童	H28.6.4～H29.2.28	9	39	48	87
	まちづくり講座	一般・児童	H28.4.5～H29.3.2	25	99	165	264
放課後子ども教室推進事業		児童・一般	H28.5.18～H29.3.4	55	198	329	527
校区行事	校区運動会	校区住民	H28.5.15	10	250	300	550
	校区文化祭	校区住民	H28.11.20	8.5	400	400	800
	演芸大会	校区住民	H28.10.30	5.5	118	197	315

（３）特色ある事業紹介

ア　塩田文化バンク

別子銅山とほぼ同時期に生まれた塩田は、新居浜の発展を支え昭和40年代まで多喜浜の住民とともにあった。廃田以降、人々の記憶から忘れ去られつつある多喜浜塩田を後世に継承していこうという声が地域から高まり、住民が主導してその伝承活動に努めている。塩田で培われた相互扶助、連携協力の精神的基盤である“かしょい”文化と共に、今では使われなくなった“かしょい”の言葉も受け継いでいくために啓発活動も行っている。「ソルティ多喜浜」を活用した「塩の学習館」での塩づくり体験学習、多喜浜塩田学習、塩田遺跡めぐりなど継続的に取り組んでいる。多喜浜小学校児童や地域の有志により「ソルティちゃん音頭」「塩田讃歌」の継承にも取り組んでいる。





イ　少年の日を祝う会

校区内で「少年の日」を迎える中学２年生を招待し、地域を挙げて祝う「少年の日を祝う会」を毎年開催している。今年度の中学生は多喜浜の塩を使ったパン作りを体験した。日頃の感謝の気持ちを込めてみんなで作ったパンを地域の方々にも配った。式典では、保護者、地域住民出席のもと中学生たちが多喜浜に対する郷土愛と地域への感謝の気持ちあふれる素晴らしい発表を行い、とても良い三世代交流の場となった。





（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　塩田文化の保存伝承

イ　伝統行事を通して様々な世代交流を行う。

大島交流センター

（１）平成 28 年度の交流センター活動の概要（重点事業）

～地域に親しまれるセンターづくり～

１　高齢者が楽しみながら健康維持できる推進事業

２　歴史と自然を守り伝統文化の伝承

３　住民どうしのつながりと安全・安心なまちづくり

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数			延べ参加者数
					男	女	子	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	教養講座	一般	H28.4.26～H29.2.27	41	16	89	1	106
	高齢者講座	一般	H28.5.13～H29.2.27	18	7	41	－	48
	とうど祭り	児童・青少年・一般	H28.8.9～H29.2.22	52	212	169	201	582
	防災教室	一般	H28.10.14～H28.10.28	11.5	12	22	0	34
校区行事	文化祭	児童・青少年・一般	H28.11.16	5	35	60	7	102

（３）特色ある事業紹介

ア　とうど祭り

伝統文化の保存と継承を目的とし、地域住民が親睦を深めながら、島外の人達との交流を図る。



念仏踊りの練習



小幟作り

イ　防災教室

災害時においての対策を防災運動会を通し、地域住民みんなで学ぶ。



バケツリレー



施設研修

（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　少子高齢化が進む中、伝統文化の保存と継承の対策

イ　島民の「買物難」解消と健康維持に役立つ事業の推進

ウ　非常時に備え、楽しく防災知識の習得ができる講座の実施

泉川公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～

１　再発見事業

２　住民が総参加の事業展開

３　まちづくりの醸成

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数			延べ参加者数
					男	女	子	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	ふるさと塾	一般	H28.4.21～H29.3.24	14	295	75	0	370
	なんでも楽習会	一般	H28.4.10～H29.3.12	85.5	561	456	0	1,250
	星原市２０１６	子ども・一般	H28.8.21	5	461	391	100	982
	泉川年輪のつどい	一般	H28.9.17	3	88	50	15	153
	「防災」の時、どうする？	子ども・一般	H28.7.27	2.5	7	27	3	37
	環境講座	一般	H28.4.2～H29.2.4	18	30	12	0	42
	伝統行事を伝える	子ども・一般	H27.12.9～H29.3.10	3	45	55	85	185
放課後子ども教室推進事業		児童・一般	H28.5.11～H29.3.18	49.5	33	139	500	672
校区行事	校区運動会	子ども・一般	H28.5.15	8	600	450	150	1,200
	公民館まつり	子ども・一般	H28.11.20	5	850	850	800	2,500
その他	学校支援事業	子ども・一般	H28.4.6～H29.3.23	233日	5,197	2,298	799	8,294

（３）特色ある事業紹介

ア　星原市２０１６

青少年の健全育成とまちづくりの一環として、毎年実施している。実行委員会を立ち上げ、各種団体と前年度の反省を踏まえながら、よりよいものにするべく話し合いを行う。

小学生の相撲大会やゲーム、ショータイム、模擬店等でにぎわい、終わりには餅なげもあり、子どもから高齢者まで楽しめる夏まつりとなっている。





イ　健康ウォーキング

エクササイズウォーキングとして行っていた事業を引き継ぎ、体育振興会が中心となり『健康ウォーキング』を実施しました。

各ブロックの「防災マップ」「おさんぽマップ」をもとに、毎月曜日を決めて、公民館から各コースを楽しみながら歩くウォーキングです。





（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　新規人材の確保、育成

イ　地域ぐるみで子どもや青少年の健全育成を図る。

ウ　地域福祉を推進する関係機関や団体と連携を強化する。

中萩公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～
「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町　日本一の中萩」

１　生涯学習・生涯スポーツ活動の推進
２　青少年健全育成の推進
３　社会福祉活動の推進
４　人権・同和教育の推進
５　安心・安全な地域づくりの推進

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数			延べ参加者数
					男	女	子	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	中萩セミナー	校区住民	H28.5.16～H29.3.17	24.5	35	195	0	230
	高齢者セミナー	高齢者	H28.6.14～H29.2.6	16	182	204	100	486
	健康セミナー	校区住民	H28.5.10～H29.2.21	33	81	126	30	237
	子どもスポレク祭	校区住民	H28.11.26	3	25	30	71	126
	中萩三世代交流事業	校区住民	H28.12.27～H29.3.4	16	62	81	246	389
	十河信二を知り学ぶ活動	校区住民	H28.4.10～H29.3.26	14	63	29	2	94
	環境改善事業	校区住民	H28.5.2～H29.2.24	17	14	32	0	46
	まちづくり推進事業	校区住民	H28.8.8～H29.2.9	3	13	13	0	26
放課後子ども教室推進事業		校区住民	H28.4.16～H29.3.25	58	82	103	1,047	1,232
校区行事	校区運動会	校区住民	H28.5.15	7	1,600	1,000	500	3,100
	校区文化祭	校区住民	H28.11.20	8	2,400	2,500	1,600	6,500
	校区芸能祭	校区住民	H28.11.5	4.5	50	110	5	165
	三世代交流演芸大会	校区住民	H28.9.3	3	274	373	102	749
	校区防災訓練	校区住民	H28.9.11	4	234	167	262	663

（３）特色ある事業紹介

ア　中萩三世代交流事業

４回目となる「中萩校区三世代交流事業　～昔の遊び　やっちゃお～」を開催しました。紙飛行機づくりや折り紙、お手玉やおはじき、竹馬やけん玉など、昔懐かしい遊びを校区の人たちと一緒に体験しました。人形劇では「おむすびころりん」というお話を鑑賞し、また、三味線体験では初めて触れる音色に多くの子どもたちが感動していました。今年度も、たくさんの中萩中学生がお手伝いしてくれました。



人形劇鑑賞



お手伝いの中学生

イ　十河信二を知り学ぶ活動

郷土の偉人である「新幹線を走らせた男　十河信二翁」の偉業を地域の方々とともに永く伝えていくための活動を行っています。講演会の開催や片道約10kmある十河信二翁の通学路を歩く事業などを通して在りし日の生活ぶりを身近に感じたりと、様々な活動を行っています。



講演会



通学路を歩こう

（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　公民館の各種事業が、各種団体の積極的な支援と協力により有効に実施することができた。

イ　はぎっ子の健全育成について、地域の各種団体との連携を取りながら、なお一層の充実を図りたい。

ウ　地域の人々のニーズや実態を把握し、地域力の向上を図り、より多くの人々の参加を目指して、魅力ある事業を展開する。

エ　開かれた公民館として、地域の人々の誰もが活動し、また誰もがつながっている公民館にしていくことを目指す。

船木公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～

１　学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成
２　心豊かな福祉のまちづくりの推進
３　一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進
４　人権・同和学習の推進
５　地域に根ざした親しまれる公民館づくり

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	人権講座	地域住民	H28.11.11	2	14	7	21
	健康講座	地域住民	H28.4.1～H29.3.31	6	11	22	33
	環境講座	地域住民	H28.4.1～H29.3.31	9	65	44	109
	伝統文化講座	地域住民	H28.4.1～H29.3.31	20	438	886	1,324
	こども講座	地域住民	H28.4.1～H29.3.31	12	50	121	171
	趣味講座	地域住民	H28.4.1～H29.3.31	18	1	81	82
	池田池ラジオ体操とお池をかこむ会	地域住民	H28.8.7	3	210	260	470
	池田池をわたる風とマンドリン	地域住民	H28.7.16	3	310	440	750
	地域づくり講座	地域住民	H28.4.1～H29.3.31	11	2,983	3,220	6,203
	ＨＡＰＰＹクッキング講座	地域住民	H28.4.1～H29.3.31	6	9	48	57
	ふるさと探訪講座	地域住民	H28.4.1～H29.3.31	14	14	23	37
校区行事	校区住民大運動会	地域住民	H28.5.15	7	450	350	800
	校区文化祭	地域住民	H28.11.6	7	1,750	1,450	3,200
	公民館大掃除	地域住民	H28.12.18	2.5	112	185	297
	校区成人式	成人者等	H29.1.3	4	50	50	100
	校区マラソン駅伝大会	小・中学生	H29.2.4	4	200	190	390
	校区徒歩探訪会	地域住民	H29.2.12	4	70	80	150

（３）特色ある事業紹介

ア　『池田池をわたる風とマンドリン』



７月 16 日(土)18 時から約３時間にわたって開催された。屋外の行事には天候の心配がつきものだが、今年はその心配もなく順調に開幕の時を迎えた。オープニングは、船木小学校の金管バンドによる演奏で、朝・昼休み・放課後の練習の成果を存分に発揮し、素晴らしい演奏を披露してくれた。徐々に日が沈み、あたりが夕暮れに染まる中、船木中学校、フラダンス、大正琴、よさこい踊りが登場し、演奏や演舞が披露され、会場は大いに盛り上がった。最後にメインイベントの新居浜マンドリクラブの演奏が始まると、池田池全体がマンドリン独特の音色に包まれ、来場者は野外コンサートの醍醐味を存分に味わった。

外の会場では、青少年健全育成部によるバザーが開設され、うどんやかき氷、フランクフルトなどで皆さんのお腹を満たしてくれた。池田池には地元住民の尽力により立派な舞台が作られており、そこで開催される行事の一つである。

イ　『池田池菖蒲まつり』

６月 12 日(日)10 時から 14 時まで約４時間にわたり、開催された。約５千平方㍍の広さを誇る池田池の菖蒲園には、約５万本の白や紫、黄色のハナショウブが咲き、菖蒲園のまわりに植えられた紫陽花も見ごろを迎えた。

当日は昼前から霧雨が降りだしたが、雨にぬれるハナショウブや紫陽花はこの時期ならではの趣があり、色とりどりの傘も花を添え、来場者の目を楽しませた。園内では、フリーマーケットやバザーも数多く出店し、賑わった。ただ一つ残念だったのは、大久保子ども太鼓が雨のため出場をとりやめたことであるが、太鼓なしでも子どもたちが多数参加し、まつりを楽しんだ。

来場者は、静かな池田池の周りを散策したり、花を愛で、心に残るひとときを過ごした。







（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　公民館事業に協力して下さる人が固定し、ますます高齢化している。参加者も同様であり、若い世代にも参加してもらえるよう考えたい。

イ　住民の意見をよく知る必要がある。その手段を検討していく。

ウ　若い世代のみならず、多世代の人の愛郷心を育てていきたい。

大生院公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域住民が集まり、共に進む公民館～

１　事業の企画・運営の住民参画を通して、人材の育成発掘を図る。
２　自然といる地域資源を活かした特色ある事業の推進
３　放課後子ども教室推進事業への取組
４　自治会各種団体等と連携した安心・安全の地域づくりの推進

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数			延べ参加者数
					男	女	子	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者いきいきセミナー	高齢者	H28.5.17～H29.3.21	14	79	65	―	144
	くらしのセミナー	校区住民	H28.5.25～H29.2.2	13	2	87	0	89
	子育て支援セミナー	乳幼児及び保護者	H28.5.10～H29.2.14	12	0	38	36	74
	スポーツ健康教室	校区住民	H28.5.17～H28.6.26	6	88	31	13	132
	三世代交流事業	校区住民	H28.7.30～H29.1.10	11	60	77	159	296
	うずい教室	小学校児童保護者	H28.4.10～H29.3.25	10	10	22	76	108
	大野山プロジェクト	校区住民	H28.4.29～H28.12.11	17	273	277	421	971
	郷土の歴史と文化	校区住民	H28.11.26	3	11	13	15	39
	大生院まちづくり事業	校区住民	H28.5.16～H29.2.22	11	198	97	627	922
放課後子ども教室推進事業		希望者一般児童･保護者	H28.7.20～H29.1.6	34日	112	269	925	1,306
みどりの少年団		希望者一般児童･保護者	H28.4～H29.1	20	70	54	839	963
校区文化祭		校区住民	H28.11.6	5	680	770	420	1,870

（３）特色ある事業紹介

ア　大野山プロジェクト

大野山や渦井川、稲荷山公園など大生院校区独自の地域特性を活かし「マス釣り大会」「ほたる祭り」「ウォークラリー」等、たくさんの自然と触れ合うことのできる季節の行事を行う。行事を通じ、自然を大切に思う気持ちが育つことを願う。





イ　三世代交流事業

たのも団子作り、しめ縄作り、昔の遊びなど、幅広い地域の方と子どもたちが伝統行事を通じて交流を行う。伝統行事も体験できる機会が少なくなってきている昨今、地域の人には懐かしく、子どもたちには目新しく、お互いに楽しみながらできる行事となっている。





（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　公民館活動への住民の参画の促進

イ　次世代を担う人材の発掘と育成

ウ　地域全体で、子どもや青少年の健全育成の充実

エ　地域住民のニーズに合わせ、より多くの人々の参加を目指し魅力あふれる事業を展開していく。

オ　地域防災の更なる充実と強化

角野公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～共に学び・話し・喜び合える地域づくりを目指して～

1　思いやる心を育てる生涯学習を推進する地域づくり
2　伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり
3　学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり
4　自分達で命を守る防災組織の確立を図る地域づくり
5　三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり

（２）実施事業一覧表

事業名		対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	合同セミナー（三世代交流）	子ども～高齢者	H28.5.27～H29.3.24	25	1,052	1,028	2,080
	手作りセミナー	一般・女性	H28.6.28～H28.10.28	14	5	125	130
	いき生き生活セミナー	一般・高齢者	H28.6.20～H28.11.16	19	52	68	120
	家庭教育セミナー	一般・児童・生徒・保護者	H28.7.26～H28.12.3	19	109	158	267
	伝統文化プラン	一般	H28.7.17～H28.12.16	10	223	160	383
	未来まちづくりプラン	一般	H28.5.8～H28.12.15	84	577	434	1,011
	スポーツ健康教室	一般	H28.6.26～H28.8.12	8	94	9	193
校区行事	町民大運動会	校区住民	H28.5.15	6	835	833	1,668
	すみの夏まつり	校区住民	H28.7.15	5	1,057	1,121	2,178
	文化祭	校区住民	H28.11.6	8	2,463	2,537	5,000
	芸能祭	校区住民	H28.11.19	8	124	174	298
	とうどおくり	校区住民	H29.1.15	3	123	127	250
その他	地域清掃	校区住民 一般	H28.4.26～H29.7.3	3	85	101	186

（３）特色ある事業紹介

ア　家庭教育セミナー～子どもが真ん中　夏休み子ども教室～

角野校区では、地域ぐるみで夏休み中さまざまな体験学習を実施しています。

防災意識を高めるサバイバルシリーズ（火起こし体験）・科学を身近に感じ環境問題をテーマに考える・世界に目を向け様々な国に視点を置き日本との違いを教わる。地域社会との交流を深め、地域の方々のサポートを受け、温かい思いを知り成長する事を目的とする。



サバイバル火おこし



科学に挑戦



世界の料理を楽しもう

イ　伝統文化プラン～地域と学校が連携し、身近な歴史を詳しく知り学ぶ～

近代化産業遺産が多く残る地域、別子銅山を知り後世に伝える事業を柱にしている。

すみの夏祭りに開催される「ちびっこ相撲」は例年小学校みどりの教室にて内宮神社の神職のお祓いを受け、白熱した取り組みが繰り広げられる。今年も参加人数 294 名と盛況。土俵の手入れ、行事等地域、ＰＴＡのサポートを受け伝統が受け継がれている。

そして今年初めての試みで「別子銅山で繋がる歴史」と題し、深い繋がりがある口屋跡記念公民館と交流事業を開始した。新居浜の歴史、別子銅山の自然を紐解きお互い交流を深める。今後さらに充実した交流をはかりたい。



ちびっこ相撲



口屋跡記念公民館との交流事業

（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　学校との連携により、充実した事業の展開を進める。

イ　次世代を担う人材の発掘と育成に努める。

ウ　アクティブラーニング、課題解決型活動の推進

エ　地域の拠点として地域課題を解決し豊かなまちづくりを目指す。

別子山公民館

（１）平成 28 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域づくりの拠点として、暖かく温もりのある公民館を目指して～

１　学校・地域との連携を図り、地域活性化につなげる
２　伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る
３　人権・同和教育の推進
４　青少年の健全育成を図る
５　世代間交流の充実強化

（２）実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間（実施年月日）	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	健康づくり教室	校区住民	H28.7.21～H28.11.7	4	24	12	36
	地域環境講座	校区住民	H28.4.17～H28.8.30	7	10	11	21
	まちづくり支援事業	校区住民	H28.4.3～H29.1.28	10	28	9	37
	ふれあい体験学習	校区住民	H28.11.12～H28.12.18	18	33	43	76
	いきいきまちづくり	校区住民	H28.9.11	13	83	78	161
校区行事	産業文化祭	校区住民	H28.11.13	8	160	100	260

（３）特色ある事業紹介

ア　地域環境講座（山菜等採取講習会）



当日は、幸いにも陽射しが出て、汗をかくくらいの温かい気温で、講師の先生のご案内で地域を回り「タケノコ・ゼンマイ・ワラビ・コシアブラ・タシッポ・ツクシ・ヨモギ・ワサビ・タラノメ・シイタケ」など食用にできる山菜を重点に採取し、その後山菜料理の基本を学び、美味しくいただきました。特に食してはいけない植物も勉強いたしました。

イ　ふれあい体験学習（地域を歩く散策ツアー）



「句碑めぐり」

近代句碑研究者：愛媛大学の青木准教授をお招きして、別子山地域を散策しながら句碑を巡るツアーを実施いたしました。

地域内には、様々な句碑が存在いたしますが、その句碑にまつわる物語を先生に紐解いていただきながら散策し、参加の皆さんも一つ一つの句碑の想いを知る良い機会となりました。

イ　ふれあい体験学習（大座礼山ファミリー登山）



当日は好天に恵まれ、素晴らしい青空のもと、登山を体験することが出来ました。

当日の道のりは、それほど厳しくもなく、２時間程度で 1,500m以上の山頂まで到達することが出来ましたが、途中木々の紅葉やブナの巨木を見ながら快適な登山となり、参加されたみなさんも山の素晴らしさを体験することが出来ました。

（独居高齢者配布用餅つき）



地域内の一人暮らしの高齢者の皆さんを対象に配布いたします「お餅つき」を実施いたしました。

近年、当地域でも高齢者人口は増加傾向ではございますが、年に一度のご奉仕という事で、多くの皆さんにお集まりいただき、少しでも明るい新年をお迎えいただく事を目的に、想いのこもった餅つきを実施することが出来ました。

（４）平成 28 年度事業の反省及び今後の課題

ア　溢れる自然という地域素材を利活用した、体験型学習の推進を図る。

イ　地域住民の生涯学習の推進を図り、人材育成につなげる。

ウ　地域づくりの拠点として、地域課題を検討し、今後の地域発展につなげる。

エ　地域の連携を一層深める。

青少年センターの主な施策と実績

1　運営協議会

青少年センターの運営に必要な運営方針、重点目標、業務計画、少年補導委員の推薦、青少年の善行表彰の審議等について協議している。

協議会の開催状況（平成 28 年度）

第１回　平成 28 年　５月 24 日（火）

第２回　平成 29 年　２月 10 日（金）

2　街頭補導

街頭補導は、少年補導委員を中心に活動場所を選んで効果をねらうとともに、計画的・組織的に問題少年、非行少年の早期発見、早期補導を基本に取り組んでいる。

（１）実施の状況（平成 28 年度）

街頭補導回数	従事補導委員延べ人数	補導した少年延べ人数
647 回	3,051 人	297 人

（２）行為別内容（指導・声かけ）（平成 28 年度）　（単位：人）

区分	児童生徒	その他	計
飲酒			
喫煙		5	5
怠学・怠業			
盛り場徘徊			
夜遊び			
暴走行為			
ゲームセンター	2		2
無灯火・重乗等	19	8	27
声かけ（帰宅指導等）	228	7	235
その他	24	4	28
計	273	24	297

3　相談活動

国際化、少子化、高齢化、情報化などが進む今日、青少年を取り巻く社会環境も変化し、また、青少年自身の価値観、意識、行動も変容している。

このような社会の中で、保護者をはじめ、学校関係者、地域住民、関係機関等が連携を密にし青少年の健全育成に取り組んでいる。

青少年の健全育成には、子どもたちの人間性を豊かにし、たくましく生きる力を育成することが必要である。

子どもの非行、いじめ・問題行動などで悩みをもっている家庭、関係者、青少年自身からも相談を受け、問題の早期解決、予防、生活習慣の改善策等について話し合って支援をし、必要な場合は関係諸機関に連絡し、相談、助言、指導を行っている。

（１）相談の日　　毎週月曜日～金曜日　8:30～17:15（祝日・年末年始の休日を除く）

（２）相談の方法　　来所相談・電話相談・招致相談

（３）平成 28 年度少年相談の状況

項　目	来所相談	電話相談	招致相談	合　計
相談件数	1	12	0	13

ア　相談対象者

学　識	小学生	中学生	高校生	その他	合計
相談件数	2	5	3	3	13

イ　相談内容

相談内容	ぐ犯・不良行為	触れる法令に刑罰	その他	合計
相談件数	3	0	10	13

４　関係機関・団体との連絡連携

家庭、学校、警察、大型店、関係機関、団体等との連携により問題少年、非行少年等の早期発見、早期補導に努めた。

関係機関や団体が催す青少年健全育成、非行防止等の研修会、連絡会等に積極的に参加し、情報の収集、情報交換等に努めた。

５　青少年善行表彰

青少年の資質の向上を目的に日常生活や行動において善行著しい者について、運営協議会の決定に基づいて表彰した。

【善行表彰受賞者（平成 28 年度)】

小学生２名　　高校生５名　　高専生５名

６　青少年健全育成の活動状況

新居浜市では、７月１日～７月 31 日の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11 月１日～11 月 30 日の「子ども・若者育成支援強調月間」を重点に、青少年健全育成のための活動を展開している。

（１）青少年健全育成に関する啓発資料の作成と配布

広報紙による啓発と未成年者の飲酒･喫煙防止等の啓発。

（２）青少年健全育成に関する標語

各小・中・高校へ標語を募集し、審査の後、表彰した。

最優秀（３点)、優秀（５点)、佳作（12 点）作品は、広報誌に掲載及び強調月間中、ポスターを作成し、小･中･高校、公民館、市役所等に掲示し、啓発に努めた。

〈最優秀作品〉

今日のこと　家族で話す　晩ごはん	神郷小４年	白石　蘭
ちょっと待て　信じてくれる　人がいる	大生院中２年	源五郎丸　夏
考えて　自分の行動　家族の気持ち	東高１年	仙波　巴

〈優秀作品〉

差しのべる　つかんだ手と手　あたたかい	神郷小２年	弘瀬　空
つなごうよ　みんなの心　地域の輪	新居浜小５年	田中　晶大
そばにいる　あなたが前を　むけるまで	角野小６年	本郷　沙弥
万引きは　自分の未来も　盗んでる	角野中３年	村上　幹太
その瞳　映すべきは　良き未来	西高２年	金田　茉由佳

生涯学習センターの主な施策と実績

1　生涯学習センター事業報告

生涯学習センターでは、従来の社会教育事業を継続するとともに、市民の高度化、多様化した学習ニーズに対応した生涯学習大学を開設し、学習機会の提供の充実を図った。また、生涯学習情報の提供、市民の生涯学習への自主的な参画（生涯学習推進員・大学運営スタッフ）に努めた。

2　生涯学習大学の開設

市民一人ひとりが自主的に参加し、自らの意思で選択し受講できる生涯学習大学を開設している。

（1）　生涯学習大学講座内容　　（平成 28 年度）

講座名	対象	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
					男	女	
日本文学講座	市民	H28. 5.14～H28.10. 8	8	16	17	53	435
松山大学公開講座	市民	H28. 6. 4～H28.12. 9	8	16	34	18	260
新居浜高専市民講座	市民	H28. 5.14～H28.11.19	8	16	48	9	376
科学博物館講座	市民	H28. 5.25～H28.11.16	8	16	51	26	482
遍路学事始め	市民	H28. 5.31～H28.10.25	5	10	37	25	259
ふるさと学	市民	H28. 6.24～H28.11.25	5	10	40	19	240
郷土ものがたり	市民	H28. 5.26～H28.11.17	4	8	27	16	146
新居浜おとな塾	市民	H28. 5.20～H28.10. 7	4	8	13	11	86
自然探訪	市民	H28. 5.17～H28.11. 1	4	8	14	25	125
地域参加で健康づくり	市民	H28. 6.11～H28.11. 5	19	38	2	23	445
もっと知りたい別子銅山	市民	H28. 6.17～H28.12. 2	5	10	36	19	223
わくわくシニアライフ	市民	H28. 5.27～H28.11.11	6	12	14	50	285
新居浜環境講座	市民	H28. 5.21～H28. 9.17	4	8	13	4	53
旧別子今昔	市民	H28. 6. 8～H28.11. 2	4	8	37	13	163
多喜浜塩田の歴史	市民	H28. 5.24～H28. 9.20	4	8	13	6	68
身近な国際交流	市民	H28. 5.28～H28.11.12	4	8	9	9	53
創ってみま専科	市民	H28. 6.16～H28.10.20	4	8	0	25	89
懐かしの心の唄講座	市民	H28. 6. 1～H28.10.12	8	16	38	175	1,399
健康アラカルト	市民	H28. 5.19～H28.11.10	6	12	5	44	222
悠遊ワーカー講座	市民	H28. 9.15～H28.10.26	2	4	8	2	14
にいはま若者塾	市民	H28. 8. 1～H28. 8.10	4	8	12	25	147
みんなで創ろう！まなびの輪	市民	H28. 6.13～H28.11.15	6	12	7	9	93
雑談しま専科	市民	H28. 6. 1～H29. 3. 1	10	20	16	30	294
チケット受講生	市民				延べ(112)	延べ(92)	204
修業のつどい	市民	H29.1.21	1	3			615
計			141	283	603	728	6,776

（2）講演会

行事名	実施年月日	事業の内容	参加者数
平成 28 年度 「修業のつどい」講演会	平成 29 年 1 月 21 日(土)	講師　家古谷　光現（長福寺　東堂） 演題　自己をならう （新居浜市市民文化センター 中ホール）	615 人

高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績

1　高齢者生きがい創造学園事業報告

おおむね60歳以上の者を対象にして、その生きがいづくりと健康・自立を目指す学習ニーズに応えられるよう講座を開設して、学習機会の提供、各種情報の収集・提供やボランティア活動・サークル活動の促進をした。

（１）　生きがい創造学園講座内容　　（平成28年度）

講座名	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
				男	女	
高齢者社会を賢く生きる	H28. 6. 7～H28.11.15	8	16	17	53	387
郷土を歩く	H28. 5.12～H28.11. 1	5	30	21	24	183
男の料理教室	H28. 5.18～H29. 2.15	8	24	24	0	171
趣味の料理教室	H28. 5.13～H29. 2.10	8	24	1	23	178
家庭菜園教室	H28. 5.17～H28.12.13	8	16	17	18	229
短歌教室	H28. 5.11～H29. 2. 8	10	20	3	6	78
生け花教室	H28. 5.16～H29. 2.20	8	16	0	10	76
書道教室	H28. 5.18～H29. 2.22	16	32	13	16	397
絵手紙教室	H28. 5.17～H29. 3. 7	15	30	6	22	385
写真教室	H28. 5.12～H29. 2. 9	10	20	8	11	131
陶芸教室	H28. 5.18～H29. 2.15	8	16	8	12	144
コーラス教室	H28. 5. 9～H29. 3. 6	15	30	8	37	528
四季の組み木教室	H28. 5.12～H29. 2. 9	10	20	10	5	131
ピアノ教室	H28. 5.17～H29. 3. 7	15	30	7	8	197
グラウンドゴルフ教室	H28. 5. 9～H29. 2.13	16	32	21	22	543
ラージボール卓球教室	H28. 5.16～H29. 2.20	16	32	8	20	251
３Ｂ体操教室	H28. 5.20～H29. 2.17	10	20	4	33	255
計		186	408	176	320	4,364

（２）サークル活動等

【サークル活動】

講座終了者が、グラウンドゴルフサークルをはじめとする58サークルで自主的で幅広い活動をしている。

年間延べ回数 1,479回　　男 12,030人　　女 23,374人　　計 35,404人

【代表者会】

目　的　　学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図ることを目的とする。

構　成　　学園の各講座、サークルの受講者の互選により選出された代表者で構成される。

組　織　　総務委員会・広報委員会・体育委員会・文化委員会・音楽委員会で構成される。

行　事　　学園祭・グランドゴルフ大会・研修会等

学校教育課の主な施策と実績

平成 28 年度の重点目標を「基礎的・基本的な事項の確実な定着を図り、「生きる力」の基となる、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成を目指し、家庭や地域社会との連携を深めながら、個性を生かす特色ある学校教育の充実に努める。また、安全管理の徹底を図り、健やかな学習環境の整備に努める。」として、前年度の反省を活かし、調和のとれた教育課程の編成と実施に努めた。また、地域に根ざした開かれた学校経営に努めるとともに、創意を生かした特色ある学校づくりを目指し、その改善・充実を図った。

特色ある学校づくり

学校は地域の誇りであり、選ばれる立場にあるということを認識し、学校教育の画一性・受け身体質を克服し、各学校がそれぞれの実情に応じ、自主的・自立的に創意・工夫を凝らした教育の展開を図る。

〈重点実施項目・内容〉

◎「持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）支援事業」を推進する。

小学校

学 校 名	事　　業　　名（実施テーマ）
新居浜小学校	見つめよう　考えよう　未来へつなげよう　ふるさと新居浜 ～学校ビオトープの学びを中心に～
宮 西 小 学 校	地域とつながり　未来へはばたく　みやにし（人・文化・自然）
金 子 小 学 校	人とつながり自然と触れ合う魅力ある学校づくり
金 栄 小 学 校	金栄いきいきつながりプロジェクト ～地域の方との交流活動を通して～
高 津 小 学 校	ふるさと発見　つなげよう未来へ
浮 島 小 学 校	「共に生きる」
惣 開 小 学 校	持続可能な未来をつくる人材の育成 ～「夢」を広げるＥＳＤの推進～
若 宮 小 学 校	自己を拓き　広げよう　ともに生きる力
垣 生 小 学 校	「社会」「自然」「歴史・文化」とのふれ合いを通して ～命の尊さとともに生きることの素晴らしさを感じられる子～
神 郷 小 学 校	めざそう　神郷　Ｅ環境
多喜浜小学校	多喜浜塩田を未来に伝えよう
泉 川 小 学 校	進めよう！エコ・アクション ～地球環境を守るために、明るい展望をもって気付き、考え、実行する児童の育成～
船 木 小 学 校	ふれあい　～ふるさと船木の森・自然・人～
中 萩 小 学 校	「伝えよう！地域のよさを」
大生院小学校	「つながり」を大切にする子どもの育成 ～人・地域社会・自然との関わりを通して～
角 野 小 学 校	角野タイムトラベル ～ふるさとに誇りをもち、そのよさを発信していける子の育成～
別 子 小 学 校	「学校・地域文化の継承　自然から学ぶ」～ふるさとを守ろう　ふるさとから学ぼう～

中学校

学 校 名	事　　業　　名（実施テーマ）
東　中　学　校	「うぐいす運動」
西　中　学　校	「地域を知り、人とつながり、未来を拓こう」
南　中　学　校	「共生社会」の実現を目指し、自己の生き方を探ろうとする心豊かな生徒の育成
北　中　学　校	地域を知り、地域に学び、地域に発信する
泉 川 中 学 校	地域や社会に生きる一員として公のために行動する
船 木 中 学 校	環境・経済・人権の視点から、持続可能な発展を目指し、私たちはどのように生き抜けばよいのか考えよう。
船 木 中 学 校 ひ び き 分 校	「地域と連携した和太鼓活動」 ～地域に学び、自己の生き方を考える～
中 萩 中 学 校	「自立・共存・交流」 ～地域に学び、自己の生き方を考える～
大生院中学校	伝え合い学び合う生徒の育成 ～人・もの・自然との関わりを通して～
角 野 中 学 校	大人になっても語ろう！角野の誇り
川 東 中 学 校	「地域の暮らしを見つめ、地域や社会の一員としてよりよく生きる」
別 子 中 学 校	「学校・地域文化の継承　自然から学ぶ」～ふるさとを守ろう　ふるさとから学ぼう～

生徒指導

不登校対策に校長を中心に全教職員が一致協力して取り組み、全力を尽してその防止・解決に努めた。

不登校対策検討委員会や関係機関との連携を図り、実態に即した活動を実施した。

昨年度に引き続き本年度も、教育委員会、各学校及び青少年の健全育成団体との連携を図るため、「児童生徒をまもり育てる協議会」を中学校区別に実施した。

各学校と「あすなろ教室」との連携を深め、進路相談会や研修会を実施した。

人権・同和教育

校区別人権・同和教育懇談会開催事業として、基礎研修、学級・学年別研修及び地区別懇談会の三本立で実施した。地区別懇談会は、中学校区ごとに運営委員会を開催して取り組み、小・中学校、保護者、行政、地域住民が協力する取組が定着してきた。

国際・情報化

平成 28 年７～８月に新たに８名のＡＬＴを招致し、計 11 名のＡＬＴと英語指導員（３名）を小・中学校に派遣することにより、生きた英語教育の充実を図ることができた。また、市内全小・中学校がホームページを開設し、広く情報公開に努めている。

1　教職員研修の推進

研修内容の３本柱として、「特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実」「人権・同和教育の充実」「生徒指導の徹底」を挙げ、次のとおり研修に努めた。

（１）重点目標

豊かな人間性や生きる力の育成

（２）最重要課題

ＥＳＤの推進による楽しい学校づくり

（３）研修の内容

ア　特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実

㋐　基礎的・基本的事項を確実に身につけ、個性を生かす学習指導の充実と評価方法の確立に努める。

㋑　児童生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。

㋒　豊かな体験を通して、道徳的実践力の育成と情操教育の充実を図る。

㋓　学校図書館や教育機器(コンピュータ等)の活用による指導法の改善に努める。

㋔　体験的・問題解決的な学習を重視し、ティームティーチングや少人数による授業の実施等、多様な学習指導の工夫に努める。

㋕　授業研究、事例研究等の研究を通して、「生きる力」を育てる実践的指導力の向上を図る。

イ　人権・同和教育の充実

㋐　相互に認め合い、戒め合い、支え合う仲間意識を育て、いじめ等を生まない集団づくりに努める。

㋑　家庭・地域・学校の連携をより深め、人権思想の啓発と高揚を図る。

㋒　困難な条件のもとにある児童生徒の教育条件を整備し、学力の向上と進路保障の体制を整える。

㋓　差別の現実を正しくとらえ、差別を解消する視点を明確にし、問題解決への実践力を身につける同和問題学習の推進に努める。

㋔　小・中学校の連携を図りながら、教職員一人一人の同和教育間の確立と同和問題解決の力量を高める。

ウ　生徒指導の徹底

㋐　いじめ・不登校・非行の問題について、校長を中心に全教職員が一致協力し、全力を尽くしてその防止・解決に努める。

㋑　学習指導と生徒指導の一体化を図り、一人一人のよさを認め、可能性を伸ばすよう指導の改善に努める。

㋒　教職員と児童生徒、保護者との信頼関係を確立し、積極的な生徒指導に努める。

㋓　児童生徒や保護者に対する教育相談を充実し、温かい人間関係のなかで、児童生徒理解に努める。

㋔　学校と家庭・地域社会・関係諸機関等との連携を密にし、協力体制の一層の充実を図る。

（４）研修の日程と協議内容

ア　小・中学校長研修会

４月 12 日(火) 新居浜市教育委員会　平成 28 年度基本方針の説明
平成 28 年度　校長研修会計画

11 月 16 日(水)「生きる」

２月 22 日(水)「学校経営の反省を今後の教育に望むこと」

イ　小・中学校教頭研修会

５月 24 日(火) いじめ・不登校の未然防止に向け、「チームとしての学校」を実現するために、教頭として学校組織をどのように機能させていくか。

８月 25 日(木)「家庭や地域とともに創る学校」を目指し、地域に根ざしたＥＳＤを推進していく上で、家庭や地域社会と連携・協働した教育活動の充実を図るために、教頭としてどのように取り組んでいるか。

ウ　小・中学校主幹教諭及び教務主任研修会

６月 21 日(火)「障がい者差別解消法の施行を受け、特別支援教育を推進していく上で、自校の校内支援体制づくりのために主幹教諭及び教務主任としてどのように取り組んでいるか。」

８月 18 日(木)「新居浜市標準学力調査結果及び Q-U 調査結果から学力の向上と定着について自校の課題を明確にし、主幹教諭または教務主任としてどのような取組をするか。」

エ　小・中学校生徒指導主事研修会

４月 25 日(火)「いじめ・不登校の未然防止のために、各校においてどのような工夫、努力をしようとしているか」

８月 15 日(水)「不登校への対応について」

２月　６日(火)　「いじめ、不登校への取組と次年度への課題」

オ　交通安全指導担当者研修会

４月 18 日(火)　「小・中学生の交通事故の実態とその対策について」

カ　人権・同和教育主任研修会

４月 19 日(火)、５月 19 日(金)、７月 26 日(火)、８月 22 日(月)、１月 19 日(火)、２月 17 日(金)

平成 28 年度人権・同和教育の推進について

・校区別人権・同和教育懇談会の取組について
・校区別人権・同和教育研究協議会の取組について
・新居浜市小中学校人権・同和教育研究大会の取組について
・人権作文の取組について
・共通教材について
・平成 28 年度の人権・同和教育の推進の反省と今後の課題について

キ　教科研修会・中学校区別研修会

６月　８日（水）　小学校教科研修会において授業研究を行った。

６月 15 日（水）　中学校教科研修会において授業研究を行った。

２～３学期　　各中学校区別に小中の連携・小小の連携に重点を置き教科外の授業研究を行った。

ク　新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会の開催

11 月 22 日(木)

小・中学校同日開催とし、小・中の交流を深めた。

【研究主題】「差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか」

小学校　〔会場〕Ａ群　中萩小学校
　　Ｂ群　大生院小学校・垣生小学校
　　Ｃ群　金子小学校

中学校　〔会場〕Ａ群　中萩中学校
　　Ｂ群　川東中学校

２　教育研究所の歩み

20 期の４年次として、確かな学力を育むための実践とふるさと学習の研究に努めた。基礎・基本の定着を図り、わかる授業の徹底と家庭学習の充実により、学力の向上を図る実践研究とふるさと学習の調査研究を行った。

教育研究所員については、20 期において次の体制のもとに実践研究を行った。

ア　新居浜市学力向上推進委員と研修主任とする。

イ　原則１年として再任を妨げない。

ウ　20 期教育研究所の期間は、平成 25 年４月～29 年３月(４年間)とする。

研究結果を、冊子にまとめ、研究成果の共有を図った。

【主な活動】

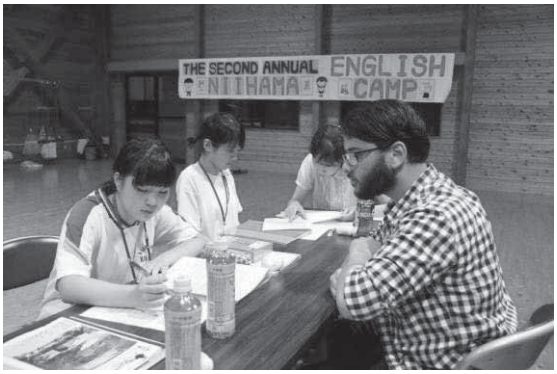
４月 25 日（月）　第１回新居浜市学力向上推進委員会
５月 10 日（火）　第１回新居浜市学力向上推進委員会実践活動部会
５月 23 日（月）　第１回社会科副読本編集委員会
７月 29 日（月）　第２回社会科副読本編集委員会
８月　８日（月）　第３回社会科副読本編集委員会
８月 24 日（水）　第４回社会科副読本編集委員会
１月 24 日（火）　第５回社会科副読本編集委員会
２月 20 日（月）　第２回新居浜市学力向上推進委員会
２月 23 日（木）　第６回社会科副読本編集委員会

３　適応指導教室(あすなろ教室)の歩み

不登校児童・生徒の数が全国的にも、また新居浜市においても増加の傾向にあることから、平成５年９月に青少年センターが旧図書館の一階に移転したのを機会に、同年 10 月から青少年センター内に「適応指導教室」を設置した。当初は、中学校生徒の受入れのみで始まったが、学校教育課所管になった平成 10 年度から、児童の受入れも開始した。

【入級児童・生徒数】

年　　度	人 数（名）	備　　考
平 成 19 年 度	34	うち　児童４名
平 成 20 年 度	16	うち　児童２名
平 成 21 年 度	23	うち　児童４名
平 成 22 年 度	20	うち　児童５名
平 成 23 年 度	19	うち　児童２名
平 成 24 年 度	15	うち　児童２名
平 成 25 年 度	19	うち　児童５名
平 成 26 年 度	22	うち　児童２名
平 成 27 年 度	21	うち　児童２名
平 成 28 年 度	23	うち　児童３名



中学生英語キャンプ

４　教育における国際化への対応

（１）ＡＬＴ（外国語指導助手）による訪問指導

新居浜市では、総務省・文部科学省及び外務省の協力で行っている「ＪＥＴプログラム」（語学指導を行う外国青年招致事業）の事業目的に則りＡＬＴ（外国語指導助手）として、新規に８名を招致した。

ア　趣　旨

各中学校の英語担当教員及び生徒、また、各小学校教員及び児童に、ＡＬＴによる生きた英語に接する機会を提供し、本市の英語教育の充実発展を図り、合わせて国際理解教育推進の一助とする。

イ　訪問期間

平成 28 年４月（１学期初め）～平成 29 年３月（３学期末）

ウ　訪問（派遣）方法

訪問日は、月曜日から金曜日までとする。ＡＬＴ11 名が中学校に常駐。各中学校から計画に従って担当小学校に派遣

エ　ＡＬＴの職務

㋐　英語教師の授業補助（ティームティーチング）
㋑　英語担当の教員の研修（現職教育）
㋒　教材作成の援助
㋓　その他、学校長に指示された職務

オ　成　果

「ＡＬＴとのふれあいや授業を通して、発音やスピーチ能力が高まり、英語に関心をもつ児童生徒が増えた。」あるいは、「自分の英語力を試そうとする生徒が増え、コミュニケーション能力が育ってきている。」等の学校からの報告がある。このようなＡＬＴとのティームティーチングによる授業を通して生きた本場の英語を体験させ、学ぶ楽しさと国際理解を深めることができた。

（２）　第 27 回新居浜市中学生英語スピーチコンテストの開催

英語によるコミュニケーションや表現に興味をもたせ、国際化社会に対応できる生徒を育成することをねらいに、新居浜市中学生英語スピーチコンテストが、市内英語教科会の協力のもとに開催された。

○　主　催　　新居浜市教育委員会　　新居浜ライオンズクラブ
○　日　時　　平成 28 年９月 23 日（金）
○　会　場　　新居浜市市民文化センター中ホール
○　弁　士　　10 名
○　題　材　　自由（５分以内）

（３）小学校英語指導員による訪問指導

英語指導員３名が市内の全小学校訪問指導し、外国語活動や総合的な学習の時間などを活用して、小学生の英語活動や英会話学習、国際理解教育の指導に当たっている。

5　中学生による国際交流事業

（1）趣旨

21 世紀を担う中学生が国際交流を通して、その国の文化・経済・生活習慣・国民性等を理解して、友好親善の絆を結ぶとともに、国際的視野の拡大を図り、国際感覚を磨き、さらには本市の活性化に通じる諸活動を推進するため、昭和 61 年度から中高生を中心に海外派遣研修事業を実施している。なお、新居浜市国際交流推進委員会の審議を経て、平成 19 年度からは中学生海外派遣事業としてアメリカ合衆国フランクリン市へ中学生を派遣することになった。

（2）実施状況

	訪問国（都市）	名称	日程	訪問者
61	中国 （泰安・済南・徳州）	日中友好の翼 ニイハマ訪中団	7／23 ～ 7／31	市長、教育委員、 市議会議員、教師等 11 人 中高生 20 人
62	東南アジア （シンガポール・バンコク）	東南アジア 友好のかけ橋‘87 団	7／23 ～ 7／29	団長（教育長） 教師等６人 中高生 25 人
63	韓国	‘88 日韓友好団	8／1 ～ 8／8	団長（教育長） 教師等６人 中高生 30 人
元	アメリカ （ロサンゼルス）	太平洋横断 夢の使節‘89 団	7／30 ～ 8／8	団長（助役） 教師等６人 中高生 30 人
2	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Hello.Australia 希望とふれあい‘90	7／26 ～ 8／3	団長（教育委員長） 教師等６人 中高生 30 人
3	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Friendship with Australians 青春・発見・感動‘91	7／25 ～ 8／1	団長（教育委員長） 教師等８人 中高生 30 人
4	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Good day with Aussie‘92	7／27 ～ 8／3	団長（収入役） 教師等８人 中高生 30 人
5	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	A good will mission to Australia‘93	7／29 ～ 8／5	団長（教育委員長） 教師等７人 中高生 25 人
6	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Jump into the life of Australia‘94	7／28 ～ 8／4	団長（教育委員長） 教師等７人 中高生 25 人
7	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	Lets make wonderful friendship in Australia‘95	7／26 ～ 8／3	団長（助役） 教師等６人 中高生 25 人
8	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	Lets go to Australia to find the same smiles！‘96 ―同じ笑顔を探して―	7／29 ～ 8／6	団長（教育委員長） 教師等７人 中高生 25 人
9	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	Making new friends in the land of the Southrn Cross ―南十字星の下で 友情を誓って―	7／28 ～ 8／5	団長（教育委員長） 教師等５人 中高生 25 人
10	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	Put our Hearts Together into One ―深いきずなをこの一時で―	7／27 ～ 8／4	団長（市長） 教師等６人 中高生 25 人
11	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	In Australia,Lets Shine Together！1999☆ ―みんな輝いて―	7／26 ～ 8／3	団長（教育委員長） 教師等５人 中高生 25 人

	訪問国（都市）	名称	日程	訪問者
12	オーストラリア（シドニー・キャンベラ）	Spread your Wings. Lets Go To A New Age ―翔け 未来へ―	7／26 ～ 8／3	団長（教育委員長） 教師等５人 中高生 25 人
13	オーストラリア（シドニー・キャンベラ）	BuildingBridges.LetsMake Borderless Countres. ―国境をこえて…―	7／26 ～ 8／3	団長（教育委員） 教師等５人 中高生 25 人
14	韓国（ソウル）	韓国訪問団友好新風	8／21 ～ 8／25	団長（教育長） 教師等６人 中高生 45 人
15	中止			
16	韓国（ソウル）	「日韓友好輝団‘04」 ―輝く自分を見つけて―	8／9 ～ 8／13	団長（教育委員長） 教師等６人 中高生 45 人
17	韓国（ソウル）	「日韓栄光親善団‘05」 ―全ての隔たりを越えて―	8／8 ～ 8／12	団長（教育委員長） 教師等６人 中高生 45 人
18	韓国（ソウル）	「日韓新世代交流団‘06」 ―未来へ生かすこの時を―	8／1 ～ 8／6	団長（中学校長会長） 教師等６人 中高生 41 人
19	アメリカ合衆国ウィスコンシン州（フランクリン市）	Dream Chaser 2007 ―笑顔は世界の共通語―	10／31 ～ 11／9	代表 指導主幹 教師等２人 中学生 20 人
20	アメリカ合衆国ウィスコンシン州（フランクリン市）	Lets Make Friends 2008 ―国境を越えた仲間づくり―	10／28 ～ 11／7	代表 指導主幹 教師等２人 中学生 20 人
21	中止			
22	アメリカ合衆国ウィスコンシン州（フランクリン市）	Friendship Link 2010 ―世界はひとつ 友情の輪―	10／30 ～ 11／9	代表 指導主幹 教師等２人 中学生 19 人
23	アメリカ合衆国ウィスコンシン州（フランクリン市）	Imagine What We Can Do Together ―みんな友達―	10／29 ～ 11／8	団長 教育長 教師等２人 中学生 19 人
24	アメリカ合衆国ウィスコンシン州（フランクリン市）	The Bonds of Friendships Link the World ―絆が世界を結ぶ―	10／27 ～ 11／6	代表 指導主幹 教師等２人 中学生 21 人
25	アメリカ合衆国ウィスコンシン州（フランクリン市）	Friendships Without Borders ―国境のない友情―	10／26 ～ 11／5	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 18 人
26	アメリカ合衆国ウィスコンシン州（フランクリン市）	Smile Link connect the world 2014 ―世界を繋ぐ愛顔の輪―	10／25 ～ 11／4	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 20 人
27	アメリカ合衆国ウィスコンシン州（フランクリン市）	Blooming warm smiles around the world 2015 ―世界中に咲き誇れ、笑顔の花―	10／24 ～ 11／3	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 20 人
28	アメリカ合衆国ウィスコンシン州（フランクリン市）	Love and Friendship Across the Ocean 2016 ー愛と友情は海を越えるー	10／29 ～ 11／8	団長 教育長 指導主幹 教師 中学生 20 人

６ 奨学金等

（１）新居浜市入学準備金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

高等学校または高等専門学校に入学しようとする者の保護者で、入学準備金の調達が困難であり、次の各号に該当するもの

ア　本市に住所を有し、引き続き２年以上居住している者

イ　高等学校または高等専門学校への入学が確実である者の保護者

【基金の額】

350 万円

【貸付け金額】

50,000 円

【返還方法】

貸付金を貸し付けた月から起算して５月据え置き 31 月以内に無利子で月賦による返還

【貸付け状況】　（単位：円）

年　度	貸付者（人）	貸 付 額	年　度	貸付者（人）	貸 付 額
19	1	50,000	24	3	150,000
20	1	50,000	25	4	200,000
21	2	100,000	26	2	100,000
22	1	50,000	27	2	100,000
23	1	50,000	28	2	100,000

（２）新居浜市奨学資金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

３年以上本市に在住する者の子弟であって、高等学校、高等専門学校、大学又は専修学校（専門課程）に在学し、その学資の支弁が困難であり、次の各号に該当するもの

ア　学業が優秀で性行の善良な者

イ　身体の健康な者

ウ　他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

１億 3,400 万円

【貸付け金額】

ア　高等学校の生徒……卒業まで毎月 8,000 円

イ　高等専門学校の学生……１年から３年まで毎月 10,000 円

４年から５年まで毎月 18,000 円

ウ　大学（短期大学を含む。）の学生

又は専修学校（専門課程）の生徒……毎月 26,000 円

【返還方法】

卒業後満１年後から 15 年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け状況】　（単位：円）

区分／年度	高　等　学　校		高 等 専 門 学 校		大　　学		計	
	貸付者（人）	貸付額	貸付者（人）	貸付額	貸付者（人）	貸付額	貸付者（人）	貸付額
19	2	192,000	0	0	17	5,304,000	19	5,496,000
20	1	96,000	0	0	11	3,432,000	12	3,528,000
21	4	384,000	1	216,000	11	3,432,000	16	4,032,000
22	4	384,000	1	120,000	10	3,120,000	15	3,624,000
23	5	480,000	1	120,000	12	3,744,000	18	4,344,000
24	5	480,000	1	216,000	15	4,914,000	21	5,610,000
25	5	480,000	2	336,000	11	3,432,000	18	4,248,000
26	3	216,000	1	120,000	18	5,616,000	22	5,952,000
27	2	192,000	1	120,000	14	4,368,000	17	4,680,000
28	3	288,000	1	216,000	8	2,496,000	12	3,000,000

（３）新居浜市青野記念奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

３年以上本市に在住する者の子弟であって、新たに大学（修業年限４年以上）へ入学したもの（短期大学、高等専門学校又は専修学校から大学へ編入学したものを含む。）で、その学資の支弁が困難であり、次の各号に該当するもの

ア　学業が優秀で性行の善良な者

イ　身体の健康な者

ウ　他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

7,000 万円

【貸付け・給付金額】

４年間を限度として毎月 32,000 円（うち 16,000 円は貸付金、16,000 円は給付金とする。）

※平成５年度以前決定した者については、毎月 20,000 円（うち 10,000 円は貸付金、10,000 円は給付金）

【返還方法】

卒業後満１年後から 15 年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】　（単位：円）

区分／年度	大学		備考
	貸付者（人）	貸付額	
19	4	1,536,000	うち給付金 768,000
20	4	1,536,000	うち給付金 768,000
21	4	1,536,000	うち給付金 768,000
22	4	1,536,000	うち給付金 768,000
23	4	1,536,000	うち給付金 768,000
24	4	1,536,000	うち給付金 768,000
25	4	1,536,000	うち給付金 768,000
26	4	1,536,000	うち給付金 768,000
27	4	1,536,000	うち給付金 768,000
28	4	1,536,000	うち給付金 768,000

（４）新居浜市特別奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

３年以上本市に在住する者の子弟であって、大学院（修士課程・博士課程）に在学するもの又は海外の大学に在学するもので、次の各号に該当するもの

ア　学業が優秀で中正妥当な性格で特に研究熱心な者

イ　留学生は、高等学校卒業者で 30 歳未満の者

ウ　学資が乏しく修学困難な者

エ　身体の健康な者

オ　他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【貸付け・給付金額】

修士課程及び留学生は２年間、それ以外は５年間を限度として毎月 30,000 円（うち 20,000 円は貸付金、10,000 円は給付金とする。）

【返還方法】

卒業後満１年後から 10 年間以内に無利子で半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】　（単位：円）

区分／年度	大学院・留学生		備　考
	貸付者（人）	貸 付 額	
19	1	360,000	うち給付金 120,000
20	0	0	うち給付金 0
21	2	720,000	うち給付金 240,000
22	3	1,080,000	うち給付金 360,000
23	1	360,000	うち給付金 120,000
24	2	660,000	うち給付金 220,000
25	4	1,320,000	うち給付金 440,000
26	3	1,080,000	うち給付金 360,000
27	3	840,000	うち給付金 280,000
28	3	780,000	うち給付金 260,000

7　新居浜市寺尾音楽教育振興基金

【設　置】

故　寺尾貞子氏の遺志を継がれた遺族の寄附金により学校音楽教育の振興を図ることを目的として、新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業の経費に充てるため、平成元年度に設置した。

【基金の額】

1,000 万円

【学校音楽教育振興資金】

学校音楽教育振興資金は、次の各号に掲げる事業を行う新居浜市小・中学校音楽振興会に補助する。

ア　学校音楽教育における教職員の資質向上のための研修事業

イ　特に、学校音楽教育発展に貢献し、その功績が顕著な者の表彰

ウ　その他新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業で教育委員会が承認する事業

【運用収益の処理】

基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、学校音楽教育振興資金に充てるものとする。

教職員の研修に関する事業

音楽指導者講習会　　平成 28 年 8 月 20 日（土）　新居浜市立高津小学校多目的ルーム

8　新居浜市工藤交通災害遺児修学基金

【設　置】

故　工藤圓治氏の寄付金により、交通災害遺児に対する修学援助を図ることを目的として、平成５年度に設置した。

【基金の額】

1,000 万円

【修学援助】

交通災害遺児（義務教育就学中の児童及び生徒）に対し、図書券を支給

【支給状況】　（単位：人）

区分／年度	小学校 対象者	中学校 対象者	計
24	1	4	5人 15,000円
25	1	2	3人 9,000円
26	1	1	2人 6,000円
27	4	1	5人 15,000円
28	4	3	7人 21,000円

9　就学援助費

【趣　旨】

学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対して必要な援助を行う。

【援助の対象】

新居浜市に住所を有し、小学校又は中学校に在学する児童生徒の保護者で生活保護法第６条第２項に規程する要保護者及び要保護者に準ずる程度に困窮している者

【就学援助の種類】

学校給食費、通学費、修学旅行費、校外活動費(宿泊を伴わないもの)、校外活動費(宿泊を伴うもの)、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費等

【就学援助の状況】　（単位：円）

区分／年度	小学校		中学校		計	
	対象者	援助金	対象者	援助金	対象者	援助金
18	541	30,263,504	236	20,125,180	777	50,388,684
19	528	29,736,266	272	21,867,494	800	51,603,760
20	550	31,268,587	284	23,944,412	834	55,212,999
21	568	32,112,257	297	23,958,257	865	56,070,514
22	549	32,913,315	320	27,268,325	869	60,181,640
23	552	32,533,592	356	30,983,202	908	63,516,794
24	546	32,731,536	370	32,756,047	916	65,487,583
25	524	31,265,030	324	28,449,877	848	59,714,907
26	535	31,849,307	335	27,786,536	870	59,635,843
27	577	35,908,625	312	26,181,819	889	62,090,444
28	612	37,055,597	315	25,735,513	927	62,791,110

10　特別支援教育就学奨励費

【趣　旨】

市町村が特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学のため必要な援助をし、もって特別支援教育の振興の資することを目

的としている。

【援助の対象】

市内の小学校及び中学校の特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者

【就学奨励の種類】

学校給食費、通学費、職場実習交通費、交流及び共同学習交通費、修学旅行費、校外活動参加費（宿泊を伴わないもの）、校外活動参加費（宿泊を伴うもの）、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費等

【就学奨励の状況】　（単位：円）

区分／年度	小学校		中学校		計	
	対象者	奨励費	対象者	奨励費	対象者	奨励費
18	40	1,085,946	12	502,556	52	1,588,502
19	38	1,059,076	17	529,097	55	1,588,173
20	37	1,075,878	15	601,833	52	1,677,711
21	37	1,019,641	21	766,194	58	1,785,835
22	50	1,533,286	16	526,473	66	2,059,759
23	51	1,346,323	19	659,141	70	2,005,464
24	58	1,634,988	25	990,264	83	2,625,252
25	67	1,876,018	27	973,808	94	2,849,826
26	82	2,304,020	25	846,979	107	3,150,999
27	78	2,147,758	21	681,789	99	2,829,547
28	89	2,395,170	23	769,297	112	3,164,467

11　幼稚園就園奨励事業

【目　的】

幼稚園教育の振興に資するため、国の補助を受け、幼稚園に就園する満３歳児から５歳児の保護者の所得に応じた経済的負担の軽減と公私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図る。

【補助金の交付状況】

区分＼年度		22	23	24	25	26	27	28
対象園児（人）	市立	12	9	6	9	6	－	－
	私立	860	841	901	906	990	991	978
	（計）	872	850	907	915	996	991	978
補助金額（減免額）（千円）	市立	240	180	120	180	117	－	－
	私立	30,359	30,117	30,902	31,240	45,623	83,367	85,315
	（計）	30,599	30,297	31,022	31,420	45,740	83,367	85,315

【平成 28 年度所得階層別内訳】

区分	所得階層区分	第１子			第２子			第３子		
		補助単価	対象園児	補助金額（減免額）	補助単価	対象園児	補助金額（減免額）	補助単価	対象園児	補助金額（減免額）
私立	Ⅰ　従来条件									
	市民税非課税世帯（生活保護世帯を含む）	168,000	7	1,176,000	186,000	8	1,488,000	204,000	8	1,547,000
	市民税所得割課税額非課税世帯	168,000	6	1,008,000	186,000	9	1,612,000	204,000	3	612,000
	市民税の所得割課税額が 77,100 円以下となる世帯	50,400	77	3,754,800	127,200	49	6,084,400	204,000	9	1,717,000
	市民税の所得割課税額が 211,200 円以下となる世帯	39,600	388	14,793,900	121,800	247	29,160,400	204,000	28	5,347,500
	上記区分以外の世帯	―	―	―	102,000	100	9,528,500	204,000	12	2,346,000
	小計		478	20,732,700		413	47,873,300		60	11,569,500
	◎ひとり親世帯等の特例									
	市民税非課税世帯（生活保護世帯を含む）	204,000	9	1,836,000	204,000	5	1,017,000	204,000	4	816,000
	市民税所得割課税額非課税世帯	204,000	0	0	204,000	1	204,000	204,000	0	0
	市民税の所得割課税額が 77,100 円以下となる世帯	142,800	5	654,500	204,000	2	408,000	204,000	1	204,000
	小計		14	2,490,500		8	1,629,000		5	1,020,000
合計			492	23,223,200		421	49,502,300		65	12,589,500

12　私学助成

就学前教育の充実を図るため、私立幼稚園の運営に対し助成を行っている。

９園　4,667,940 円

13　学校保健

（１）学校職員・児童生徒の健康診断の拡充

近年、飽食の時代になり成人に多く見られている病気が児童生徒にも多く発生している。そこで、検診機会の少ない児童生徒に対し、集団検診を実施することで早期発見・早期治療に努める。また、教職員においても各種検診を実施している。

（２）学校保健委員会の推進

心身共に健康でたくましく生きる児童生徒の育成に向け、学校・地域社会・家庭との連携を深め、自ら積極的に健康づくりに取り組むため、各校の学校保健委員会の充実と有効活用に努めている。

（3）健康・安全教育の推進

児童生徒が健康でなければ楽しい学校生活は送れない。そこで疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、交通安全、学校内の災害発生防止に向け、健康・安全教育を推進している。

（4）日本スポーツ振興センター災害救済給付制度の加入促進

日本スポーツ振興センター災害救済給付制度へは、原則全員加入している。

【体位測定表】　（平成 28 年度）

			人数（人）	身長（cm）	体重（kg）
				平　均	平　均
幼　稚　園	4　歳	男	35	103.2	16.4
		女	27	102.5	15.8
	5　歳	男	45	110.1	19.3
		女	43	110.2	19.1
小　学　生	6　歳	男	524	116.7	21.5
		女	535	115.1	20.6
	7　歳	男	549	122.4	24.0
		女	541	121.5	23.3
	8　歳	男	599	128.1	27.4
		女	506	127.4	26.6
	9　歳	男	526	132.7	30.2
		女	481	133.3	29.7
	10　歳	男	530	138.2	33.9
		女	504	139.6	34.0
	11　歳	男	518	144.6	38.5
		女	531	146.1	39.0
中　学　生	12　歳	男	581	152.8	44.3
		女	511	151.4	44.3
	13　歳	男	544	159.2	48.2
		女	499	154.1	47.4
	14　歳	男	579	164.4	53.1
		女	556	155.8	49.7

【歯科検診成績】　（平成 28 年度、単位：人）

区　　分	検 査 人 員	む　　し　　歯		その他歯・口腔疾患異常者数
		処置完了者	未処置ある者	
幼　稚　園	134	16	34	2
小　学　校	6,298	2,045	2,021	822
中　学　校	3,224	1,216	656	524
計	9,656	3,277	2,711	1,348

【脊柱側わん症検診】　（平成 28 年度、単位：人）

区　　分	検 査 人 員	一次検診異常者数
小　　学　　校	1,028	23
中　　学　　校	1,071	60
計	2,099	83

●検査対象者は小学校５年生、中学校１年生全員
モアレ写真撮影による（一次検診）

【血液検査結果】　（平成 28 年度、単位：人）

区　　分	検 査 人 員	一次検診異常者数	二次検診異常者数
小　　学　　校	1,133	411	50
中　　学　　校	1,214	341	41
計	2,347	752	91

●検査対象者は小学校４年生、中学校１年生全員
（小学校５年生、中学校２年生で昨年異常だった者の再検査を含む。）

14　学校体育活動の推進

学校体育団体育成と体育行事の充実推進

学校体育の推進を図る新居浜市小学校体育連盟及び新居浜市中学校体育連盟においては、充実した事業計画のもとに的確な運営を行い、多くの実績をあげた。

【新居浜市小学校体育連盟】

体育活動を通しての児童の健全育成については、新居浜市水泳記録会・新居浜市陸上競技会・親善球技大会を中心として実施した。記録会においては、多くの児童が自己記録を更新するための継続した練習を行い、能力及び体力の向上に大きく貢献した。また、親善球技大会では、サッカーの技能を高めるとともに、スポーツの楽しさや学級のチームワークを育成することにも大きく役立った。

【新居浜市中学校体育連盟】

各部各種目ともに活発な推進活動が行われ全体的に成果が上がっている。

公式大会として市長旗・杯争奪新居浜市中学校選手権大会・新居浜市中学校総合体育大会・新居浜市中学校新人体育大会を開催し、活動及び指導内容が向上し対外的にも力を発揮している。中学校駅伝大会においては、県駅伝が平成27年度に引き続き、国領川河川敷コースで開催され、男子の部・女子の部で昨年同様アベック優勝した西中学校がともに３度目の全国大会に出場し、男子は昨年より１つ順位を上げ３位入賞、女子も２年連続の９位と健闘した。

行事実績

【新居浜市小学校体育連盟】

小学校教職員ソフトボール大会	５月７日(土)	河川敷ソフトボール場	250人
小学校教職員バレーボール大会	６月11日(土)	市民体育館他	250人
小学校体育実技講習会	６月６日(月)、８月22日(月)		
	11月18日(金)	山根公園屋内プール他	100人
小学校水泳記録会	７月22日(金)	角野小・垣生小	550人
小学校陸上運動記録会	10月21日(金)	河川敷陸上競技場	400人
小学校親善球技大会	２月１日(水)	各小学校（会場）	600人

【新居浜市中学校体育連盟】

市長旗・杯争奪中学校選手権大会	４月23日(土)、29日（金)、30日(土)		
		市営野球場他	1,400人
中学校総合体育大会	６月８日(水)、９日(木)、11日（土)		
		市営野球場他	1,900人
中学校新人体育大会	10月４日(火)、５日(水)、８日（土)		
		市営野球場他	1,500人
中学校駅伝競走大会	11月３日(木)	河川敷陸上競技場周辺	400人



小学校陸上運動記録会



中学校駅伝競走大会

15　人権・同和教育実践の状況

（1）新居浜市小学校人権・同和教育研究大会

○　期　　日　　平成 28 年 11 月 22 日（木）

○　会　　場　　A群　中萩小学校

B群　大生院小学校・垣生小学校

C群　金子小学校

○　研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

○　研究授業

群	会　　場	分科会		教科等	資料名	授業者
A	中萩小学校	低	1年	道徳	くれよんのくろくん	上杉　香織
	泉川小学校	中	3年	道徳	いいち、にいっ、 いいち、にいっ	佐々木美晴
	泉川小学校	高	6年	道徳	山の粥	相原さやか
B	大生院小学校	低	2年	道徳	たかしくんの黄色いズボン	神野久仁子
	神郷小学校	中	3年	道徳	ぼくのなみだ	加藤　清幸
	垣生小学校	高	6年	道徳	山の粥	杉本　法郎
C	金子小学校	低	2年	道徳	森のともだち	森下　彩華
	惣開小学校	中	4年	道徳	いっしょになって、 わらっちゃだめだ	豊島　安希
	惣開小学校	高	6年	道徳	山の粥	工藤　奏生

（2）新居浜市中学校人権・同和教育研究大会

○　期　　日　　平成 28 年 11 月 22 日（木）

○　会　　場　　A群　中萩中学校

B群　川東中学校

○　研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

○　研究授業

群	会場	分科会	教科等	資料名	授業者
A	中萩中学校	1年	特別活動	ちがいのちがい	中野　　徹
		2年	道徳	三月三日の風	善家　美佳
		3年	道徳	統一応募用紙	堀江　　歩
B	川東中学校	1年	道徳	山の粥	猪川　智子
		2年	道徳	それぞれの音色	大垣　貴裕
		3年	特別活動	性的マイノリティーの人権	原　　富美

発達支援課の主な施策と実績

地域における発達支援及び特別支援教育の中核的機関として設置した「こども発達支援センター」を中心に、総合相談、臨床心理士などによる幼稚園、保育所、小・中学校への巡回相談や発達検査の実施、個別の教育支援計画の作成、引き継ぎなど関係機関とのネットワークの強化を図りながら、子どもの発達の支援に向け諸事業を展開した。関係機関を包括した新居浜市地域発達支援協議会において、就学前の支援のあり方について検討を進めた。また、個別療育、小集団療育、構音訓練、個別ＳＳＴ等を内容とする早期療育通園事業の運営を実施し、心身の発達に課題のある就学前の幼児に対し、日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の指導を行い、早期療育体制の充実強化に取り組んだ。さらに、発達障がい等の特性の理解や効果的な支援のあり方に関する研修会や発達障がい支援者のための実践セミナー、特別支援教育ハンドブックの活用等により、関係職員の専門性、実践力の向上や発達障がい等の理解啓発を図った。

１　特別支援教育支援員の配置状況

障がいや発達課題のある児童・生徒等が在籍する小・中学校等において、学校生活における介助や学習指導の支援を行うために特別支援教育支援員を配置し、児童生徒等や教員を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童生徒等の学習効果を高め、学校・園生活へのよりよい適応を図った。

種　別	目　　的	人数	配置学校
学校生活介助員	重度の障がいがある児童生徒、幼稚園児が市内の学校・市立幼稚園に在籍し、学校等において、安全確保や学級運営に重大な困難がある場合、園児、児童生徒に必要な介助を実施することにより学校生活を円滑にすることを目的とする。	幼稚園（４人）	神郷・王子
		小学校（72 人）	新居浜・宮西・金子・金栄・高津・浮島・惣開・垣生・神郷・多喜浜・泉川・船木・中萩・大生院・角野
		中学校（18 人）	東・泉川・船木・大生院・角野・川東
学校支援員	発達障がい等のある児童が在籍する通常の学級において、生活や学習上の困難を有する児童に対し、学習の支援を行うことにより学習効果を高め、学校生活への適応を図ることを目的とする。	小学校（14 人）	新居浜・宮西・金子・金栄・高津・浮島・惣開・若宮・垣生・神郷・多喜浜・泉川・船木・中萩・大生院・角野

２　教育支援委員会の開催状況

児童等の心身の障がい及び発達課題の個々の状況に応じ、適切な就学等の支援について必要な調査及び検討を行った。

開催回数	判断依頼数
７回	282 件

3　新居浜市地域発達支援協議会の開催状況

地域発達支援協議会では、就学前の各機関の支援の在り方を協議するとともに、アンケート調査を実施し、就学前における支援の在り方について検討を進めた。

開催日	協　議　内　容
7月27日	平成27年度の発達支援課の主な施策と実績について 協議会等の開催計画について 就学前における支援について
2月10日	今後の新居浜市の就学前における支援について
専門部会 10月6日	就学前における支援の在り方と各施設の役割 アンケートの検討

4　総合相談の実施状況

障がいや発達課題のある子どもへの育児や発達、就学について保護者が抱いている不安や疑問について相談に応じ、適切な支援へつなげた。また、必要に応じて、学校、園や医療機関と調整を行うなど関係機関との連携を図った。

実施人数（延）	相　談　内　容
幼児　　217人（　384人）	子ども理解、障がい、発達障がい、就学相談、入園相談、不適応、登園しぶり、ＳＦ新規作成（83人）、ＳＦ見直し（27人）、引継ぎ実施（保育園・幼稚園などへ19人・小学校へ70人）
小学生　209人（　482人）	障がい、発達障がい、不登校、その他（担任不信、いじめ等） ＳＦ新規作成（22人）、ＳＦ見直し（61人）、引継ぎ実施（中学校へ29人）
中学生　　73人（　226人）	いじめ、障がい、発達障がい、進路相談、不適応 ＳＦ新規作成（１人）、ＳＦ見直し（49人）、引継ぎ実施（高校へ19人）
高校生　　14人（　25人）	適応相談、進路相談、障がいの理解と支援、ソーシャルスキル， ＳＦ見直し（１人）、引継ぎ実施（大学へ１人）
計　　511人（1,117人）	



心理アセスメント講座



第１回特別支援教育研修会（H28.7.2）

5　巡回相談の実施状況

保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校における障がいや発達課題のある子どもの早期発見、具体的支援方策の協議、相談を通して教職員のスキルアップを図るとともに、保護者や関係機関との情報の共有等により、信頼関係の構築を図った。

<table>
<tr><th>実施延人数（内訳）</th><th>相　談　内　容</th></tr>
<tr><td>保育所：137 人
・５歳児　16 人
・４歳児　41 人
・３歳児　41 人
・２歳児　27 人
・０～１歳児　12 人</td><td rowspan="2">・落ち着きがない
・こだわりがない
・気持ちのコントロールができない
・集団行動がとりにくい
・他児とのかかわりがうまくいかない
・言葉の遅れ
・人への関心が薄い
・全体的な発達の遅れがある
・切り替えしにくい
・指示が伝わりにくい
・かんしゃくを起こす</td></tr>
<tr><td>幼稚園：29 人
・５歳児　７人
・４歳児　11 人
・３歳児　11 人</td></tr>
<tr><td>小学校：425 人
・１年生　68 人　・２年生　93 人
・３年生　87 人　・４年生　88 人
・５年生　74 人　・６年生　15 人</td><td>・学習面の遅れ　・指示理解ができにくい
・集団行動が苦手　・集中力が続かない
・こだわりが強い　・衝動性がある
・話がきけない　・多動である</td></tr>
<tr><td>中学校：75 人　・１年生　31 人
・２年生　34 人　・３年生　10 人</td><td>・特性理解について
・支援方法について</td></tr>
<tr><td>合計　666 人</td><td></td></tr>
</table>

6　聴覚障がい児相談事業の実施状況

○日　　時　　月１回　９時 30 分～16 時
○場　　所　　こども発達支援センター
○目　　的　　聴覚の障がいや聞こえや言葉の獲得に課題のある子どもたちが、より豊かに自尊心をもって自立した生活ができることを目指す。
○内　　容　　聴覚の発達の相談・聴覚の発達に必要な指導療育（手話等）に関すること
　　保護者への支援及び通所機関への助言と支援
○相　談　員　　愛媛県立松山聾学校　教諭　高須賀　妙子
○相談延人数　　60 人

7　発達検査の実施状況

発達の特徴やバランス、得意・不得意な点を把握し、具体的なかかわり方や個々の状態に応じた学習方法等の支援へつなげる。

幼　児	小学生	中学生	高校生	計
105 人	61 人	５人	０人	171 人

8　早期療育通園事業（親子通園事業）の実施状況

発達に課題のある未就学児に対して、日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の相談、指導、療育などを行うことによりその発達を支援し、かつ助長するとともに、その保護者に対して家庭生活における諸問題についての相談指導を行った。

（１）事業の概要

教室名	教室実施曜日	登録者数	主な療育内容
ことばの教室	水・木・金	112 人	構音訓練、個別療育、個別ＳＳＴ
育ちの教室	水・木・金	68 人	小集団療育、集団ＳＳＴ

（２）　事業実施状況　　（延利用人数、単位：人）

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ことばの教室	15	55	150	145	143	77	140	145	119	131	145	38	1,303
育ちの教室	15	79	120	90	90	41	69	91	69	84	94	21	863

（３）保護者会の開催状況

開催日	内　　容
5月 17 日	就学について
6月 28 日	子どもの発達と療育について
11 月８日	インリアルアプローチについて
1月 17 日	ムーブメント教育療法

9　５歳児発音検査の実施状況

小学校入学に向けて実施する就学時健康診断に先立ち、保育所・幼稚園に出向き発音検査を実施した。構音を獲得できていない幼児に対し、二次検査、構音指導につなげた。

○実施者数　1,079 人

（うち　二次検査実施者数　148 人）

（うち　構音指導実施者数　 19 人）

10　ペアレントトレーニングの実施状況

新居浜市早期療育通園事業と保健センターフォローアップ教室を利用する保護者が社会性、コミュニケーションの発達に課題のある子どもの特性を知り、子どもへの関わり方について具体的に指導を受けた。

○日　時　第１回目　平成 29 年１月 28 日（土）９時 30 分～11 時 30 分

第２回目　平成 29 年２月 18 日（土）９時 30 分～11 時 30 分

○内　容　第１回目　ペアレントトレーニングとは・行動分析

第２回目　ほめる・無視のコツ（講習とロールプレイ）

○講　師　愛媛県立新居浜病院小児科医師　大藤　佳子

○参加者　第１回目　20 人　　第２回目　14 人

11　研修会等の開催状況

講演会や研修会の開催を通して、障がいや発達課題のある子どもの特性理解や実態把握の方法、具体的な支援の在り方の理解を深め、専門性と実践力を高めることができた。また、発達障がいや特別支援教育に関する地域社会の理解の向上を図った。

（１）第１回特別支援教育研修会

○日　時　　平成 28 年７月２日（土）９時 30 分～15 時 30 分

○場　所　　別子銅山記念図書館　ホール

○目　的　　発達障がいについて理解を深めるとともに、支援を必要とする幼児の気づき、適切な支援へつながることができるようにする。
○参加者　　36人（幼稚園教諭・保育士・関係機関職員）
○内　容　　演題「幼児の困り感に寄り添う支援について　～よりよい支援を目指して～」
【講演１】「なぜ！！今、保育カウンセリングなのか」
・現代の子どもを取り巻く環境　・育児能力の低下
・ライフスキル　・情報化社会
【講演２】「幼児の困り感に寄り添う支援について」
・保育カウンセリングの意義と基本姿勢、２つのアプローチ
・よりよい支援・連携に必要なこと
【講演３】一人ひとりの発達に応じた教育のあり方
【講演４】事例を出し合い、支援について討議（グループワーク）
○講　師　　千葉大学教育学部　教授　冨田　久枝

（２）特別支援教育講演会
○日　時　　平成28年８月１日（月）9時30分～12時30分
○場　所　　市民文化センター　大ホール
○目　的　　小・中学校教職員が、特別支援教育の充実に当たり、校内支援体制を整え、組織的・計画的に取り組むため、特別支援教育の最前線で活躍している講師を招き、特別な支援を必要とする児童・生徒に対する適切な理解と将来像を見すえた支援の在り方を学習する機会とする。
○参加者　　563人　　小学校職員：317人　　中学校職員：195人
その他教育関係者：９人　保護者・一般参加者　42人
○内　容　　発達障がいと障害者差別解消法について
（ディスレクシア、びんちゃんの場合　映画上映）
○講　師　　砂長　美ん

（３）発達支援スキルアップ連続講座（前期）
○日　時　　平成28年８月29日（月）・30日（火）10時～15時
○場　所　　新居浜工業高等専門学校　視聴覚室
○目　的　　発達障がいのある子どもの支援者が、的確な実態の把握の方法や、背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。
○参加者　　１日目69人　２日目62人（小中学校職員・幼稚園保育園職員・関係機関職員）
○内　容　　演題「これからの授業に生きる必要な「学び」とは～「内面の育ち」を支援する～」
○講　師　　愛媛大学教育学部　教授・愛媛大学教育学部附属特別支援学校長　吉松　靖文

（４）発達支援スキルアップ連続講座（後期）
○日　時　　平成29年１月５日（木）・６日（金）9時30分～15時30分
○場　所　　市民文化センター　　大会議室
○目　的　　発達障がいのある子どもを支援する者が、的確な実態把握の方法や、背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。
○参加者　　１日目　65人（小中学校職員・幼稚園保育園職員・関係機関職員）
２日目　71人（小中学校職員・幼稚園保育園職員・関係機関職員）
○内　容　　乳幼児期の子育てと母親支援
特別支援教育の最新の動向
読み書き障がい：ディスレクシア
心の支援：ストレス対策
○講　師　　特別支援教育士　スーパーバイザー　渡部　徹

（５）心理アセスメント講座

○目　的　　いろいろな面から発達課題のある子どもをとらえ、その支援を実践するためには、学校教職員の教育的対応の強化が必要となってくる。そのため発達検査の基礎を学習したうえで、事例検討から児童生徒の現状や生育過程や発達検査のプロフィールからわかる認知特性をふまえ、課題や解決策を学ぶ。

○日時及び研修内容及び参加者

開催日時	研修内容	参加人数
７月 25 日（月） ９時 30 分 ～15 時 30 分	発達検査はどのように変わったか	小中学校職員　68 人
７月 26 日（火） ９時 30 分 ～15 時 30 分	検査結果のプロフィールの読み取りと指導計画	小中学校職員　64 人
10 月８日（土） 11 月５日（土） 12 月 10 日（土） 13 時 30 分～16 時	【事例検討及び講義】 プロフィール分析及び総合的なアセスメント（事例から読み取り学習）	小中学校職員　25 人

○場　所　　市民文化センター・こども発達支援センター

○講　師　　特別支援教育士スーパーバイザー　渡部　徹

（６）発達障がい支援者のための実践セミナーの実施状況

○日　時　　平成 28 年７月 22 日（金）９時 30 分～17 時　　23 日（土）・24 日（日）８時 30 分～17 時

○場　所　　こども発達支援センター他

○目　的　　・自閉症の本質的な障がい特性について理解する。
・自閉症支援における理念と方法を学ぶ。
・ＯＪＴによる学習（講義と実践との組み合わせ）

○委託先　　（特非）ライフサポートここはうす
トレーナー４名　桑原綾子・窪田久美・井原佳代・矢野志穂

○協力児　　３人

○受講者　　18 人（小中学校教諭、保育士・幼稚園教諭　他）

○公開講座　52 人

○フォローアップ研修会（７月 11 日、８月８日、１月 16 日）　　参加者 33 人

12　自閉症・情緒障がい学級通学費補助の状況

通学区域外の自閉症・情緒障がい学級に通学する児童生徒にその通学費の一部を補助することで、特別支援教育を推進するとともに保護者の負担軽減を図った。

対象児童生徒数	10 人

13　私立幼稚園等特別支援教育事業費補助の状況

障がい児を受け入れ特別支援教育を積極的かつ継続的に実施する私立幼稚園等に対して、特別支援教育事業に要する経費の一部を補助することで特別支援教育の振興と就園機会の促進を図った。

対象私立幼稚園数	４園
対象幼児数	22 人

14　ソーシャルスキル支援事業の実施状況

○日　時　　年９回　日曜日 13 時 30 分～15 時 30 分

○場　所　　総合福祉センター

○目　的　　主に発達障がいの児童生徒を対象に他者との良好な関係を形成し、それを維持していくための知識やスキルを身につけるための指導を行い、社会性や対人関係能力等の向上を図る。

○講　師　　愛媛大学教育学部特別支援教育講座准教授　　苅田　知則研究室
にいはまローズ

○参加者　　延べ 42 人

学校給食課の主な施策と実績

1　学校給食の意義

（1）児童生徒に栄養のバランスのとれた食事を提供することにより児童生徒の健康の増進、体位の向上を図り、又、これらを通して日常における正しい食習慣を身につける。

（2）事前の準備、後片づけを通して児童生徒は大きな生活体験をもち、共同生活の基本的態度を身につける。

（3）食事を共にすることにより、教師と児童生徒、児童生徒相互の心のふれ合いの場を作り、好ましい人間関係の育成を図る。

2　学校給食の運営等

各調理場の施設・設備の修繕、改善、更新等を適宜に行うとともに、安全で新鮮な物資の納入に努めた。

また、学校給食会理事会、学校栄養職員会及び各専門部会を開催し、円滑な学校給食の運営を図った。

学校給食センター及び高津共同調理場を対象とした共同調理場運営委員会を開催し、共同調理場の円滑な運営を図った。

3　学校給食の充実等

地元の食材を使った郷土料理などの実施やより身近に実感を持って地域の産業、文化等の理解を深めることのできる地元農産物等の利用に努めた。

中学校給食の選択率は、平成 28 年度 94.45％と前年度に比べ 0.65 ポイント向上した。

4　主な行事等

（1）学校給食研修会

○　日　時　　平成 28 年　7 月 25 日（月）市民文化センター

○　内　容　　サラヤ株式会社四国営業所食品衛生サポートインストラクター

「学校給食における異物混入事例と対策」

（2）新規給食献立調理実習試食会

平成 28 年　8 月 18 日（木）泉川公民館

（3）衛生管理研修会

平成 28 年 12 月 9 日（金）高津小学校

5　給食の状況

（1）実施状況　　（平成 28 年度）

区　　分	完　全　給　食		給 食 未 実 施		備　　考
小　　学　　校	17 校	6,348 人	－　校	－　人	
中　　学　　校	11	3,305	1	10	ひびき分校未実施
計	28	9,653	1	10	

（ひびき分校は児童自立支援施設につき別途実施）

（2）一食当たり単価（完全給食）　　（単位：円）

区　　分	平成２年～	平成６年～	平成 21 年９月～
小　　学　　校	200	220	240
中　　学　　校	220	260	280

スポーツ振興課の主な施策と実績

1　市民体育・スポーツの振興

（1）新居浜市における生涯スポーツの両輪ともいえる新居浜市体育協会(競技スポーツ)と新居浜市連合体育振興会(社会体育)との連携と協力体制の確立に努め、市民体育の振興を図ってきた。各々の団体においても、組織の充実を図るとともに、連携・協力することによって、社会体育の一大事業である「第47回市民体育祭」を成功させることができた。

（2）新居浜市の少年スポーツ指導者ならびに新居浜市教育委員会が委嘱している新居浜市スポーツ推進委員及び地区体育振興会に配置している新居浜市校区スポーツ普及員に対して、講習会・研修会を実施し、各指導者の資質・指導力の向上と後継者の発掘に努め、社会体育指導者制度の確立と充実を図った。また、各指導者団体独自の研修会を開催し、資質の向上に努めた。

（3）重点目標にもある「生涯スポーツ」の普及振興のため、「新居浜市スポーツ推進計画」に基づく、各種目競技大会支援及び地区における、スポーツ・レクリエーション行事の開催のための企画・プログラムの提供や、運営・指導の促進のための資料提供と広報活動に努めた。

（4）少年期のスポーツ活動の推進のため、研修会の開催による指導者の資質の向上を図り、スポーツ大会の開催による競技力の向上に努めた。また、愛媛国体等に向けて高校運動部活動への支援など各種スポーツの競技力の向上を図った。

（5）新居浜市(愛媛県・四国四県)の代表として、各種目競技の全国大会などへ選手派遣のために、出場選手派遣費の一部補助を行い、全国的に「新居浜」の名を残すことのできるように努めた。

2　市民体育振興事業

日程	事業名	場所	参加人数
4月3日(日)	市民歩け歩け大会	東雲陸上競技場～滝の宮	200人
9月17日(木)～11月6日(日)	市民体育祭	各会場	4,077人

3　競技力向上事業

日程	事業名	場所	参加人数
4月24日(日)	第45回近県ソフトテニス新居浜大会	市民テニスコート他	400人
5月8日(日)	第36回全国招待少年剣道大会	市民体育館	1,500人
7月17日(日)～11月5日(土)	少年スポーツ大会	各会場	929人
11月3日(木)	市内駅伝競走大会	東雲競技場発着	38チーム
3月11日(土)～ 12日(日)	第26回近県招待中学生ソフトテニス大会	市民テニスコート他	延300人

4　講習会・研修会事業

少年スポーツ指導者研修会

4月6日(水)、4月26日(火)、6月2日(木)、6月8日(水)、7月7日(木)、2月17日（金）

延べ6回　延べ915名

体力づくり指導者講習会

5月24日(火)、6月22日(水)、7月8日(金)、8月10日(水)、9月15日(木)

延べ5回　延べ290名

5　野外活動施設整備と運営

ハイキングコース等の維持管理

新居浜市指定のハイキングコース及び登山道については、登山者が安全に登山できるよう維持管理を行った。

6　体育施設の充実

体育施設の充実を図るために東雲市民プール幼児用プールの増設、東雲市民プール・市民体育館等の改修を行った。また、(公財)新居浜市文化体育振興事業団及び別子校区連合自治会を指定管理者とし、体育施設の管理運営や文化及び体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、体育の振興に努めた。

7　体育施設建設基金

平成 29 年３月 31 日現在の体育施設建設基金積立金額　693,189,704 円

8　総合型地域スポーツクラブ設立

総合型地域スポーツクラブとして、平成 20 年６月に金子地域文化スポーツクラブ、平成 26 年２月に楽ＳＰＯ船木の２クラブを設立し、活動を行っている。

9　銅山の里自然の家利用状況

（単位：人）

年度／月	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
4	54	155	12	278	137
5	320	306	711	479	237
6	154	42	22	62	169
7	0	350	350	261	414
8	334	1,255	448	593	964
9	194	17	115	223	106
10	331	41	137	193	400
11	24	54	83	19	14
12	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0
3	20	12	64	136	0
合計（延人数）	1,431	2,232	1,942	2,244	2,441

使用料納付者のみの利用者数であり、短時間の見学的利用者は含まない。

利用者の平均形態　１泊２日

平成 28 年度　３月（平成 29 年３月１日）から休館中

10　体育施設年度別利用状況

（単位：人）

施設名＼年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
市民体育館	94,563	54,581	76,733
山根総合体育館	55,764	67,708	63,025
多喜浜体育館	17,866	19,281	18,849
東雲市民プール	36,974	43,273	43,124
山根公園屋内プール	27,896	21,993	28,134
別子山市民プール	170	207	342
市営野球場	19,234	16,592	19,298
武徳殿	27,900	28,300	26,700
弓道場	4,580	4,310	5,200
重量挙練習場	9,650	10,150	9,200
文化振興会館	22,781	19,625	13,844
山根市民グラウンド	103,671	83,560	82,442
別子山市民グラウンド	32	57	35
市民テニスコート	51,454	55,122	54,338
山根公園テニスコート	39,274	42,077	40,783
東雲競技場	31,746	27,170	24,667
市営サッカー場	31,661	40,775	32,301
合計	575,216	534,781	541,456

11　平成 28 年度　体育施設月別利用状況

施設名 / 月	市　民 体育館	東雲市民 プ ー ル	市　民 テニスコート	山根公園 テニスコート	山根公園 屋内プール	山根市民 グラウンド	山根総合 体育館	市　営 野球場	東　雲 競技場
4	0	0	5, 121	3, 688	1, 703	4, 136	5, 923	920	2, 133
5	0	0	6, 174	3, 716	2, 254	8, 048	7, 083	5, 813	2, 302
6	9, 360	2, 296	4, 019	3, 609	2, 896	2, 880	5, 493	1, 082	1, 810
7	7, 895	22, 921	5, 822	4, 422	3, 847	3, 860	4, 798	1, 700	2, 033
8	6, 655	17, 907	5, 307	3, 952	3, 908	3, 850	4, 515	2, 565	1, 767
9	8, 043	0	3, 671	3, 123	2, 295	5, 548	4, 964	2, 800	1, 097
10	7, 500	0	4, 796	3, 500	2, 232	37, 570	6, 982	1, 850	2, 167
11	8, 079	0	3, 760	3, 200	1, 971	2, 899	5, 005	935	3, 416
12	6, 970	0	3, 707	2, 896	1, 805	3, 946	4, 686	205	1, 657
1	6, 708	0	3, 500	2, 706	1, 490	2, 678	4, 048	0	967
2	7, 250	0	3, 130	2, 605	1, 730	3, 747	4, 384	0	3, 872
3	8, 273	0	5, 331	3, 366	2, 003	3, 280	5, 144	1, 428	1, 446
小　計	76, 733	43, 124	54, 338	40, 783	28, 134	82, 442	63, 025	19, 298	24, 667

（山根市民グラウンドは、公式大会参加者のみ）



東雲市民プール幼児用プール



市営野球場

（単位：人）

武徳殿	弓道場	重量挙 練習場	銅山の里 自然の家	市　営 サッカー場	多喜浜 体育館	別子山市民 グラウンド	別子山市民 プール	文　化 振興会館	計
2,400	350	800	137	0	1,988	0	0	1,601	30,900
2,600	350	850	237	0	2,018	0	0	1,644	43,089
2,300	360	800	169	3,322	1,463	0	0	789	42,648
400	290	850	414	4,401	1,852	20	63	2,161	67,749
2,300	300	850	964	4,775	1,388	15	279	906	62,203
2,400	350	500	106	3,428	1,531	0	0	776	40,632
2,500	450	950	400	5,633	1,474	0	0	802	78,806
2,400	450	1,250	14	3,184	1,685	0	0	897	39,145
2,400	350	850	0	3,617	1,403	0	0	1,089	35,581
2,700	700	300	0	1,490	1,302	0	0	1,054	29,643
2,200	800	400	0	1,991	1,111	0	0	852	34,072
2,100	450	800	0	460	1,634	0	0	1,273	36,988
26,700	5,200	9,200	2,441	32,301	18,849	35	342	13,844	541,456



市営サッカー場

文化振興課の主な施策と実績

1　芸術文化活動

地域の芸術文化の水準向上と、すそ野の拡大を課題とし、市民の自由な芸術・文化活動の促進を図るため新居浜文化協会を中心にして春の市民文化祭、秋の芸術祭、市美術展を開催するなど、地域住民が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図った。

また、市内の小中学生に学校施設において優れた芸術に触れる機会を提供する「公共ホール音楽活性化支援事業」、「芸術文化キャラバン隊」を行うとともに、寺坂公雄氏を講師として、あかがねミュージアムを描く「こどもふるさと写生大会」を実施した。

2　文化財の保存活用

郷土に残された優れた文化財に対する正しい理解と認識を深め、その保存活用を図るための調査、文化財めぐり等を実施した。また、郷土美術館３階で展示されていた考古学資料、民俗資料（民具玩具）、自然科学資料（岩石鉱石）などの貴重な郷土資料を展示活用するため、市民文化センター本館１階内に郷土資料室「ふるさとラボ」を７月に開設した。

市指定天然記念物「アッケシソウ」保存保護事業補助、市指定文化財「深尾権太輔の墓」保全事業補助、市指定史跡「久貢屋敷」保全事業補助

文化財めぐりの実施　39 名　尾道市、今治市（村上海賊の本拠地　芸予諸島を巡る）

3　文化施設の充実

文化施設の充実を図るために、市民文化センター大ホール屋上防水工事や中ホール照明調光設備等の改修を行った。また、(公財)新居浜市文化体育振興事業団及び別子校区連合自治会を指定管理者とし、文化施設の管理運営や文化に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、文化の振興に努めた。

4　文化振興基金

平成 29 年 3 月 31 日現在の文化振興基金積立金額　833,213,218 円

5　(公財)新居浜市文化体育振興事業団

新居浜市の文化及び体育施設の管理運営を受託するとともに、文化及び体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進及び効率的な管理運営を図り、もって文化及び体育の振興に寄与することを目的に、昭和 61 年８月１日に設立され、平成 18 年４月からは各施設の指定管理者となっている。平成 26 年１月６日、公益財団法人に認可された。

○　所 在 地　　繁本町８番 65 号
○　Ｔ Ｅ Ｌ　　33－2180
○　組　　織　　理事９人、監事２人、評議員９人
○　事業内容　（１）文化体育施設の指定管理

市民文化センター、市民体育館、山根総合体育館、多喜浜体育館、市営野球場、山根市民グラウンド、市民テニスコート、山根公園テニスコート、東雲市民プール、山根公園屋内プール、武徳殿、弓道場、重量挙練習場、東雲競技場、市営サッカー場、銅山の里自然の家、文化振興会館、女性総合センター

（２）文化事業の企画及び実施に関すること

健康食の料理教室、演劇鑑賞教室、市民茶会、市民音楽祭、美術実技講習会ほか６教室

（３）体育事業の企画及び実施に関すること

市民軽スポーツ大会（４種目）、硬式テニス講習会、バトミントン教室（女性・親子・ジュニア）、テニス教室（女性・ジュニア）、水中ウォーキング教室ほか 12 教室

（４）女性センター事業の企画及び実施に関すること

1）再就職支援事業　　９講座
2）社会参加促進事業　３講座
3）生活・教養事業　　７講座
4）子育て支援事業　　３講座
5）健康増進事業　　６講座

6　文化施設年度別利用状況

（単位：人）

施設名＼年度・項目		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		回 数(回)	利用者数	回 数(回)	利用者数	回 数(回)	利用者数
市民文化センター	大ホール	210	53,575	286	65,074	297	56,723
	中ホール	285	40,051	263	33,498	260	32,339
	別館　会議室等	2,828	65,500	3,208	65,614	3,555	65,970
小　　計		3,323	159,126	3,757	164,186	4,112	155,032
ふ　る　さ　と　館			1,767		1,906		3,221
合　　計		3,323	160,893	3,757	166,092	4,112	158,253



郷土資料室「ふるさとラボ」

７　平成２８年度　月別利用状況（市民文化センター・ふるさと館）

施設名／月	大ホール	大・ロビー	中ホール	大会議室	中会議室	小会議室	和 室
4	6,854	0	2,530	1,053	3,158	439	159
	(36)	(0)	(22)	(27)	(169)	(55)	(32)
5	4,282	0	3,184	750	2,899	640	27
	(26)	(0)	(26)	(18)	(148)	(64)	(18)
6	5,612	0	3,058	1,354	3,038	699	30
	(22)	(0)	(20)	(23)	(116)	(65)	(8)
7	5,527	0	4,021	1,386	2,559	539	61
	(29)	(0)	(27)	(25)	(152)	(54)	(22)
8	4,119	0	2,561	1,380	2,719	430	37
	(27)	(0)	(18)	(28)	(148)	(56)	(22)
9	4,111	500	4,094	797	2,731	627	64
	(25)	(1)	(28)	(17)	(130)	(64)	(10)
10	5,002	0	2,758	1,348	3,033	416	25
	(26)	(0)	(21)	(25)	(141)	(57)	(10)
11	6,859	0	1,135	1,099	2,158	205	100
	(33)	(0)	(30)	(27)	(185)	(60)	(44)
12	4,959	0	2,305	800	2,004	432	35
	(20)	(0)	(19)	(14)	(105)	(54)	(14)
1	3,112	0	1,402	698	2,028	554	7
	(13)	(0)	(15)	(13)	(118)	(66)	(6)
2	3,645	0	3,275	1,340	2,532	425	35
	(20)	(0)	(18)	(21)	(132)	(62)	(14)
3	2,641	0	2,016	960	2,360	475	56
	(20)	(0)	(16)	(12)	(112)	(60)	(8)
累計	56,723	500	32,339	12,965	31,219	5,881	636
	(297)	(1)	(260)	(250)	(1,656)	(717)	(208)

上段：人数

下段：回数

視聴覚教室	料理教室	茶華教室	展示室	プラネタリウム	ふるさと館	月 計	累 計
1, 287	117	138	230	0	294	16, 259	16, 259
(27)	(12)	(13)	(19)	(0)		(412)	(412)
716	56	42	209	0	271	13, 076	29, 335
(18)	(8)	(7)	(19)	(0)		(352)	(764)
1, 230	101	62	170	179	268	15, 801	45, 136
(21)	(7)	(6)	(15)	(19)		(322)	(1, 086)
1, 330	176	195	216	206	321	16, 537	61, 673
(31)	(14)	(13)	(22)	(21)		(410)	(1, 496)
572	20	18	102	94	415	12, 467	74, 140
(18)	(9)	(10)	(15)	(20)		(371)	(1, 867)
1, 301	190	209	194	0	218	15, 036	89, 176
(22)	(9)	(10)	(17)	(0)		(333)	(2, 200)
710	70	16	165	0	267	13, 810	102, 986
(15)	(5)	(4)	(13)	(0)		(317)	(2, 517)
560	85	182	57	0	363	12, 803	115, 789
(26)	(28)	(24)	(27)	(0)		(484)	(3, 001)
645	64	43	85	0	230	11, 602	127, 391
(15)	(11)	(9)	(13)	(0)		(274)	(3, 275)
547	7	43	69	0	140	8, 607	135, 998
(13)	(3)	(4)	(10)	(0)		(261)	(3, 536)
870	45	121	170	0	152	12, 610	148, 608
(21)	(6)	(7)	(14)	(0)		(315)	(3, 851)
1, 106	40	56	153	0	282	10, 145	158, 753
(15)	(5)	(2)	(12)	(0)		(262)	(4, 113)
10, 874	971	1, 125	1, 820	479	3, 221	158, 753	158, 753
(242)	(117)	(109)	(196)	(60)		(4, 113)	(4, 113)

広瀬歴史記念館の主な施策と実績

1　展示内容等

（1）展示館の内容

広瀬宰平の一生を、テーマごとに映像や実物資料、パネルを用いて紹介する。別子銅山の経営維持に奔走し、採鉱・精錬・陸運の近代化を推進するなど、わが国の殖産興業に尽力した宰平の姿をみることができる。

（2）旧広瀬邸（国指定重要文化財）の内容

母屋は明治10年建築、明治20年に現在地に移築、新座敷と庭園は明治22年に建築・造園された。伝統的な日本建築様式を持ちながらも、開国により西洋から輸入されたマントルピース、洋式便器、板ガラス、避雷針といった新しい文化が取り入れられており、そのふたつが見事に調和している。

2　資料の収集状況

広瀬家所蔵品、古文書など約3,740点（平成３年５月７日現調）

3　平成28年度事業実績

（1）特別企画展

ア　特別企画展「別子銅山近代化の息吹～明治十四年写真帳の世界～」

○　日　時　　平成28年10月29日（土）～12月４日（日）

イ　記念講演会「新居浜と百年の計―別子銅山近代化のリーダー伝―」

○　日　時　　平成28年11月２日(水)

○　講　師　　末岡照啓（住友史料館副館長・新居浜市広瀬歴史記念館特別顧問）

○　参加人数　210人

（2）第10回台所喫茶店

○　日　時　　平成28年11月12日（土)・13日（日）

（3）旧広瀬邸庭園整備

平成27年から平成29年の３ヵ年の予定で、旧広瀬邸内庭の樹木の高木化による景観の変化や根の成長による灯篭の傾斜、園路の破損等を修復するための整備を行っている。

4　平成28年度月別観覧者内訳

年　月	開館日数	観覧人数（人）							
		一般					小　計①	中学生以下②	人数①＋②
		個人	個人減額	団体	観覧料後納	免除			
平成28年４月	26	421	59	130	17	0	627	73	700
５月	25	436	19	270	22	354	1,101	134	1,235
６月	27	317	44	81	0	160	602	32	634
７月	26	230	22	60	0	53	365	50	415
８月	25	251	16	0	74	65	406	84	490
９月	25	276	9	109	0	45	439	16	455
10月	26	261	25	211	0	409	906	27	933
11月	24	322	47	244	0	1,064	1,677	196	1,873
12月	23	190	18	0	0	68	276	85	361
平成29年１月	23	108	6	0	0	33	147	17	164
２月	24	172	17	0	0	191	380	174	554
３月	26	265	23	81	0	16	385	22	407
計	300	3,249	305	1,186	113	2,458	7,311	910	8,221

図書館の主な施策と実績

1　図書館の利用状況

（1）貸出図書　　（28．4．1～29．3．31）

開館日数 295 日

ア　本　館　　（単位：冊）

区分＼分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出点数	6,386	11,074	27,376	22,204	33,692	49,788	11,459	46,867	3,824	192,794	6,418	115,565	323	32,730	560,500

イ　移動図書館　　（単位：冊）

区分＼分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出点数	868	1,046	2,150	957	2,839	4,572	689	8,650	348	15,579	564	12,755	0	233	51,250

ウ　角野分館　　（単位：冊）

区分＼分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出点数	660	1,133	3,015	1,619	3,214	4,716	665	4,695	346	20,444	439	12,678	21	2,609	56,254

エ　合　計　　（単位：冊）

区分＼分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出点数	7,914	13,253	32,541	24,780	39,745	59,076	12,813	60,212	4,518	228,817	7,421	140,998	344	35,572	668,004

オ　ＡＶ資料

	館　内	館　外	計
Ｃ　Ｔ（本）（カセットテープ）		2	2
Ｖ　Ｔ（本）（ビデオテープ）	203	296	499
Ｃ　Ｄ（枚）		12,700	12,700
ＤＶＤ（枚）	1,247	18,604	19,851
計	1,450	31,602	33,052

（2）登録者数　　（単位：人）

区　分	児　童（小学生以下）	一　般（中学生以上）	団　体	計
登　録　者	9,498	49,948	245	59,691

（3）団体貸出

市内の幼稚園、学校、福祉施設、読書会等に貸出をしている。

貸出冊数 100 冊以内、貸出期間は４週間。

平成 28 年度貸出冊数　22,185 冊

（４）心身障害者に対する図書退出

市内に在住する心身障害者（身体障害者の場合は１級～３級の手帳を有する者）が、貸出希望を申し出た場合、郵送による貸出及び連絡車による配送を実施している。（郵送に要する費用は図書館が負担している。）

貸出冊数５冊以内、貸出期間は 30 日間。

（５）開架図書冊数　（29．３．31 現在）

（単位：冊）

区分／館別	一　般	児　童	計
本　館	114,143	36,006	150,149
移動図書館	3,565	7,025	10,590
角野分館	9,376	9,615	18,991
計	127,084	52,646	179,730

（６）　リクエスト　（28．４．１～29．３．31）

（単位：件）

区分／館別	窓　口	館内ＯＰＡＣ	ＷｅｂＯＰＡＣ	携帯ＯＰＡＣ	リクエスト	合　計
本　館	4,938	2,542	18,970	144	1,655	28,249
移動図書館	989					989
角野分館	1,198	251			59	1,508
計	7,125	2,793	18,970	144	1,714	30,746

（７）相互貸借

予約された資料などが自館で手に入らない場合、他館から借用することがある。

（国立国会図書館総合目録ネットワークに参加）

（28．４．１～29．３．31）

（単位：件）

借　受		貸　出	
県内図書館	県外図書館	県内図書館	県外図書館
270	85	152	15

２　主な事業

（１）生涯学習活動の支援、推進と機会の提供

市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会・場所の提供に努める。図書館企画事業の工夫と蔵書リストの作成配布。展示コーナーの充実。ホール・会議室等における文化集会事業の利用促進。

・パスファインダー（校区別資料リスト）の作成

・「子ども読書通帳マラソン」

平成 28 年５月１日から８月 20 日まで子ども読書通帳マラソンを実施し、上位者を表彰。期間中参加者 140 名各部門上位３人 14 人（中学生部門２人）表彰。最高冊数は 425 冊

平成 28 年８月 27 日（土）11 時から表彰式

・図書館まつり

平成 28 年 11 月 27 日（日）９時～17 時

日頃、図書館を支えてくださっている市民の皆さんに感謝し、楽しんでもらうため開催

「ブックリサイクル」９時～

図書館での役割を終えた本や雑誌、市民からの寄贈本（重複及び図書館において資料的価値のないもの）約8,431冊を市民に無償で提供した。参加者（来場者約530人）

「図書館見学」　13時～13時30分

図書館の概要、書庫、郷土資料室等施設の見学。参加者（10人）

「推理作家福田栄一トークイベント」14時～15時30分

新居浜出身で東京都在住の推理作家福田栄一氏のトークイベントを開催。第一部では「ミステリーと青春」をテーマに高校生まで過ごした新居浜時代の事やドラマ化の裏側や創作活動など様々なエピソードを交えた講演を開催。参加者（147人）

・「図書館（ライブラリー）＆来（らい）ぶらり」

郷土の歴史をたどりながら散策することで、歴史を学びさらには郷土への誇りと愛着を深めることを目的に開催　図書館から自彊舎までの史跡めぐり

平成28年７月24日（日）９時～12時30分　参加者（７人）

・定例おはなし会

【本館】　毎月第１木曜日（乳幼児０～３歳対象）

毎月第２・４水曜日（幼児対象）

毎月第３土曜日（小学生対象）

【角野分館】毎月第１・３水曜日（幼児対象）

「紙芝居 、絵本の読みきかせ、パネルシアター、エプロンシアター、ストーリーテリング」等を行う。

協力（ボランテイア）回転木馬､民話の里すみの　参加者（子ども1,212人、 大人753人）

（２）地域資料の保存と情報発信

郷土の歴史や文化を次世代に継承するために、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の産業遺産等についての情報発信を行う。

・愛媛新聞公開データベースの閲覧

・別子銅山コーナー・住友関連コーナー等の充実

・別子銅山に関する本の解説講座「別子銅山を読む」

あかがねの町新居浜市を紐解く別子銅山に関する本の解説講座。

第１回「住友の歴史　上・下」平成28年５月28日（土）参加者（大人74人）

第２回「宰平遺績」平成28年７月16日（土）　参加者（大人49人）

第３回「住友の歴史から」平成28年９月３日（土）参加者（大人54人）

第４回「別子山村郷土誌と別子山村史」平成28年11月12日（土）参加者（大人51人）

第５回「旧別子銅山案内」平成29年２月18日（土）参加者（大人59人）

（３）関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進

市民の読書活動の推進及び地域課題の解決を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、他の関係機関との資料や情報の相互利用等の協力活動の積極的な実施に努める。

本市子育て支援施策との連携、健康支援、ビジネス支援、就業支援、行政支援の実施、地域等関連情報等の提供と調査を行う。

・おはなしボランティアのつどい

平成28年12月２日（金）14時～16時

おはなしボランティア団体に一同に集まってもらい、活動発表と情報交換を行う

（実演７団体、一般の参加53人）

・ブックスタート事業

毎月第１・２火曜日、保健センターの５か月児健康相談（対象 957 人）において司書が説明の言葉を添えて絵本等の入ったブックスタートパックを手渡す。918 人　配布率 95.9％

・健康講座

市民の多様な健康情報へのニーズにこたえるため、医療機関と連携して健康講座を行い、所蔵する健康関係の図書リストを作成し、配布。（健康支援図書コーナーを設置）

「子どもの発達について」平成 28 年５月 19 日（木）

「知っておきたい乳がんの話　2016」平成 28 年 10 月４日（木）

「下肢のはれ、むくみ、浮腫について」平成 29 年１月 25 日（木）

・ロビー展

「新居浜市男女共同参画推進週間パネル展」「住宅防火ロビー展」「保健センターロビー展」「別子あのころ山浜島ミニ写真展等　計 16 回

・出前講座

学校、高齢者福祉施設等へ出かけ「お話会」を行い、本やお話に親しんでもらい、図書館のＰＲも行う。

学校図書館支援員、協力（ボランテイア）回転木馬　計 23 回　参加者（子ども 732 人、大人 109 人）

・図書館ネットワーク

・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスのよる資料提供

・愛媛県立図書館図書の遠隔地返却サービス協力

（４）学校図書館との連携

子どもの読書活動・学習活動を推進していくため、学校や学校図書館との連携を行う。

・団体貸出、図書館見学・職場体験の受入、図書購入時や調べ学習の図書リストの作成・情報提供、リサイクル図書等の活用

（５）　図書館ＰＲ活動の充実

図書館の活動を市民によく知ってもらい、図書館の利用促進につなげるため、ＰＲ活動の改善を図る。

・夏休みは図書館へいこう！

第１弾「夏休み子ども探検隊＆６面パズル２×２を作ろう」平成 28 年８月４日（木）

図書館子ども探検隊 13 時～13 時 40 分　６面パズル２×２　14 時～16 時

書庫等の見学、本が書架にならぶまでのしくみや便利な図書館サービスの紹介。

新居浜高専の先生を講師に招き工作体験をとおしてモノづくりに興味をもってもらい図書館への利用促進を図る。

参加者（小学生親子 20 組）

第２弾「夏休み体験！子ども一日図書館員」

読書感想文にちょうせん！

１回目　平成 28 年７月 21 日（木）13 時～15 時

読書についてのアンケート、付箋メモの練習

あらすじの練習

２回目までに本を決めて、２回以上読みあらすじを書き付箋メモの宿題

２回目　平成 28 年８月 12 日（木）13 時 50 分～16 時

付箋メモのまとめ方、組み立てを考える

第３弾「夏の夜のちょっと怖いお話会と夜の図書館探検」平成 28 年８月５日（金）

子どもと大人対象の怖いお話と語り。19 時 15 分～20 時　参加者（子ども 70 人、大人 43 人）

夜の図書館探検 20 時～20 時 30 分　　参加者（子ども 48 人）

（６）移動図書館の利用促進

学校の昼休み乗り入れや、高齢者福祉施設、病院、幼稚園等へのステーション設置により、利用促進を図る。市内 33 ステーションを運行（うち小学校 13 校、中学校２校)。

（７）資料の収集、除籍の計画的な実施

図書館資料の収集、除籍を迅速・計画的に行い、資料の有効活用を図る。

・雑誌スポンサー制度の実施（平成 24 年７月１日より開始）

「雑誌スポンサー制度」とは、雑誌そのものを寄贈してもらうのではなく、雑誌の購入代金を負担してもらう制度。雑誌は、図書館の中でも回転率の高い資料で、多くの人が毎日利用しているので、高い広告価値がある。(雑誌 211 タイトル中 24 タイトル)



乳幼児向けおはなし会



図書館まつり　（福田栄一講演会）

総合文化施設（あかがねミュージアム）の主な施策と実績

１　月別入館者数

	平成 27 年度	平成 28 年度
４月		18,475
５月		18,296
６月		12,474
７月	33,669	26,095
８月	27,374	27,199
９月	17,916	21,340
10 月	16,838	24,779
11 月	25,356	20,358
12 月	17,110	9,708
１月	15,931	17,846
２月	19,342	16,909
３月	18,658	13,913
計	192,194	227,392



アンデス文明展ギャラリートーク



左から織物職人、ペルー大使（当時）、南高ユネスコ部、アルパカ

２　平成２８年度　美術館展覧会開催実績

展覧会名	会期	入場者数（人）
山中賢一写真展　「幻聴」　別子銅山３００年の歴史が語るもの	３月　５日（土）～４月 17 日（日）	6,410
大阪市立美術館所蔵　住友コレクションの近代日本画―関西邦画展覧会回顧―	３月 12 日（土）～４月 17 日（日）	5,946
新居浜の美術　昨日・今日・明日Ⅲ　光風会を中心に	４月 29 日（金）～６月 12 日（日）	2,526
春の市民文化祭	４月　９日（土）～４月 15 日（金）	4,142
画業２０周年　　片岡鶴太郎展　　還暦紅	７月　９日（土）～８月 21 日（日）	16,277
大ペルーアンデス文明展　～東洋のマチュピチュの麓にて～	９月 10 日（土）～10 月 18 日（火）	4,832
新居浜市美術展覧会	10 月 27 日（木）～11 月　６日（日）	5,028
新居浜の美術　昨日・今日・明日Ⅳ　～郷土への眼差し～	11 月 12 日（土）～12 月 18 日（日）	1,355
愛媛県展新居浜移動展	１月　２日（月）～１月 15 日（日）	4,218
東予地区高校美術展	１月 21 日（土）～２月　５日（日）	5,849
ふるさとスケッチ　篠原信二展	１月 28 日（土）～３月 26 日（日）	8,016
愛媛こども美術展	２月　７日（火）～２月 12 日（日）	1,990
新居浜こども美術展	２月 14 日（火）～２月 26 日（日）	7,800
あかがね初めて教室成果発表展	３月 12 日（日）～３月 20 日（月）	739

3　平成２８年の主なイベント

（１）　太鼓台展示

２月　９日（日）～　４月 30 日（土）宇高太鼓台
４月 30 日（土）～　７月 16 日（土）土橋太鼓台
７月 17 日（日）～10 月 15 日（土）　岸影太鼓台
１月 15 日（日）～　３月 26 日（土）下郷太鼓台
３月 27 日（日）～　　松の木太鼓台



あかがねミュージアムにアルパカがやってきた

（２）展覧会関連イベント

４月　９日（土）	住友コレクションの近代日本画関連事業　学芸員によるギャラリートーク
４月 29 日（金）	光風会を中心に関連イベントー対談　「光風会を振り返る」
７月 24 日（日）	「片岡鶴太郎展」開催記念サイン会

◇大ペルーアンデス文明展関連イベント

７月 10 日（土）	記念講演
９月 10 日（土）～ ９月 11 日（日）	アルパカふれあいコーナー開設
９月 10 日（土）～ ９月 19 日（月・祝）	織物実演
９月 17 日（金）	フォルクローレ演奏
10 月９日（日）	アントニオ・カマケ　ＳＯＬＯ　ＬＩＶＥ

（３）ホールイベント

期日	事業名	人数（人）
８月６日（土）・７日（日）	あかがねロックフェス 2016	170（７日のみの人数）
８月 20 日（土）・21 日（日）	虚構の劇団　「天使は瞳を閉じて」	589（３回公演）
９月 10 日（土）・11 日（日）	Ｄｏｔｔｏ！公演　「よいやさのさっ！」	437（４回公演）
12 月 17 日（土）・18 日（日）	プリンチピオ・アッティーヴォ・テアトロ「ハナとモモ」	294（２回公演）

4　教育普及事業、ワークショップ

７月 30 日（土）・31 日（日）	呼吸法―お手玉をつかってー
12 月６日（火）～16 日（金）	よみがえれ「100 歳のビクトリア」学校訪問　５校
２月 18 日（土）～３月 12 日（日）	ぼくたちわたしたちの壁プロジェクト　４教室
４月～３月	はじめての教室シリーズ　４教室
４月～３月	あかがね親子陶芸教室　他 14 件
４月～３月	アート工房での展示　13 団体

5　新居浜市美術品購入基金

平成 29 年３月 31 日現在の残高　112,531,647 円（美術品 66,600,000 円　　現金 45,931,647 円）

新 居 浜 市 の 教 育

平成29年度版

平成29年 7月 発行

編 集
発 行　新居浜市教育委員会

〒792－8585
新居浜市一宮町一丁目５番１号
TEL（０８９７）６５－１３００
FAX（０８９７）６５－１３０６